

新・基礎の学習

国語 2年 教



2年

6組

31番

名前

松丸 新知

新学社

● もくじと学習記録表 ●

国語2年 教

単元	教材の内容	本書のページ	学習日
1	虹の足	4～5	/
	◆すらすら読解ガイド1 文学的文章◆	6	/
	タオル	7～11	/
	文法1 活用のない自立語	12～13	/
	漢字1 まちがえやすい漢字	14	/
	漢字・語句のまとめ1	15	/
2	◆すらすら読解ガイド2 説明的文章◆	16	/
	日本の花火の楽しみ	17～20	/
	水の山 富士山	21～24	/
	日本の花火の楽しみ/水の山 富士山 読み比べ (テストの練習問題) (つながる読解)	25～27	/
	言葉1 敬語	30	/
	書く 手紙・メールを整える	31	/
	漢字・語句のまとめ2	32	/
3	夢を跳ぶ	33～34	/
	言葉2 話し言葉と書き言葉	35	/
	漢字2 漢字の成り立ち	36	/
	漢字・語句のまとめ3	37	/
4	紙の建築	40～43	/
	文法2 活用のある自立語	45～48	/
	漢字・語句のまとめ4	49	/
5	敦盛の最期——平家物語——	50～53	/
	随筆の味わい——枕草子—— (テストの練習問題) (つながる読解)	60～65	/
	随筆の味わい——徒然草—— (テストの練習問題) (つながる読解)	68～73	/
	二千五百年前からのメッセージ——孔子の言葉——	78～79	/
	坊っちゃん	82～84	/
	漢字・語句のまとめ5	86	/
6	短歌の味わい 短歌十首 (テストの練習問題)	87～92	/
	◆すらすら読解ガイド3 文学的文章◆	94	/
	夏の群列 (テストの練習問題) (つながる読解)	95～103	/
	漢字3 漢字の多義性	106	/
	漢字・語句のまとめ6	107	/
7	◆すらすら読解ガイド4 説明的文章◆	108	/
	ガイアの知性 (テストの練習問題) (つながる読解)	109～115	/
	書く 確かな根拠をもとに意見文を書く	117	/
	しっかり解説 課題作文の書き方	118	/
	漢字・語句のまとめ7	119	/
8	学ぶ力	120～123	/
	文法3 付属語のいろいろ	124～125	/
	漢字・語句のまとめ8	126	/
9	詩 豚	127	/
	走れメロス (テストの練習問題)	128～139	/
	言葉3 類義語・対義語・多義語・同音語	142	/
	漢字4 同音の漢字	143	/
	漢字・語句のまとめ9	144	/

ワークの使い方

このワークは
読解力が身につく
構成になっているよ！



すらすら読解ガイド

まずココ

読解1 順番に読み取ろう

読解2 全体を捉えよう

読解3 全体を読めたかな？

読解3 深めよう

テストの練習問題

つながる読解

わからない時は戻って確認！

ステップ式の語句問題で、語彙力UP！

まずココで、文章の大まかな流れをとらえよう！

読解1で、様々なパターンの問題に取り組もう！

すらすら読解ガイド

1 文章の構成は？
注目ポイントはココ！

- 1 発端
- 2 展開
- 3 山場、結末
- 4 語り手と視点人物

まず、

すらすら読解ガイドで、読み方のポイントを学ぼう！

4回あるよ！

読解1: 順番に読み取ろう

読解2: 全体を捉えよう

読解3: 全体を読めたかな？

読解3: 深めよう

テストの練習問題

つながる読解

読解1: 順番に読み取ろう

読解2: 全体を捉えよう

読解3: 全体を読めたかな？

読解3: 深めよう

テストの練習問題

つながる読解

すらすら読解ガイド

1 文章の構成は？
注目ポイントはココ！

1 発端
2 展開
3 山場、結末
4 語り手と視点人物

まず、

すらすら読解ガイドで、読み方のポイントを学ぼう！

4回あるよ！

読解1: 順番に読み取ろう

読解2: 全体を捉えよう

読解3: 全体を読めたかな？

読解3: 深めよう

テストの練習問題

つながる読解

読解1: 順番に読み取ろう

読解2: 全体を捉えよう

読解3: 全体を読めたかな？

読解3: 深めよう

テストの練習問題

つながる読解

読解2は、表形式で全体をとらえよう！

読解3は、記述問題で考えを深めよう！

3ステップで、字数の多い記述問題もラクラク！

テスト形式で実践練習！

学んだことを、教科書以外の文章で再確認！

学んだことを、教科書以外の文章で再確認！

つながる読解

答え方のキホン

1 マス目を正しく使って書こう！

「**原稿用紙の使い方**」という指示がない場合

約束1 一マスに一文
字書く。

美しい景色

ほとんどの
問いが、この
パターンだよ。



約束2 句読点(、)や
記号(「」？など)も
一マス使う。

私は、元気だ。

一マス使う。

例外
「句読点は字数に含まない」と問題文にある場合は、
句読点は字数には数えず、解答欄にも書かない。

「**原稿用紙の使い方**」という指示がある場合

約束1 書き出しと段落の初めは一マス空ける。

約束2 行の初めに句読点(、)や引用を閉じるかぎ(「)がくる場合
は、前の行のいちばん下のマスに文字といっしょに書く。

私のしゅみは読書だ。
好きな本のジャンルは
推理小説だ。

2 抜き出しと自由記述の違いを理解しよう！

抜き出し…「～を抜き出さない」という問いかけの問題。

教科書の言葉を一字一句そのまま抜き出して書く。

自由記述…「～を書きなさい」という問いかけの問題。

教科書の言葉を使って、問いに合った形に書き換える。

「**抜き出し問題の答え方のキホン**」

キホン1 教科書の通りに抜き出す。

例
教科書の言葉「ちよう集め」を
抜き出す場合。

答え方
ちよう集め

キホン2 指示のある部分だけを抜き出す。

例
教科書の言葉「せめて例の
うを見たいと、僕は中に入った。」
から初めの五字を抜き出す場合。

答え方
せめて例の

「**抜き出し問題の答えの探し方のキホン**」

キホン1 問題文にある言葉と同じ言葉を探す。

例
問題文の中の言葉
探し方

どういうことですか
↓
「～こと」の形の言葉を探す
↓
どんな人ですか
↓
「～人」の形の言葉を探す

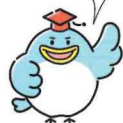
キホン2 「なぜ」「どうして」「理由は」と問われたら、「～から」「～で」

「～ため」を探す。

キホン3 「これ」「それ」「あれ」とは何か

と問われたら、前にある体言を探す。

答えを「これ」「それ」
「あれ」の部分に当て
はめてみて、意味が
通るか確認しよう！



この違いを
しっかり
理解して
おこうね。



自由記述問題の答え方のキホン

キホン1 教科書の言葉そのままではなく、問いに合った形にして書く。

例 教科書の言葉「せめて例のちやうを見たいと、僕は中に入った。」
 〇 僕が中に入った理由は？

約束2 使う語句の指示がある場合は必ず使う。

自由記述問題の答えの作り方のキホン

キホン1 文末を問いに合った形に変える。

問題文の中の言葉	文末
なぜか。	〜から。
〜からか。	〜ので。
〜ことか。	〜こと。
〜ためか。	〜ため。

キホン2 字数を調整する。(主に字数を短くする。)

① 言い換える 意味を変えないで、短い言葉に書き換える。

例 五字以内で答える問いの場合

昨日の夜の十時 → 昨夜の十時
 (二文字オーバー)

② 削る なくても意味が大幅に変わらない言葉を削る。

例 五字以内で答える問いの場合

とても大きな功績 → 大きな功績
 (三字オーバー)

答え方
 せめて例のちやうを見
 見たかったから。
 (問いに合せて書く。)

×の例
 せめて例のちやうを見
 見たい。
 (教科書の抜き出しでは理由を答える形になっていないので×。)

理由を答えるときは、「〜から。」「〜ので。」などの形で書くといよ。

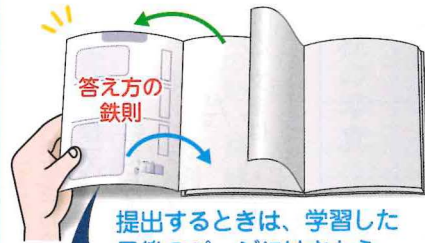


特に指示がない場合は、句点(。)まできちんと書くこと。ただし、空欄に答えを補う問いで、あとに言葉が続く場合は、句点が不要な場合もあるので要注意!



3 しおりで答え方を確認しよう!

巻末にある「しおり」を引き出そう。



提出するときは、学習した最後のページにはさもう。

答え方の鉄則

鉄則1 記号で答える問題	鉄則2 抜き出しの問題
<p>答えは記号で書く!</p> <p>例: 〇イ 夏</p> <p>NG回答: 〇イ 夏 (夏は季節で、問題文の「夏」は「暑い」の意味で使われているので、季節で答えるのは間違いです。)</p>	<p>一字一句そのまま書く!</p> <p>例: 本を読むのが好きなので。</p> <p>NG回答: 本を 読むのが好きなので。 (「を」は不要です。)</p>

これからいっしょに勉強する仲間たち



森さん



谷さん



ワカタ博士
謎のものの知り博士!



原さん



西さん



先生

自分で線を引いて確認するのもおススメ!



気をつける部分の色を変えてあるのでわかりやすいよ!



問題文の
 ● 答えの形に関わる部分
 (書き出し・文末など)
 ● 字数・使う語句・答えの数に
 関わる部分
 に、気を付けて取り組もう!





学びを広げる

目標
「僕」が発見したことを、表現技法に注意して読み取ろう



吉野の弘

「知識・技能」の問題です。

知
漢字
漢字の右に読みを書こう

単元に関連したデジタルコンテンツにリンクしています

★は新出漢字

ページ
□ 18
★ (

虹

乾

乾麵

抱

かれる

4 [

頰

思

「思考・判断・表現」の問題です

読解
1
順番に
読み取ろう

情景を読み取り、作者の思いを捉えよ

この詩は前半と後半に分けることができる。次の表の□に入る言葉を抜き出し、〔 〕には数字を入れなさい。

後半	前半
P.19 <u> </u> <u> </u> 行く終わり	冒頭 <small>ぼうとう</small> ～ P.19 <u> </u> <u> </u> 行く
「僕」の <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> 考え方	「僕」の見た情景
についての	

2 作者は「虹」をどこから見ているか。九字で抜き出しなさい。

目標に沿った問題です

「陽射し」^{ひざ} (184) の様子をたとえて表現している一行を抜き出し

なさい。

Source: Author's calculations.

4 「虹がそつと足を下ろしたのを！」(18⑧)について、

□ (1) この一行に用いられている表現技法を一つ選びなさい。

ア 擬声語
イ 擬人法
ウ 反復
エ 体言止め

□(2) 「下ろしたのを」のあとに続くと考えられる言葉を、四字で抜き出さない。

💡 6行目も「くを」で終わっていることに着目しよう。

□ 5 「家から飛び出して虹の足にさわろうとする人影は見えない。」
(19③)とあるが、「僕」はその理由をどのように考えているか。
二十字以内で書きなさい。

書くヒント

①

線の内容を使って答えを作ろう！

内容

「虹の足にさわりうとする人影は見えない」理由を、
P. 19 (5) (8) から探す。

↓乗客たちは頬を火照らせ／野面に立った虹の足に見とれた。

↓あれはバスの中の僕らには見えて／村の人々には見えないのだ。

答案方

文末は「**くから。**」などにする。

16

6

「僕」は「虹の足」(18⑥)を見て、何を発見したのか。

ア 人々が虹の足を見て感動するように、自分を見た人々が感動するような生き方が、自分にとっての幸福であること。

イ 虹の足は遠くからは見えるが、近くからは見えないように、自分の幸福は他人にはしか見えない悲しいものであること。

ウ 幸福は他人には見えるが自分には見えないように、自分が幸福であるとわからない状況が幸福であること。

エ 虹の中にと人々には虹が見えないように、幸福でも自分はそのことに気づかないことがあるかもしれないこと。



5の解答を踏まえて詩の最後の4行を吟味しよう。

7

森さんは、題名の「虹の足」は、何のどんな様子をたとえた比喻表現かについて発表することになった。森さんの発言を書きなさい。



書くヒント — 線の内容を使って答えを作ろう！

内容

「虹の足」が何をたとえているか捉える。

↓ 田圃の上に／虹がそっと足を下ろした(P.18⑦)⑧

↓ 「足」は虹の端の部分をたとえた比喻表現。

↓ 「足」が田圃の上になつたか、様子を考える。

答え方

文末は「～と思います。」などにする。



吉野弘さんが「幸福」についてうたった詩を集めました。

「虹の足」とともに読み味わってみましょう。

一枚の写真

壇飾りの雛人形を背に

晴着姿の幼い姉妹が並んで坐っている

姉は姉らしく分別のある顔で

妹も妹らしくいとけない顔で

姉は両掌の指をびったりつけて膝の上

妹も姉を見習ったつもりだが

右掌の指は少し離れて膝の上

この写真のシャッターを押したのは

多分、お父さまだが

お父さまの指に指を重ねて

同時にシャッターを押したものがいる

その名は「幸福」

幸福が一枚加わった

一枚の写真



「漢字喜遊曲」より

辛いの中の人知れぬ辛さ

そして時に

辛さを忘れてもいる辛い。

何が満たされて辛いになり

何が足らなくて辛いのか。



すらすら読解ガイド①

文学的文章

読解ガイド①

タオル

読解ガイド③

夏の葬列

走れメロス

読み方のポイントを学ぼう！



デジタル

1 登場人物を捉えよう！

注目ポイントはココ！

- 1 名前・人物を表す言葉
- 2 人物の立場・外見や行動などの特徴
- 3 人物どうしの関係を表す言葉

教科書の文章で確かめて、

□に入る言葉を抜き出そう

教科書

父は少年の名前を客に告げ、小学五年生なんだとも伝えて、……。(25③)

父は初めて「ほな、シライさん、またあとで。」と客を名前で呼んだ。(27⑨)

「お父さんとも、亡くなったおじいさんとも知り合いだったんだ。」(28⑥)

登場人物

父と
□
とシライさんと祖父。

登場人物の関係

シライさんは、父と祖父の□。

2 比喩表現を捉えよう！

注目ポイントはココ！

- 1 直喩：「〇のような」などを用いる比喩
- 2 隠喩：「〇のような」などを用いずに、ものを他のものでたとえる比喩

教科書

父はうれしそうで、懐かしそうだった。久しぶりにお兄さんに会った弟のように、自分より少し年上の客を、まぶしそうに見つめていた。(24⑦)

熱いものがまぶたからあふれ出た。(35⑪)

直喩

「□」という言葉を用いて、客を懐かしむ父の様子を「弟」にたとえている。

隠喩

まぶたからあふれ出た涙を□と表現している。

3 象徴表現を捉えよう！

注目ポイントはココ！

- 象徴：形のない抽象的なものを、具体的なもので表現すること
- 1 ものによる象徴表現
 - 2 情景による象徴表現

教科書

漁をしている時の祖父の写真は、どれもタオルを頭に巻いていた。(31⑤)

納屋の脇に、ほの白いものが見えた。祖父のタオルだった。(34⑤)

ものによる象徴表現

祖父が頭に巻いていた□。

↓祖父自身やその生き様を象徴している。

情景による象徴表現

祖父のタオルが納屋の脇に干したまま。

↓持ち主である□の死を象徴している。

漢字

漢字の右に読みを書こう

単元に関連したデジタルコンテンツにリンクしています

★は新出漢字、☆は新出音訓

33 □ 34	29 □	25 □	21 □	17 □ 30	13 □	9 □	5 □ 25	1 □ 24
怪しい	愚息	掛ける	献杯	小鉢	厄介	焼香	肩(訓読み)	締める
34 □	30 □ 33	26 □	22 □	18 □	14 □ 28	10 □	6 □	2 □
棺桶 <small>おけ</small>	悔しい	雰囲気	封筒	旬 <small>の味</small>	紹介 <small>(熟字訓)</small>	心地	蹴る	親戚
35 □	31 □	27 □	23 □	19 □	15 □ 29	11 □ 27	7 □	3 □
冥土	拭く	継ぐ	二十歳 <small>(熟字訓)</small>	酢 <small>味噌</small>	釣り	泊まる	叔母 <small>(熟字訓)</small>	ご愁傷さま
32 □	28 □ 32	24 □ 31	20 □	16 □	12 □	8 □ 26	4 □	
風呂	連絡	卸す	甘み	二十隻	みちしお荘	合掌	祭壇	

教科書

p.22~37

目標

象徴表現や言動に注目し、登場人物の心情の変化を読み取ろう



デジタル

1 タオル

学びを広げる

重松 清

知

語句

1 意味調べ

夜空を飛ぶホタルの

3 □	2 □	1 □	11 □	10 □	9 □	8 □	7 □	6 □	5 □	4 □	3 □	2 □	1 □
「かすかな」を使って短文を作ろう	「かすかな」(2) どこからか	「かすかな」(1) 赤ちゃんの何気ない	かすかな	またたく	うつむく	涙ぐむ	文面	雰囲気	じんわり	厄介払い	居心地	けげん	しぐさ
			35 (12)	35 (11)	35 (10)	35 (2)	32 (7)	31 (11)	30 (6)	27 (17)	26 (17)	26 (16)	26 (15)
			意味	文脈	意味	意味	意味	文脈	意味	意味	意味	意味	意味
				文章中ではどちらの意味ですか。 ア まぶたを瞬間的に開閉する。 イ 光がちらちらする。				文章中ではどちらの意味ですか。 ア その場につくり出される感じや気分。 イ ある人が周囲に与える独特の感じ。					
							文例	文例	文例	文例	文例	文例	文例
							文面から気持ち を判断する。	額にじんわり汗 が浮かんでくる。	額にじんわり汗 が浮かんでくる。	大人たちに厄介 払いされる。	この部屋はとて も居心地がよい。	話し相手がけげ んな顔をする。	彼女のしぐさは 上品だ。

2 1の意味調べの言葉()に入れ、文を完成させよう

(1) 赤ちゃんの何気ない () がかわいい。

(2) どこからか () 音が聞こえる。

[思考・判断・表現]の問題です

まず

登場人物を捉えよう

祖父…二日前に亡くなり、お通夜の準備が行われている。

父

少年…小学五年生

① にかわいがってもらっていたが、家に自分の

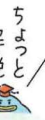
② ③ がなく ④ こともできない。

シライさん…父と祖父とは ⑤ の関係。

・祖父の通夜のためにやってきた客。

⑤ の言葉を話す。

・大きなバッグを持っている。



物語の中の人物は、いろいろな表現で表されることが多いよ。
また、人物どうしの関係をしっかりと捉えると、内容が読み取りやすくなるよ。



読解 1 順番に読み取ろう

それぞれの段落の内容を読み取ろう

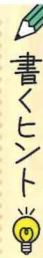
【A】前半 初め〜32⑬ 「家から民宿までの場面」を読み取ろう

1 「少年の家を訪ねてきた客は、初めて見る顔だった」(24①)とあるが、この客とは誰か。次の文の□に入る言葉を抜き出しなさい。

目標 目標に沿った問題です

●旅行雑誌の記者の

2 「二人まとめて厄介払いされちゃったな」(27⑰)とあるが、シライさんにこのように言われた少年はどんな気持ちになったか。「自分たち」の語を使って、「〴〵気持ち。」に続く形で、三十文字以内で書きなさい。



書くヒント 〴〵 線の内容を使って答えを作ろう!

内容 このときの少年の気持ちを捉える。

↓ なんとなくシライさんが「俺たちは同じだな。」と言ってるんじゃないかと感じて、それがちよっとうれしくて……。

【答え方】文末は「〴〵気持ち。」に続く形にする。

気持ち。

3 「今初めて、それが悲しさと結びついた」(31④)とあるが、どういうことか。次の文の□に入る言葉を九字で抜き出しなさい。

●もう祖父と

改めて気づき、そのことを初めて悲しいと感じた。

目標

3

書くヒント💡 漁に出るときの祖父の姿を捉えよう。

「かすかな潮のにおいは、そこにもあった」(35⑫)という表現は、どのようなことを表しているか。一つ選びなさい。

ア 少年が頭巻いたタオルからも海のにおいを感じたこと。

イ 少年が自分の中に漁師として生きた祖父のにおいを感じたこと。

ウ 少年が自分の涙を通して祖父の無念な思いを感じ取ったこと。

エ 少年が涙のにおいをかいでやっと祖父の死を実感できたこと。

💡 自分から出た涙のにおいは祖父ののと同じだったんだね。

【B】後半 32⑮〜終わり「家に戻ってからの場面」を読み取ろう

1 「触るのがなんとなく怖くて」(34⑦)とあるが、少年がタオルをそのように感じたのはなぜか。一つ選びなさい。

ア 暗がりにあるタオルが、まるで祖父の幽霊のように見えたから。

イ 祖父の大切なタオルを勝手に触ると父に叱られそうだから。

ウ 祖父が亡くなったことを実感してしまつような気がしたから。

エ 汚れていて不潔だと思い、触ることに抵抗を感じたから。

2 谷さんは、「じいさんをええ男にして冥土に送ってやらんといけん」(34⑮)について、「ええ男にする」とは具体的にどうすることかを発表することになった。《条件》に従って書きなさい。

《条件》①「棺桶に横たわっている祖父」の語を使うこと。

② みんなの前で発表する口調で書くこと。



1 重松清『ビタミンF』(新潮文庫刊)

七つの家族を描く短編小説。30代後半〜40代、人生の「中途半端」な時期にさしかかった人々を主人公とし、その世代の人へエールを送る内容となっているが、きっと誰もが共感できる感動の一冊。



2 重松清『エイジ』(新潮文庫刊)

中学2年生のエイジが住むニュータウンでは、連続通り魔事件が発生する。捕まった犯人は、エイジの同級生だった……。友達や家族、好きな子との関わりの中で、「キレル」ことの意味を問いながら成長する少年の物語。

重松清原作

3 映画「きみの友だち」

©2008映画「きみの友だち」製作委員会



4 映画「とんび」

©2022「とんび」製作委員会



グラフィック資料

重松清

タブレットなどでも資料が見られます



デジタル

出版社勤務を経て、作家に転身。複数のペンネームをもち、数々の作品を発表している。「ビタミンF」で二〇〇〇年下半期の直木賞を受賞。家族や学校といった身近なものを題材とし、中学生から中高年まで、読者層は幅広い。ドラマや映画になっている作品も多い。

□ 思

読解

2

全体を
捉えよう

①～⑫に入る言葉を抜き出そう

□ 思

読解

3

深めよう

3ステップで記述しよう

□ 問

問い

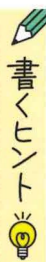
文章の最後で、祖父のタオルが少年の額に巻かれたことは、どのようなことを表していると考えられるか。祖父のタオルが何を表しているかに触れ、「を表している。」に続く形で、**六十字以内**で書きなさい。



初めに、
答えの前提条件
について考えよう！

ステップ1 答えの前提条件

タオルは何を象徴していると考えられるか。「漁をしている時の祖父の写真は……それを繰り返していた」(31⑤～⑩)の文章に着目して、**十二字以内**で書きなさい。



書くヒント

タオルは祖父がどのようなときに愛用していたのかを捉えよう。

ステップ2 答えの中心

タオルが少年の額に巻かれたことは、どのようなことを表していると考えられるか。**二つ**選びなさい。

ア 少年が、最後に祖父と写真を撮りたかったこと。

イ 少年が、祖父のタオルに触れて、祖父の死を受け止めたこと。

ウ 少年が、大好きだった祖父のまねをしたかったこと。

前半

できごと

涙にまつわる描写

少年の気持ち

祖父の死
←
親戚や客が家
に来る。

①
おじいちゃんが死
んだのは悲しいこ
とだ。それも、わ
かる。悲しいとき
には、泣いてしま
う。それだって、
ちゃんとわかって
いる。なのに、涙が

②
・ 悲しいかどうかも
・ 家に自分の
③
を見つ
けられないから、ゆっ
くり悲しむこともでき
ないのかもしれない。

シライさんを
民宿へ案内。

今より若い祖父

の
⑤
を見る。

④
祖父とはもう話せない。
←
初めて
⑥
と結びつく。

シライさんた
ちは、祖父や
父の若い頃の

⑤
を

⑧
祖父がいなくなったこ
とを実感し始めて急に
なり、

10

- (2) (1) 少年は祖父を尊敬していて、ときどき一緒に漁に出ていた。
祖父の死は突然すぎて、少年は初めは受け止められなかった。

全体を
読めたかな？

この文章の内容と合うものに○を、合わないものに×を書こう

(1) () (2) ()

後		半	
⑤ を撮る。 少年も頭に巻いて	⑩ 祖父の を見つける。 父とシライさんが取りに来る。	肴に酒を飲む。 叔母さんたちは祖父の思い出話。	⑦ 涙は だんだん悲しくなってきた。
⑪ かすかな は、 そこにもあった。	⑫ 熱いものがまぶたからあふれ出た。 タオルから香ってくる	⑬ 触るのがなんとなく見つめる。 て、タオル	⑭ だんだん なってきた。
祖父と少年のつながり 祖父の死を実感	⑮ をおじいちゃんのおいだ、と思った。		

工 漁師としての祖父の思いが少年に引き継がれたこと。
才 祖父との思い出を父やシライさんと共有できたこと。
💡 少年と祖父との関係や、タオルを額に巻いたあとの少年の様子から考えよう。

ステップ3 つなげる
ステップ1 と ステップ2 の内容をつなげて、
問の答えを整えよう。

ステップ1 で答えた象徴する内容を「タオル」に続く形でまとめる

答え

タオルが少年の額に巻かれたことは、
を表している。

ステップ2 で選んだ二つの内容をまとめる

を表している。

文法

活用のない自立語



デジタル

教科書

p.38,
p.290~293

1 一名詞

主語になることができる。体言ともいう。

① 普通名詞

一般的な人や物の名。例 国語・人間

② 固有名詞

特定の人や物の名。例 東京都・花子

③ 代名詞

人・物・事柄・場所などを指し示す。

◇ 人称代名詞：人を指し示す。

・ 話し手が自分自身を指す。(一人称) 例 僕・私

・ 相手を指す。(二人称) 例 あなた・きみ

・ それ以外の人を指す。(三人称) 例 彼・彼女・あいつ

◇ 指示代名詞：事物・場所・方向などを示す。例 これ・そこ・どちら

④ 数詞

数量や順番を表す。例 五人・三番目

⑤ 形式名詞

形式的な意味を表す。例 私のこと・言うとおり

形容動詞	副詞	連体詞	名詞				◇指示語 (一)そこあど言葉
			(指示代名詞)			(人称代名詞)	
			方向	場所	事物	人	
こんなだ	こう	この	こちら	ここ	これ	このかた	近称 (話し手の近くのもの)
そんなだ	そう	その	そちら	そこ	それ	そのかた	中称 (聞き手の近くや、やや離れたもの)
あんなだ	あの	あち	あっち	あそこ	あれ	あのかた	遠称 (どちらのものでもないもの・遠いもの)
どんなだ	どの	どちら	どっち	どこ	どれ	どのかた	不定称 (特定できないもの)

確認しよう

1 名詞

線部の名詞の種類を、漢字で書きなさい。

(1) これは兄の本だ。

(2) 鐘が五時を告げる。

(3) 林さんに会った。

(4) 好きなものを見る。

(5) ケーキを食べる。

2 連体詞

次の各文の連体詞の横に~~~~線を、その連体詞が修飾する一文節の横に——線を引きなさい。

(1) 今日はこの本を読まないのですか。

(2) 兄は大きなばんを持っている。

(3) それはたいした失敗ではない。

(4) その美しい花の、名前が知りたい。

(5) ある晴れた日に彼に出会った。

3 副詞

次の各文の副詞の横に~~~~線を、その副詞が修飾する一文節の横に——線を引きなさい。

(1) 誤りをはっきり指摘することが大切だ。

(2) 少し熱があつたので、今日の練習を休んだ。

(3) 彼女は、まるで大人のような話し方をする。

(4) もし明日雨なら、遠足は延期になる。

(5) この木もやがて大きく成長するだろう。

💡 (3)・(4)は、あとに決まった表現がくる叙述の副詞。



2 連体詞

体言の前に置かれ、**体言を含む文の成分を修飾する。**

例 この場所・その服・あの人・どの歌・大きな輪・

小さな池・いろんな物・とんだ誤り・ある日・

あらゆる本・いわゆる天才

3 副詞

状態・程度を表し、主に用言を修飾する。

① 状態の副詞…動作や作用の状態を表す。(擬声語や擬態語を含む)

例 彼はいきなり怒り出した。 につこり笑った。 擬態語

雨がざあざあ降る。 擬声語

② 程度の副詞…事柄の程度を表す。

例 とても暑い。 用言を修飾 ずいぶん前。 体言を修飾

③ 叙述の副詞…この副詞のあとには決まった表現がくる。

例 なぜ歌わないのか。 疑問の表現がくる

決して言わない。 打ち消しの表現がくる

4 接続詞

前後の文や語をつなぎ、**関係を示す。**

① 順接…原因と結果をつなぐ。 例 だから・そこで・すると

② 逆接…逆の内容をつなぐ。 例 しかし・だが・けれども

③ 累加・並立…つけ加える。 並べる。

例 また・そして・それから

④ 対比・選択…比べる。 選ぶ。 例 あるいは・それとも

⑤ 転換…話題を変える。 例 さて・ところで・では

⑥ 要約・言いかえ・補足…まとめる。 言いかえる。 補う。

例 つまり・ただし・なぜなら

5 感動詞

独立語として、**感動・呼びかけ・応答・挨拶**などを表す。

例 おお、速い。 感動 ねえ、行こう。 呼びかけ はい、そうです。 応答

4 連体詞・副詞

次の各文から、連体詞と副詞を一つずつ抜き出さない。

連体詞

副詞

□ (1) あの人ともつと遊びたい。

□ (2) 必ず小さな箱に入れる。

□ (3) まったくとんだ災難だ。

□ (4) その会はとても楽しい。

□ (5) なぜこの場に來たのか。

💡 名詞(体言)にしかつながらない語は連体詞。

5 接続詞

□に入る接続詞をあとから一つずつ選びなさい。

□ (1) 白にしようか。 □、黒にしようか。

□ (2) 左右を確認した。 □、歩き出した。

□ (3) 兄は行く。 □、僕は行かない。

□ (4) 彼は父の弟。 □、私のおじだ。

□ (5) 明日は雨だ。 □、家で過ごそう。

□ (6) できましたか。 □、見せてください。

ア そして イ けれども ウ それとも

エ それでは オ だから カ つまり

6 感動詞

—線部の感動詞の意味をあとから一つずつ選びなさい。

□ (1) ねえ、もっときちんと話を聞いてよ。

□ (2) まあ、なんてすてきな庭でしょう。

□ (3) いいえ、私はそこへは行きません。

□ (4) こんにちは、いいお天気ですね。

ア 挨拶 イ 呼びかけ ウ 感動 エ 応答

知

漢字

1

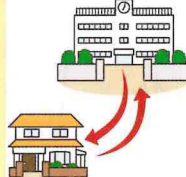
まちがえやすい漢字

教科書

p.42~43

1 次の片仮名の部分を漢字に直すとき、() 内の漢字のどれを使うか。正しいものを一つ選び、○で囲みなさい。

- (1) 家と学校を往フク（腹・復・複）する。
 (2) 円の直ケイ（軽・経・径）を測る。
 (3) 機械のコウ（構・講）造を学習する。
 (4) 海テイ（低・底）にトンネルをほる。
 (5) 手チョウ（帳・張）にメモを取る。



④「海のソコ」というように、文の意味を考えて漢字を選ぼう。

2 次の上下の漢字を——でつなぎ、熟語をつくりなさい。

- (1) ① 思・面
 ② 志・望
 ③ 誌・想
 (2) ① 彼・革
 ② 皮・労
 ③ 疲・岸

④「シ」、「ヒ」は音が同じで、字の形も似ている。

3 次の□に入る漢字を書きなさい。また、その漢字の部首名を下から選んで()に記号で書きなさい。

- (1) 説明を□(ホ) 足する。
 (2) □(ヒ) 密を漏らす。
- ア しめすへん
 イ のぎへん
 ウ ころもへん
 エ きへん

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

4 次の□に入る漢字を()から選んで書きなさい。

(1) □ 切な対応をする。(敵・適)

(2) 規則に□ 反する。(違・偉・緯)

(3) 見事な□ 配を見せる。(采・採・菜)

(4) 練習に真□ に取り組む。(険・剣・検・儉)

同じ音をもつ、形の似た漢字だね。



★は新出漢字

- 25□ 研 21□ 褐 17□ 鍛 43 座 13□ 硝 9□ 緯 5□ 謙 ページ
 1□ 42 遜
 26□ 磨 22□ 色 18□ 錬 14□ 禅 10□ 酸 6□ 度 2□ 嫌
 27□ 摩 23□ 阻 19□ 食 15□ 吉 11□ 側 7□ 賢 3□ 煙
 儉 租 修 袖 購 堅 伸
 約 税 繕 (訓読み) 買 罍 縮
 24□ 粗 20□ 喝 16□ 襟 12□ 事 8□ 消 4□ 紳
 品 采 (訓読み) 柄 耗 士

漢 字

知

①～⑫は 線の漢字の読みを書き、
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

① 虹に見入る。

② 乾物屋を営む。

③ 演壇に立つ。

④ 列車の車掌。

⑤ 風が心地よい。

⑥ 二十歳のころ。

⑦ 過度に謙遜する。

⑧ 日本海溝の調査。

⑨ 大声で一喝する。

⑩ 商いは順調だ。

⑪ セミの羽化。

⑫ 己をはげます。

⑬ 猫をだきあげる。

⑭ 帯をしめる。

⑮ シンセキが集まる。

⑯ ボールをける。

⑰ ベツソウを買う。

⑱ 自己シヨウカイをする。

⑲ ヘラブナをつる。

⑳ 種をハチに植える。

㉑ すの物を作る。

㉒ ケンシンの支える。

㉓ スイトウの茶を飲む。

㉔ かけ算をする。

㉕ 家業をつぐ。

㉖ グモンを発する。

㉗ 机をふく。

㉘ あやしい物音。

㉙ メイフクをいのる。

㉚ シンシユクする布地。

㉛ これまでのケイイ。

㉜ フリヨの事故。

㉝ シヨウモウ品を買う。

㉞ はながらの服。

㉟ フシヨウ事を起こす。

㊱ えりを正す。

㊲ サイハイを振る。

㊳ ソゼイを納める。

㊴ マサツを生じる。

㊵ ケンヤクに努める。

㊶ おおやけの機関。

㊷ 新しい職につく。

㊸ ほがらかな一日。

㊹ 気にやむ。

㊺ 合理化をはかる。

㊻ 海にのぞむ家。

㊼ 感情をそこねる。

㊽ ベンゼツさわやか。

㊾ ルイジした商品。

㊿ チンタイ住宅に入る。

語 句

知

1 まちがえやすい漢字 42～43 次の
□に入る漢字を□から一つずつ
選び、文を完成させなさい。

□ (1) なんとか□止する。

□ (2) 叔父は□快な人だ。

阻 粗 愉 輸

2 35 線の部の語句を使った文と
□して適切なものを、一つ選びなさい。

ア 弟が空を見ながらうつむく。

イ 兄は悲しげにうつむく。

ウ うれしくて気持ちがあうつむく。

3 次の 線の部の語句の意味を、
一つずつ選びなさい。

□ (1) 26 音のした方をげげんそうに見つめる。

ア とても心配そうな様子

イ 不機嫌で怒った様子

ウ 不思議に思ふ様子

□ (2) 27 忙しいと厄介払いされた。

ア 厄介者を裏でかくまうこと

イ 厄介なことを追い払うこと

ウ 厄介なことを頼まれること

すらすら読解ガイド②

説明的文章

あとの単元でも役立つ、
読み方のポイントを学ぼう！



デジタル

1 文章の構成と論理の展開を捉えよう

—日本の花火の楽しみ—

注目ポイントはココ！

1 問い↓答え

2 説明

3 筆者の主張

教科書の文章で確かめて、
に入る言葉を抜き出そう

教科書

花火が日本人をこれほどまでにひきつけるのは、どうしてなのだろうか。(50②)
・(日本の花火の特徴)に人は美しさと魅力を見いだすのだと思う。(50⑨)
・(打ち上げ前の花火玉の)中に光や色を発する「星」と、……「割火薬」が層をなして入っている。(51①)

問い 花火が日本人を

のはなぜか。

答え 人は日本の花火の特徴に

と魅力を見いだすから。

2 文章の構成と論理の展開を捉えよう

—水の山 富士山—

注目ポイントはココ！

1 問い

2 説明↓答え

3 筆者の主張

教科書

富士山に降った大量の雨は、どこへ行ってしまったのだろうか。(57⑥)
・(樹海の)洞穴内の水は、千メートル以上の標高差を下ってきた(59⑫)
・山頂や山腹にもたらされた降水は、溶岩流に沿って四方八方へと流下したのである。(59⑮)

答えを導くための説明 樹海の洞穴内の

の水は、千メートル以上の標高差を下ってきた。

答え 降水は、溶岩流に沿って

へ流れていった。

3 文章と図や写真との関連性を捉えよう

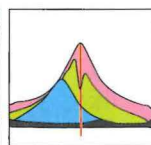
注目ポイントはココ！

1 図

2 写真

教科書

富士山を断面図にして見てみると、富士山は三つの火山が積み重なってできていることがわかる。(57⑨)
・芯物の場合、芯の部分全体ができるだけ丸く大きく開き、その中心が一点に合わる。(52④)



図との関連性

三つの火山がどのように積み重なっているかをわかりやすく示している。

写真との関連性

の部分全体が開いた理想的な状態をはっきりと示している。

解く前に、**すらすら読解ガイド②** (P.16) でポイントを復習!

思

まず

説明の仕方を捉えよう

問い

花火が日本人を
のは、どうしてか。

答え

花火の整った形と、明瞭な色彩が変化するさまに
美しさと魅力を見いだすから。

説明

○花火の
について
割物・芯物

の高い技術とよりよい花火を

探求する精神について

筆者の主張

筆者は、花火の特徴を複数の観点から
説明したあと、考えを述べているよ。



ちよつと
解説

説明文を読む
ときは、具体
例のあげ方や
論理の展開に
着目しよう。

思

読解
1 順番に
読み取ろう

文章の構成を捉えよう

【A 「問い」と「答え」を読み取ろう】

1 「日本では、夏を中心に一年を通して花火大会が開催されてい
る」(50①)について、

□(1) 日本の花火大会での主流な打ち上げ方法を**二十三**字で抜き
出さない。

目標

2

「花火が日本人をこれほどまでにひきつけるのは、どうしてな
のだろうか」(50②)という問いに対する「答え」の内容を、**四十
字以内**で書きなさい。

書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう!

内容

「花火が日本人をひきつける」理由をP.50⑧行〜⑩行から探す。

↓日本の花火の特徴は、**整った形と、明瞭な色彩が変化するさ
ま**にある。

↓そこに人は**美しさと魅力を見いだす**のだ。

答え方

文末は「**から**。」などにする。

□(2) 日本の花火が追求してきたものを**七**字で抜き出さない。

32

23

7

1
「割物」と呼ばれる花火(51④)について、次のようにまとめた。

「と」

「花火玉の中に」

「が層をなして入っている。」

← 上空で破裂

一瞬で火薬の燃焼による
が大きく整った
に広がる。

2 『芯物』という種類の花火(51⑩)についてのみの説明といえるものを二つ選びなさい。

ア 発色の違う火薬が二重三重の層になっているという、変色の
しかけを備えたものである。

イ「割物」のうち、球体の内側にさらに「芯」と呼ばれる球体を一つ、あるいは複数入れ込んだものである。

ウ 危険な火薬を取り扱つたため、花火師が製作時にも打ち上げ時にも安全に配慮する必要がある花火である。

工 製作に大変手間がかかり、高い品質を維持することが難しい
花火である。

3

3 「理想とする花火の姿」
52 ① について、

□(1) 花火師が理想とする花火の姿の「条件」(52⑥)は何か。次の二点について、十七字と二十二字で抜き出しなさい。

●花火が開いたあとの「変化」

□(2) 森^{もり}さんは、花火を「大きく整った球体」(52(12))として開花さ

せるための技術についてみんなの前で説明することになった。
 具体的にどんな技術か、**みんなの前で発表する口調**で書きなさい。

書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう！

花火を「大きく整った球体」として開花させる技術の内容をP.52
 ⑫行〜⑭行から探す。

↓大きく整った球体となって開花するためには、**花火玉を、上昇から落下に転ずる一瞬止まった時に開かせることが必要。**

↓このタイミングを合わせるための打ち上げる技術も大事。

答え方
文末は「技術です。」などの形にする。



4 「消え去る時によりやく完結する芸術」(53 16)とあるが、筆者がどのように考える理由は何か。①③に入る言葉を抜き出しなさい。

●花火の魅力は、開いている時に①
を感じる

させることだけでなく、消え去る時に②

を感じさせることにもあり、開いている時と消え去る時の

③
が印象的で、心に残るのだと考えているから。

【C 筆者の主張を捉えよう】

1 筆者は、「日本の花火の楽しみ」をどのようなところに見いだしているか。一つ選びなさい。

ア 一発のできばえや演出面で、花火師の技術が毎年進化していることが感じられ、世代を超えてみんなが楽しめるところ。

イ 大きな音とともに、さまざまな色や形の花火を組み合わせてリズムカルに次々と夜空に咲かせる空間芸術であるところ。

ウ 花火を見ている者全てが、熟練された日本の花火師の技術を確認することができ、その技術がわかりやすいところ。

エ 花火師の高度な技術に支えられた、華やかさとはかなさを同時に味わえるという日本人の琴線にふれる芸術であるところ。

💡 最後の一文に、筆者の花火についての考えが書かれているよ。

思

読解 2 全体を捉えよう

①⑥に入る言葉を抜き出そう

筆者の主張	説明	答え ← 問い	役割 段落と 観点 説明の
花火の魅力	花火の③	花火の特徴	観点
華やかさとはかなさを同時に味わえる⑥	④ ＝ 強烈な⑤を残す。	花火の構造 ② 「……割物」の内側に「芯」→大変な手間 ・ゆがみなくまん丸く大きく開く。 ・はつきりした発色で一斉に変色し、一斉に消える。	段落の内容 花火が日本人をひきつけるのは、どうしてか？ 整った形と、明瞭な色彩が① するさまに 人は美しさと魅力を見いだすから。



全体を
読めたかな？

この文章の内容と合うものに○を、
合わないものに×を書こう。

(2) (1)

日本の花火大会の主流は、連続して打ち上げる方法である。
日本の花火は、花火師の高度な技術に支えられている。

(1) (2)

解く前に、**すらすら読解ガイド②** (P.16) でポイントを復習!

まず **①** **②** **③** **④** **⑤** **⑥** **⑦** **⑧** **⑨** **⑩** **⑪** **⑫** **⑬** **⑭** **⑮** **⑯** **⑰** **⑱** **⑲** **⑳** **㉑** **㉒** **㉓** **㉔** **㉕** **㉖** **㉗** **㉘** **㉙** **㉚** **㉛** **㉜** **㉝** **㉞** **㉟** **㊱** **㊲** **㊳** **㊴** **㊵** **㊶** **㊷** **㊸** **㊹** **㊺** **㊻** **㊼** **㊽** **㊾** **㊿** **㏀** **㏁** **㏂** **㏃** **㏄** **㏅** **㏆** **㏇** **㏈** **㏉** **㏊** **㏋** **㏌** **㏍** **㏎** **㏏** **㏐** **㏑** **㏒** **㏓** **㏔** **㏕** **㏖** **㏗** **㏘** **㏙** **㏚** **㏛** **㏜** **㏝** **㏞** **㏟** **㏠** **㏡** **㏢** **㏣** **㏤** **㏥** **㏦** **㏧** **㏨** **㏩** **㏪** **㏫** **㏬** **㏭** **㏮** **㏯** **㏰** **㏱** **㏲** **㏳** **㏴** **㏵** **㏶** **㏷** **㏸** **㏹** **㏺** **㏻** **㏼** **㏽** **㏾** **㏿** **㐀** **㐁** **㐂** **㐃** **㐄** **㐅** **㐆** **㐇** **㐈** **㐉** **㐊** **㐋** **㐌** **㐍** **㐎** **㐏** **㐐** **㐑** **㐒** **㐓** **㐔** **㐕** **㐖** **㐗** **㐘** **㐙** **㐚** **㐛** **㐜** **㐝** **㐞** **㐟** **㐠** **㐡** **㐢** **㐣** **㐤** **㐥** **㐦** **㐧** **㐨** **㐩** **㐪** **㐫** **㐬** **㐭** **㐮** **㐯** **㐰** **㐱** **㐲** **㐳** **㐴** **㐵** **㐶** **㐷** **㐸** **㐹** **㐺** **㐻** **㐼** **㐽** **㐾** **㐿** **㑀** **㑁** **㑂** **㑃** **㑄** **㑅** **㑆** **㑇** **㑈** **㑉** **㑊** **㑋** **㑌** **㑍** **㑎** **㑏** **㑐** **㑑** **㑒** **㑓** **㑔** **㑕** **㑖** **㑗** **㑘** **㑙** **㑚** **㑛** **㑜** **㑝** **㑞** **㑟** **㑠** **㑡** **㑢** **㑣** **㑤** **㑥** **㑦** **㑧** **㑨** **㑩** **㑪** **㑫** **㑬** **㑭** **㑮** **㑯** **㑰** **㑱** **㑲** **㑳** **㑴** **㑵** **㑶** **㑷** **㑸** **㑹** **㑺** **㑻** **㑼** **㑽** **㑾** **㑿** **㒀** **㒁** **㒂** **㒃** **㒄** **㒅** **㒆** **㒇** **㒈** **㒉** **㒊** **㒋** **㒌** **㒍** **㒎** **㒏** **㒐** **㒑** **㒒** **㒓** **㒔** **㒕** **㒖** **㒗** **㒘** **㒙** **㒚** **㒛** **㒜** **㒝** **㒞** **㒟** **㒠** **㒡** **㒢** **㒣** **㒤** **㒥** **㒦** **㒧** **㒨** **㒩** **㒪** **㒫** **㒬** **㒭** **㒮** **㒯** **㒰** **㒱** **㒲** **㒳** **㒴** **㒵** **㒶** **㒷** **㒸** **㒹** **㒺** **㒻** **㒼** **㒽** **㒾** **㒿** **㓀** **㓁** **㓂** **㓃** **㓄** **㓅** **㓆** **㓇** **㓈** **㓉** **㓊** **㓋** **㓌** **㓍** **㓎** **㓏** **㓐** **㓑** **㓒** **㓓** **㓔** **㓕** **㓖** **㓗** **㓘** **㓙** **㓚** **㓛** **㓜** **㓝** **㓞** **㓟** **㓠** **㓡** **㓢** **㓣** **㓤** **㓥** **㓦** **㓧** **㓨** **㓩** **㓪** **㓫** **㓬** **㓭** **㓮** **㓯** **㓰** **㓱** **㓲** **㓳** **㓴** **㓵** **㓶** **㓷** **㓸** **㓹** **㓺** **㓻** **㓼** **㓽** **㓾** **㓿** **㔀** **㔁** **㔂** **㔃** **㔄** **㔅** **㔆** **㔇** **㔈** **㔉** **㔊** **㔋** **㔌** **㔍** **㔎** **㔏** **㔐** **㔑** **㔒** **㔓** **㔔** **㔕** **㔖** **㔗** **㔘** **㔙** **㔚** **㔛** **㔜** **㔝** **㔞** **㔟** **㔠** **㔡** **㔢** **㔣** **㔤** **㔥** **㔦** **㔧** **㔨** **㔩** **㔪** **㔫** **㔬** **㔭** **㔮** **㔯** **㔰** **㔱** **㔲** **㔳** **㔴** **㔵** **㔶** **㔷** **㔸** **㔹** **㔺** **㔻** **㔼** **㔽** **㔾** **㔿** **㕀** **㕁** **㕂** **㕃** **㕄** **㕅** **㕆** **㕇** **㕈** **㕉** **㕊** **㕋** **㕌** **㕍** **㕎** **㕏** **㕐** **㕑** **㕒** **㕓** **㕔** **㕕** **㕖** **㕗** **㕘** **㕙** **㕚** **㕛** **㕜** **㕝** **㕞** **㕟** **㕠** **㕡** **㕢** **㕣** **㕤** **㕥** **㕦** **㕧** **㕨** **㕩** **㕪** **㕫** **㕬** **㕭** **㕮** **㕯** **㕰** **㕱** **㕲** **㕳** **㕴** **㕵** **㕶** **㕷** **㕸** **㕹** **㕺** **㕻** **㕼** **㕽** **㕾** **㕿** **㖀** **㖁** **㖂** **㖃** **㖄** **㖅** **㖆** **㖇** **㖈** **㖉** **㖊** **㖋** **㖌** **㖍** **㖎** **㖏** **㖐** **㖑** **㖒** **㖓** **㖔** **㖕** **㖖** **㖗** **㖘** **㖙** **㖚** **㖛** **㖜** **㖝** **㖞** **㖟** **㖠** **㖡** **㖢** **㖣** **㖤** **㖥** **㖦** **㖧** **㖨** **㖩** **㖪** **㖫** **㖬** **㖭** **㖮** **㖯** **㖰** **㖱** **㖲** **㖳** **㖴** **㖵** **㖶** **㖷** **㖸** **㖹** **㖺** **㖻** **㖼** **㖽** **㖾** **㖿** **㗀** **㗁** **㗂** **㗃** **㗄** **㗅** **㗆** **㗇** **㗈** **㗉** **㗊** **㗋** **㗌** **㗍** **㗎** **㗏** **㗐** **㗑** **㗒** **㗓** **㗔** **㗕** **㗖** **㗗** **㗘** **㗙** **㗚** **㗛** **㗜** **㗝** **㗞** **㗟** **㗠** **㗡** **㗢** **㗣** **㗤** **㗥** **㗦** **㗧** **㗨** **㗩** **㗪** **㗫** **㗬** **㗭** **㗮** **㗯** **㗰** **㗱** **㗲** **㗳** **㗴** **㗵** **㗶** **㗷** **㗸** **㗹** **㗺** **㗻** **㗼** **㗽** **㗾** **㗿** **㘀** **㘁** **㘂** **㘃** **㘄** **㘅** **㘆** **㘇** **㘈** **㘉** **㘊** **㘋** **㘌** **㘍** **㘎** **㘏** **㘐** **㘑** **㘒** **㘓** **㘔** **㘕** **㘖** **㘗** **㘘** **㘙** **㘚** **㘛** **㘜** **㘝** **㘞** **㘟** **㘠** **㘡** **㘢** **㘣** **㘤** **㘥** **㘦** **㘧** **㘨** **㘩** **㘪** **㘫** **㘬** **㘭** **㘮** **㘯** **㘰** **㘱** **㘲** **㘳** **㘴** **㘵** **㘶** **㘷** **㘸** **㘹** **㘺** **㘻** **㘼** **㘽** **㘾** **㘿** **㙀** **㙁** **㙂** **㙃** **㙄** **㙅** **㙆** **㙇** **㙈** **㙉** **㙊** **㙋** **㙌** **㙍** **㙎** **㙏** **㙐** **㙑** **㙒** **㙓** **㙔** **㙕** **㙖** **㙗** **㙘** **㙙** **㙚** **㙛** **㙜** **㙝** **㙞** **㙟** **㙠** **㙡** **㙢** **㙣** **㙤** **㙥** **㙦** **㙧** **㙨** **㙩** **㙪** **㙫** **㙬** **㙭** **㙮** **㙯** **㙰** **㙱** **㙲** **㙳** **㙴** **㙵** **㙶** **㙷** **㙸** **㙹** **㙺** **㙻** **㙼** **㙽** **㙾** **㙿** **㚀** **㚁** **㚂** **㚃** **㚄** **㚅** **㚆** **㚇** **㚈** **㚉** **㚊** **㚋** **㚌** **㚍** **㚎** **㚏** **㚐** **㚑** **㚒** **㚓** **㚔** **㚕** **㚖** **㚗** **㚘** **㚙** **㚚** **㚛** **㚜** **㚝** **㚞** **㚟** **㚠** **㚡** **㚢** **㚣** **㚤** **㚥** **㚦** **㚧** **㚨** **㚩** **㚪** **㚫** **㚬** **㚭** **㚮** **㚯** **㚰** **㚱** **㚲** **㚳** **㚴** **㚵** **㚶** **㚷** **㚸** **㚹** **㚺** **㚻** **㚼** **㚽** **㚾** **㚿** **㜀** **㜁** **㜂** **㜃** **㜄** **㜅** **㜆** **㜇** **㜈** **㜉** **㜊** **㜋** **㜌** **㜍** **㜎** **㜏** **㜐** **㜑** **㜒** **㜓** **㜔** **㜕** **㜖** **㜗** **㜘** **㜙** **㜚** **㜛** **㜜** **㜝** **㜞** **㜟** **㜠** **㜡** **㜢** **㜣** **㜤** **㜥** **㜦** **㜧** **㜨** **㜩** **㜪** **㜫** **㜬** **㜭** **㜮** **㜯** **㜰** **㜱** **㜲** **㜳** **㜴** **㜵** **㜶** **㜷** **㜸** **㜹** **㜺** **㜻** **㜼** **㜽** **㜾** **㜿** **㝀** **㝁** **㝂** **㝃** **㝄** **㝅** **㝆** **㝇** **㝈** **㝉** **㝊** **㝋** **㝌** **㝍** **㝎** **㝏** **㝐** **㝑** **㝒** **㝓** **㝔** **㝕** **㝖** **㝗** **㝘** **㝙** **㝚** **㝛** **㝜** **㝝** **㝞** **㝟** **㝠** **㝡** **㝢** **㝣** **㝤** **㝥** **㝦** **㝧** **㝨** **㝩** **㝪** **㝫** **㝬** **㝭** **㝮** **㝯** **㝰** **㝱** **㝲** **㝳** **㝴** **㝵** **㝶** **㝷** **㝸** **㝹** **㝺** **㝻** **㝼** **㝽** **㝾** **㝿** **㞀** **㞁** **㞂** **㞃** **㞄** **㞅** **㞆** **㞇** **㞈** **㞉** **㞊** **㞋** **㞌** **㞍** **㞎** **㞏** **㞐** **㞑** **㞒** **㞓** **㞔** **㞕** **㞖** **㞗** **㞘** **㞙** **㞚** **㞛** **㞜** **㞝** **㞞** **㞟** **㞠** **㞡** **㞢** **㞣** **㞤** **㞥** **㞦** **㞧** **㞨** **㞩** **㞪** **㞫** **㞬** **㞭** **㞮** **㞯** **㞰** **㞱** **㞲** **㞳** **㞴** **㞵** **㞶** **㞷** **㞸** **㞹** **㞺** **㞻** **㞼** **㞽** **㞾** **㞿** **㟀** **㟁** **㟂** **㟃** **㟄** **㟅** **㟆** **㟇** **㟈** **㟉** **㟊** **㟋** **㟌** **㟍** **㟎** **㟏** **㟐** **㟑** **㟒** **㟓** **㟔** **㟕** **㟖** **㟗** **㟘** **㟙** **㟚** **㟛** **㟜** **㟝** **㟞** **㟟** **㟠** **㟡** **㟢** **㟣** **㟤** **㟥** **㟦** **㟧** **㟨** **㟩** **㟪** **㟫** **㟬** **㟭** **㟮** **㟯** **㟰** **㟱** **㟲** **㟳** **㟴** **㟵** **㟶** **㟷** **㟸** **㟹** **㟺** **㟻** **㟼** **㟽** **㟾** **㟿** **㠀** **㠁** **㠂** **㠃** **㠄** **㠅** **㠆** **㠇** **㠈** **㠉** **㠊** **㠋** **㠌** **㠍** **㠎** **㠏** **㠐** **㠑** **㠒** **㠓** **㠔** **㠕** **㠖** **㠗** **㠘** **㠙** **㠚** **㠛** **㠜** **㠝** **㠞** **㠟** **㠠** **㠡** **㠢** **㠣** **㠤** **㠥** **㠦** **㠧** **㠨** **㠩** **㠪** **㠫** **㠬** **㠭** **㠮** **㠯** **㠰** **㠱** **㠲** **㠳** **㠴** **㠵** **㠶** **㠷** **㠸** **㠹** **㠺** **㠻** **㠼** **㠽** **㠾** **㠿** **㡀** **㡁** **㡂** **㡃** **㡄** **㡅** **㡆** **㡇** **㡈** **㡉** **㡊** **㡋** **㡌** **㡍** **㡎** **㡏** **㡐** **㡑** **㡒** **㡓** **㡔** **㡕** **㡖** **㡗** **㡘** **㡙** **㡚** **㡛** **㡜** **㡝** **㡞** **㡟** **㡠** **㡡** **㡢** **㡣** **㡤** **㡥** **㡦** **㡧** **㡨** **㡩** **㡪** **㡫** **㡬** **㡭** **㡮** **㡯** **㡰** **㡱** **㡲** **㡳** **㡴** **㡵** **㡶** **㡷** **㡸** **㡹** **㡺** **㡻** **㡼** **㡽** **㡾** **㡿** **㢀** **㢁** **㢂** **㢃** **㢄** **㢅** **㢆** **㢇** **㢈** **㢉** **㢊** **㢋** **㢌** **㢍** **㢎** **㢏** **㢐** **㢑** **㢒** **㢓** **㢔** **㢕** **㢖** **㢗** **㢘** **㢙** **㢚** **㢛** **㢜** **㢝** **㢞** **㢟** **㢠** **㢡** **㢢** **㢣** **㢤** **㢥** **㢦** **㢧** **㢨** **㢩** **㢪** **㢫** **㢬** **㢭** **㢮** **㢯** **㢰** **㢱** **㢲** **㢳** **㢴** **㢵** **㢶** **㢷** **㢸** **㢹** **㢺** **㢻** **㢼** **㢽** **㢾** **㢿** **㣀** **㣁** **㣂** **㣃** **㣄** **㣅** **㣆** **㣇** **㣈** **㣉** **㣊** **㣋** **㣌** **㣍** **㣎** **㣏** **㣐** **㣑** **㣒** **㣓** **㣔** **㣕** **㣖** **㣗** **㣘** **㣙** **㣚** **㣛** **㣜** **㣝** **㣞** **㣟** **㣠** **㣡** **㣢** **㣣** **㣤** **㣥** **㣦** **㣧** **㣨** **㣩** **㣪** **㣫** **㣬** **㣭** **㣮** **㣯** **㣰** **㣱** **㣲** **㣳** **㣴** **㣵** **㣶** **㣷** **㣸** **㣹** **㣺** **㣻** **㣼** **㣽** **㣾** **㣿** **㤀** **㤁** **㤂** **㤃** **㤄** **㤅** **㤆** **㤇** **㤈** **㤉** **㤊** **㤋** **㤌** **㤍** **㤎** **㤏** **㤐** **㤑** **㤒** **㤓** **㤔** **㤕** **㤖** **㤗** **㤘** **㤙** **㤚** **㤛** **㤜** **㤝** **㤞** **㤟** **㤠** **㤡**

目標

2 「富士山の表面には河川がない」(58③)理由を、書き出しに続く形で、**四十五字以内**で書きなさい。

書くヒント💡 — 線の内容を使って答えを作ろう！

内容 「富士山の表面には河川がない」(58③)理由をP.58①行③行から探す。

↓溶岩には冷えて固まる時にできた細かな穴がある。

↓富士山の表面は冷えた溶岩に覆われている。

↓水は溶岩の穴を通って地中にしみ込んで地下水になる。

答え方 「富士山の表面は、」に続く形で書く。

文末は「〜から。」などにする。

富士山の表面は、

3 「約一万年からの噴火で積み重なった溶岩流を、富士山麓の湧水と重ねてみる」(58⑨)ことでわかることを**十五字**で抜き出しなさい。

4 「白糸の滝や陣馬の滝」(58⑱)について、

① 筆者は、どのような予想をもとに、これらの滝について調べることにしたのか。それが書かれている部分を**一文**で抜き出し、**初めの五字**を書きなさい。

② これらの滝を調べた結果、どのようなことがわかったか。一つ選びなさい。

- ア 地下水は古い地層の奥深くにしみ込んで流れていた。
 イ 地下水は古い地層と新しい地層の間を流れていた。
 ウ 地下水は新しい地層の表面に沿って流れていた。
 エ 地下水は地表に湧き出て川となって流れていた。

5 「青木ヶ原樹海に入って調べてみた」(59⑦)結果わかったことを次のようにまとめた。①④に入る言葉を抜き出しなさい。

●富士山は①に挟まれた

②であり、

山頂や山腹の降水は

③に沿って

④に

流下していたことがわかった。



2 青木ヶ原樹海

【C】筆者の主張を捉えよう

- 1 「降水量と湧水の湧出量の違い」(60⑬)についてまとめた次の文の□①②③に入る言葉を抜き出しなさい。

●二十二億トンの□①の約半分は蒸発し、約五億ト

ンは□②で湧水となり、残りは□③に湧き出す。

- 2 「豊富な地下水は、人々の生活を支えている」(60⑰)とあるが、地下水がワサビの栽培や魚の養殖に使用できる理由を「〜から」の形で、三十文字以内で書きなさい。

- 3 富士山に対して筆者はどのような考えをもっているか。一つ選びなさい。

ア 人々の生活を支える豊富な地下水があるからこそ、富士山は人々をひきつける山でありうる。

イ 湧水をめぐる富士山麓の仕組みを知らずに、富士山の恩恵を受ける資格はない。

ウ 湧水という面からみても、富士山は私たちに多くの恩恵をもたらしている山である。

エ 富士山からの恵みがどのようににもたらされるかについて、のいつその説明が求められる。

【読解2】全体を捉えよう

□①②③④⑤⑥⑦⑧に入る言葉を抜き出そう

役割と段落と	読み	説明	筆者の主張
説明の観点	富士山と水の関係	富士山の④ 水の流れ 地下水の流れ方 「白糸の滝や陣馬の滝」 新しい地層と古い地層の間を流れる。 〔青木ヶ原樹海の洞穴内〕 富士山自体が巨大な⑦。	まとめ 地下水と富士山
段落の内容	年間二十二億トンの降水↓五億トンの山腹には河川がない。 ②は③の恵みはどのように？	内部…⑤の積み重なり。 表面…冷えた溶岩に覆われ、細かな⑥がある。 地下水が溶岩流に沿って流下し、湧水になっている？ ⑧富士山が雄大な自然を形づくり、多くのをもちあわしている。	この文章の内容と①②③④⑤⑥⑦⑧を、 合わないものに×を書こう。

全体を捉えたかな？

この文章の内容と①②③④⑤⑥⑦⑧を、
合わないものに×を書こう。

- (2) (1) 富士山は、たくさんの恩恵を私たちにもたらしている。
富士山に降った雨は、川と溶岩流に沿って流下している。

読み比べ

日本の花火の楽しみ／水の山 富士山

⑧ 読解 1 順番に読み取ろう

二つの文章を読み比べ、自分の考えをもとう

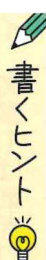
1 『日本の花火の楽しみ』と『水の山 富士山』の具体例のあげ方や説明の展開、表現の仕方についてまとめた次の表の①～⑥に入る言葉を、あとの⑨から選んで書きなさい。

表現の仕方	説明の展開	具体例
⑤ 「だろう」「思う」などの 筆者の考えが述べられている。	③ 花火玉の構造と花火師の技術、 精神を 説明し、花火の魅力を明らかにしている。	日本の花火の①
⑥ 「そこで」「すなわち」などの 実が論理的に述べられている。	④ 富士山の内部の構造や地下水の 流れ方などについて 説明し、富士山について明らかにしている。	富士山と水の②

対応 文末 特徴 接続 関係 解説

2 次の説明の仕方についての文章で、『日本の花火の楽しみ』に当てはまるものにはAを、『水の山 富士山』に当てはまるものにはBを書きなさい。

3 ③ 『水の山 富士山』における論の展開の仕方の特徴について、『段階的』『解説』の二語を使って、四十字以内で書きなさい。



書くヒント ⑧ 線の内容を使って答えを作ろう！

内容

説明の仕方の特徴を捉える。

↓ 富士山と水の関係を説明している文章。

↓ 「そこで」「続いて」などの言葉を使って段階的に説明している。

↓ 課題の提示と検討を繰り返す、そのつど解説を加えながら説明している。

答え方

文末は「～論を展開している。」などにする。

テストの練習問題

日本の花火の楽しみ 小野里公成／水の山 富士山 丸井敦尚

I 『日本の花火の楽しみ』

日本の花火は、一発のときばえを極限まで追求して進化してきた。その特徴は、整った形と、明瞭な色彩が変化するさまにあり、そこに人は美しさと魅力を見いだすのだと思う。

打ち上げ前の花火玉は丸い球体で、中に光や色を発する「星」と、花火玉を割って星を遠く飛散させるための「割火薬」が層をなして入っている。上空で破裂すると、一瞬で火薬の燃焼による花が大きく整った球体に広がる。これが「割物」と呼ばれる花火で、飛び散る星は光の粒となって明るく多彩な色を放つ。そして、その色が何度となく移り変わるといふ変色のしかけを備えている。これは、発色の違う火薬が二重三重の層になっているためである。

II 『水の山 富士山』

溶岩には、冷えて固まる時にガスが抜けてできた、スポンジのような細かな穴がある。富士山の表面はこの冷えた溶岩に覆われているため、水は溶岩の穴を通して地中にしみ込んで地下水となっている。そのため、富士山の表面には河川がないのである。

加えて、富士山の溶岩は、国内の火山としては粘り気が少なく、遠くまで流れていくという特質をもつ。そのため、富士山は均整のとれた円錐形になり、広い裾野をもつことになった。そして、裾野では、地下水となって遠くまで流れてくる水を利用して、多くの人々が暮らすようになったのである。

⑧

(1)(2)は20点・他は各15点

100

- (1) 花火玉が破裂するなどのような形になるか。八字で抜き出さない。

- (2) 文章Ⅱでは富士山の何に注目しているか。五字で書きなさい。

- (3) 文章ⅠとⅡについて述べた次の文の□①～③に入る言葉を、あとから一つずつ選びなさい。

- 日本にあるものの□①について、文章Ⅰでは□②に、文章Ⅱでは□③に注目して述べている。

- ア 世界 イ 魅力 ウ 自然の仕組み エ 人間の技

- (4) 文章ⅠとⅡの論の展開について説明した文の一つを選びなさい。

717 p. 25

- ア 文章ⅠもⅡも、主張や事実を示したあとに特徴的な事例をあげて論を展開している。

- イ 文章Ⅰは筆者の主張のあとに問いを示しながら、文章Ⅱは仮説を立てながら論を展開している。

- ウ 文章Ⅰは筆者の主張を提示したあとに具体的な例をあげて、文章Ⅱは調査内容の事例を複数重ねて論を展開している。

- エ 文章Ⅰは筆者の主張のあとに仮説を示し、文章Ⅱは主張を示したあとにその理由を重ねて論を展開している。

(3)	(2)	(1)
①		
②		
③		
④		

別の文章でたしかめよう

つながる読解

山中湖から見た富士山（地点6-1、地点6-2）

① 富士山の下には土台となった複数の古い火山がある。小御岳火山もそのひとつである。小御岳火山は現在の富士山頂の北に位置していたが、すでにその大半が富士山の噴出物に埋められてしまった。小御岳火山が存在した地形的証拠として残るのは、富士スバルライン五合目駐車場付近に突き出た尾根と、その北側に広がる浸食の進んだ火山斜面である（図6-1）。

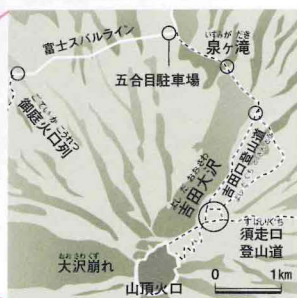
② 小御岳火山の存在を実感するためには、まず山中湖付近に行く。よい。山中湖北岸の駐車場（地点6-1）か、東岸近くの道路

ぞいの高台（地点6-2）がよいだろう。山中湖から見る富士山は、他の場所からは見ることのできない異形の山容をもつ（写真①）。なめらかな裾を引かず、両肩を怒らせているのだ。この左右両肩の出っ張り、富士山の下に隠された古い火山の地形である。このうち右肩、つまり北斜面の出っ張りが小御岳火山の尾根である。

③ 左肩の出っ張りの頂点は、南東斜面にある宝永山だ。宝永山は一七〇七年宝永噴火のさいに、マグマの突き上げによって隆起した。宝永山の頂にある赤岩は、古富士火山の山体の一部である。しかし、山頂から宝永



▲北麓コースの一部



▲図6-1

山付近までの斜面をそのまま斜め下方に延長しても、宝永山から下の斜面にはつづかない。両者は食い違っている。このことは、宝永山周辺の局所的隆起だけでは説明できない。宝永山から下の南東斜面全体に古富士火山が隠れているためだろう。

筆者は本文をどのように説明しているか。一つ選びなさい。

① 筆者の説明の仕方を捉える問題

ア まず話題を述べ、図や写真を根拠に説明し主張を述べている。
イ 主張を述べた後、根拠や具体例を述べ、問題提起をしている。
ウ 図や写真を用いたり問いかけたりして読者をひきつけている。
エ 問いと答えを繰り返しながら、最後に主張を述べている。



筆者の説明の仕方を捉えるときは、問いと答え、事例のあげ方、図表の用い方などに着目。そして段落ごとの内容に着目して読もう。

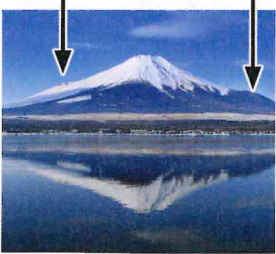
② 「異形の山容をもつ」証拠を、筆者はどのように説明しているか。

次の①②③に入る言葉を抜き出しなさい。

・ 右肩（北斜面）の出っ張り

・ 左肩（南東斜面）の出っ張り

・ ②の下の斜面全体



▲写真①「山中湖から見る富士山」

日本の花火



デジタル

ストロンチウム



赤

バリウム



黄緑

ナトリウム



黄

銅



青緑

花火はなぜ、さまざまな色になるのだろうか？
銅・ナトリウムなどの金属を含む物質を炎の中に入れると、それぞれの物質に固有の色の光を出す（炎色反応）。花火は、この現象を利用してしている。

浮世絵に描かれた江戸時代の花火

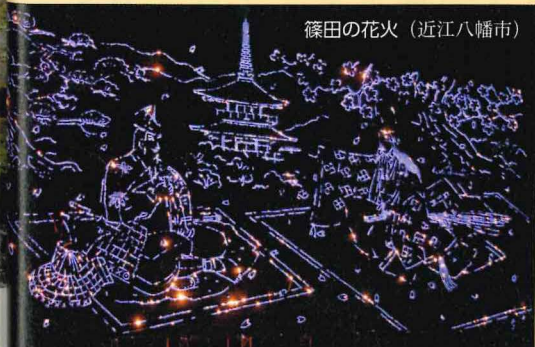
（歌川国芳筆「東都名所・両国の涼」）

ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)

19世紀中期に描かれたもの。夏になると、江戸時代の人々は川で舟遊びなどを楽しんだ。花火は、夏の始まりを告げる風物詩だった。当時は、今のように多様な色は用いられていなかった。



篠田の花火（近江八幡市）

おりかやく
割火薬

© 墨田区・すみだフィルムコミッション

星

打ち上げ花火の断面

花火は、日本の夏の風物詩の一つ。花火についてもっと詳しく見てみよう。



打ち上げ花火以外にもある日本の伝統的な花火

打ち上げ花火以外にも古くから伝わる花火がある。

その一つが「手筒花火」。中部地方等で今も行われている。

滋賀県の篠田神社の祭りでは、炎で絵を描く珍しい仕掛け花火が奉納されており、国選択無形民俗文化財となっている。



飛騨高山 夏の手筒花火

富士山

グラフィック資料



デジタル

日本の最高峰「富士山」。教科書で紹介された富士山の様々な場所を実際に写真で見よう。

本栖湖の湖底

富士山からの湧水によってできたクレターのような光景。

画像提供：ダイビングショッププラウト鎌倉 吉田高太郎

さい 西湖

かわぐち 河口湖

やまなか 山中湖

教科書 p.58
図2と重ねて
見てみよう。

富士山の溶岩

細かい穴があり、水を通しやすい。



リモートセンシングって？

この富士山の画像は、リモートセンシングという技術を使って作られています。宇宙から地球の表面をセンサでスキャンして測定し、そこで得られたデータを補正して、まるで航空写真のような画像を作っているのです。

画像提供：神奈川県立 生命の星・地球博物館

白糸の滝

三島の湧水群の1つ 白滝公園
富士山からの水が湧き出している。

知



言葉

1

敬語



デジタル

教科書

p.66,
p.278~280

1 次の説明に合う敬語の種類を、☐から選んで書きなさい。

(1) 動作の主体となる人物（相手や相手側の人物）を高めて言う言葉。

(2) 自分や自分側の人物の動作が向かう相手を高めて言う言葉。

(3) 改まった場面で相手に対して丁寧（ていねい）に述べる言葉。

(4) 物事を、上品に美しく表現する言い方。直接には誰かを高めることはない。

(5) 謙譲語（けんじょうご）の中で、聞き手や読み手への敬意を込めて、自分の側の行いや物事などを改まって言う言葉。

丁寧語 美化語 謙譲語 尊敬語 丁寧語

2 次の——線部の敬語の種類を下から選び、——でつなぎなさい。

(1) お客様はもうお帰りになる。 尊敬語

(2) まもなく開場でございます。 謙譲語

(3) 窓ぎわに小さなお花を飾る。 丁寧語（謙譲語）

(4) 明日は終日自宅にあります。 丁寧語

(5) 校長先生のお話をうかがう。 美化語

3 次の——線部を適切な敬語に直しなさい。

(1) 先生はスキーをするそうだ。

(2) 先生からノートをもらう。

4 次の各文には、それぞれ一か所ずつ敬語の使い方の方の誤っている部分がある。例にならって正しい表現に直しなさい。

例 今日、父はお留守です。

お留守

留守

(1) 先生はそれが正しいと申しました。

(2) 兄がぜひあなたに会いたいと申しております。

(3) 私は、この本をあの方にお与えになります。

(4) の各文が不適切な理由をそれぞれ選びなさい。

(1) 尊敬語を用いるべきところに謙譲語を用いている。

(2) 謙譲語を用いるべきところに尊敬語を用いている。

(3) 敬語を用いるべきところに普通の語を用いている。

(4) 尊敬語を用いるべきところに謙譲語を用いている。

(5) 謙譲語を用いるべきところに尊敬語を用いている。

(6) 敬語を用いるべきところに普通の語を用いている。



相手や目的に合わせた手紙の書き方◀



□に入る言葉を抜き出そう。□

思

書く

手紙・メールを整える

教科書

p.67~70

1 題材 手紙の用件を決め、形式を確認する。

- ・「誰に」「何のために」書くのかを決め、手紙の形式を確かめる。
- 例 お礼状 お祝い状 案内状 招待状 依頼状 紹介状 など

2 構成 一般的な手紙の形式を参考にし、手紙の構成を考える。

- ・手紙の形式

前文

〈頭語…「拝啓」など〉

主文

〈時候の挨拶…季節に合った言葉〉〈安否の挨拶〉
 〈本文…この手紙で伝えたい内容〉

末文

〈結びの挨拶…相手の健康を気づかう言葉など〉

後付け

〈日付〉
 〈宛名〉
 〈結語…「敬具」など〉

3 考えの形成・記述 下書きをする。

- ・一般的な形式で、用件や伝えたい気持ちを明確に書く。

4 推敲 下書きを推敲する。

- ・相手に応じて、敬語などの言葉づかいができているかを確認する。

5 共有 友達と読み合い、指摘し合い、清書する。

- ・丁寧な文字で書く。

1 次は、林さん^{はやし}が入院していた医院に宛てて書いた手紙である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

拝啓

① ○○医院の皆様は変わりなく過ごしていますか。

さて、春の入院の際にはお世話になり、ありがとうございました。あれからリハビリを続け、今月から、またサッカーの練習を始められることになりました。

②

夏の疲れが出る頃です。皆様、お体を大切になさってください。

九月二十八日

○○医院御中^{おんちゆう}林 国夫^{くにお}

敬具

□ ① に入る文を一つ選びなさい。

ア 日増しに暖かくなってまいりました。

イ 若葉の緑が鮮やかさを増してまいりました。

ウ 一雨ごとに涼しくなりました。

□ ② 線部の言葉づかいを正しく直して書きなさい。

□ ③

② に入る、励ましてくれた医院の人たちへのお礼の言葉を二文で書きなさい。

漢字

漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字

漢字を書こう

似ている漢字

① チャンスを

す。

② 王者に

む。

25 □ 77	21 □	17 □	13 □	9 □ 75	5 □	1 □ 74
越える	狙う	義肢	籠もる	娘	緊急	麻酔
26 □	22 □	18 □	14 □	10 □	6 □	2 □
遭う	膨らむ	疾走	脱出	抗がん剤	無縁	怖い
27 □	23 □	19 □	15 □	11 □	7 □	3 □
震災	福祉	刺激	繰り返す	治療	距離	腫瘍
28 □	24 □	20 □ 76	16 □	12 □	8 □	4 □
被災	高齢者	挑戦	施設	戻る	憧れる	十九歳

教科書

p.74~81

目標

筆者の立場を理解し、試練を乗り越えて生きる姿を読み取ろう



デジタル

3

夢を跳ぶ

自己をひらく

谷真海

思

読解 1 順番に読み取ろう

事実と意思を読み分けよう

【A】「パラリンピック出場」までを読み取ろう

1 「ショックで声が出なかった」(74下)とあるが、どんなことがショックだったのか。次の□①・②に入る言葉を抜き出しなさい。

□① と同じくらい大事な□② を失うこと。

思

まず□□

筆者の状況を捉えよう

筆者 十九歳の大学二年生の時、骨肉腫発症。

骨肉腫になるまで、病気とは□①の生活で、スポーツをずっとやってきた。

「スポーツだって、またできるようにする」という□③の言葉に希望をもつ。

右足膝下の□② 手術と、抗がん剤治療を受ける。

その後の活躍や活動は？

筆者の体験を読み取り、その体験で得たことをどのように生かしているか、探つていこう！



ちやうと解説 筆者の身に起こったことや筆者がしたこと、その時々での筆者の思いを分けて読むと、読み取りやすくなるよ！

が、パラリンピック出場までの筆者の体験を順に並べなさい。

イ 大学に戻るが、友達の明るい話題に取り残される。

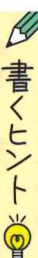
悪性の腫瘍ができ、右足膝下の切断手術を受ける。

工 走り幅跳びの選手になり、記録が伸び、夢が膨らむ。

オ
スポーツならがんばるだろうと気づき、プールに行く。

1 「神様はその人に乗り越えられない試練は与えない」(77上^④)と

か。「言葉。」に続く形で、三十五字以内で書きなさい。



線の内容を使って答えを作ろう！

いつ、誰が言ったどんな言葉か、**P. 77 上②行〜⑦行**から探す。

↓病気の告知を受けて落ちこんでいた時に母が言った言葉。

↓私の心の支えになっている言葉。

「(どんな)時に(誰が)言った(内容)の言葉。」などの形にする。

28

言葉

□ 思

読解
2
全体を
捉えよう

①⑤に入る言葉を抜き出そう

パラリンピック出場
まで

・二〇〇二年四月、骨肉腫で右足膝下を失う。

・シヨックを受けるが、今はよい義足があり、

①
もできると聞き、希望をもつ。

・大学に戻るが、取り残されたように感じ、泣いて過ごす。

↓何か②

をもたなくてはいけないと考える。

・スポーツ義足を着け、^③

選手としてパラリンピックに出場。

後半

体験を伝える活動

- ・テーマは病気や障がいのこと、

④

ことの大切さなど。

- 障がい者のためのスポーツの体験。

・心の支えになっている言葉。

「神様はその人に乗り越えられない試練は与えない。」

夢を与えてくれたのは⑤

こと。

夢をもって試練を乗り越えようとする。この大切さに気づかせてくれた大切な人たちに感謝したい。夢を跳び続けたい。



全体を
読めたかな？

この文章の内容と合うものに○を
合わないものに×を書こう。

(2) (1) 筆者は心のバリアフリーを進めたいと考えている。筆者は障がいのある子どもたちにスポーツを教えている。

知

言葉

2

話し言葉と書き言葉

教科書

p.82,
p.281~283

□ 1 話し言葉と書き言葉についてまとめた次の各文の□①～⑥に入る言葉を、□の字数で281～283ページから抜き出しなさい。

●話し言葉

① □ を使って伝達する言葉であり、録音や録画をすることで記録できるが、あとから修正はできない。

● 聞き手は、その場ですぐに答えたり
② □ したりす
③ □ を確かめ
ながら話を進めることができる。

●書き言葉

● 文字を使って伝達する言葉であり、④ □ などに書かれる。
書かれたものが残るので、多くの人に一齐に伝えたり、

⑤ □ の人に伝えたりするのに使われる。

● 書き手も読み手も、書き直したり読み直したりする

□
□
□
□

をもつことができる。

□
□

□ 2 次の各文は、話し言葉と書き言葉のどちらについて述べているか。分類し、番号で答えなさい。

- ① 場の状況に助けられて、詳しい説明を省略することができる。
- ② 納得のいくまで何回でも読み返すことができる。
- ③ 声が届く範囲の相手に対して使われる。
- ④ 表情や身振りに助けられて、相手の理解が深まる。
- ⑤ 説明に過不足があれば、必要に応じて内容を修正することができる。

話し言葉

書き言葉

□ 3 線部に注意して、次の話し言葉を書き言葉に改めなさい。

□ (1) 今日のうちに行かなくちゃならないよ。

□ (2) いろんな意見がいっぱい出たみたいだ。

□ 4 話し言葉で書かれているものを全て選びなさい。

- ア 行動する前によく考えてごらんって。
イ 地球温暖化防止について各国が意見を発表した。
ウ 課題は規定の用紙に記入すること。
エ ほら、きれいな月が出ているよ。

知



漢字

2

漢字の成り立ち

教科書

p.92~93

1 漢字の四種類の成り立ちについてまとめた次の表の①～⑦に入る言葉を、□の字数で92ページから抜き出しなさい。

種類	象形文字	指事文字	会意文字	形声文字
成り立ち	物を簡略な①にして作られた文字。	文字。②や画を用いて、③のない事物を表した	既にある④新しい⑤を表現した文字。	⑥字や部分を組み合わせで作られた文字。⑦を表す漢
漢字例	山・川	本・上	岩・鳴	河・草

2 次の漢字の成り立ちを、あとから一つずつ選びなさい。

□(1) 洋	□(3) 魚
□(2) 末	□(4) 明
ア 象形文字	ウ 会意文字
イ 指事文字	エ 形声文字

知

3 漢字の用法についてまとめた次の文の□①～③に入る言葉を、92ページからそれぞれ二字で抜き出しなさい。

●漢字には、音に関係なく、ある漢字の意味が転じて他の意味ができた①という用法と、その意味を表す漢字がないので同じ発音の漢字を借りる②という用法がある。また、①と③の六つの方法をもとにして日本で作られた漢字を③という。

音の漢字を借りる②

この方法をもとにして日本で作られた漢字を③

漢字 漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字、☆は新出音訓

25 □ 長	21 □ 勘	17 □ 鑄	13 □ 租	9 □ 串	5 □ 崩	1 □ 汁
兄	定	造	調庸	(訓読み)	落	(音読み)
26 □ 割	22 □ 隣	18 □ 囑	14 □ 基	10 □ 浦	6 □ 及	2 □ 汗
く	人	望	礎	(訓読み)	第	(音読み)
27 □ 胞	23 □ 傘	19 □ 兼	15 □ 失	11 □ 岬	7 □ 凹	3 □ 杵
子	(訓読み)	業	踪	(訓読み)	面鏡	(訓読み)
28 □ 大	24 □ 舶	20 □ 召	16 □ 篤	12 □ 円	8 □ 禁	4 □ 凸
砲	来品	集	学	弧	錮	レンズ

漢 字

知

①～⑫は——線の漢字の読みを書き、
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

- ① 夜道が怖い。
② 腫瘍を切除する。
③ 自宅で療養する。
④ 樹齢百年の木。
⑤ 災難に遭う。
⑥ 発汗をおさえる。
⑦ しゃれた窓枠。
⑧ 禁錮に処する。
⑨ 人材を登庸する。
⑩ 危篤の知らせ。
⑪ 紙面を割く。
⑫ 均等に分割する。
- ⑬ マヤクの中毒性。
⑭ 名曲にシンズイする。
⑮ サイマツの行事。
⑯ キンチヨウして話す。
⑰ エンギをかつぐ。
⑱ 長いキヨリを歩く。
⑲ 人気者にあこがれる。
⑳ 姉にはむすめがいる。
㉑ 発言にコウギする。
㉒ 液体センザイを使う。
㉓ 話が前にもどる。
㉔ 会をダツタイする。
- ㉕ 何度もうり返す。
㉖ 選択シが多い。
㉗ シゲキを受ける。
㉘ 的をねらう。
㉙ 予算がふくらむ。
㉚ 公共のフクシ。
㉛ 国境をこえる。
㉜ シンゲンに近い。
㉝ ヒガイを受ける。
㉞ カジユウをしぼる。
㉟ 岩がホウラクする。
㊱ オウトツのある道。
㊲ 魚にくしを打つ。
- ㊳ くら島太郎の物語。
㊴ みさきから眺める。
㊵ 円のコの長さを測る。
㊶ キンを養う。
㊷ シツノウした知人を捜す。
㊸ 書記をケンムする。
㊹ カンジヨウを済ます。
㊺ リンセツする土地。
㊻ かさを差す。
㊼ 大型のセンバク。
㊽ ギケイと話す。
㊾ サイボウがふえる。
㊿ テツボウをうつ。

語 句

知

- 1 漢字の成り立ち 92～93 次の文字を組み合わせた文字を、□から一つずつ選びなさい。
- (1) 立 + 日 + 心
(2) 竹 + 月 + 力
- 算 筋 意 思

- 2 話し言葉と書き言葉 82・281～283
□話し言葉で書かれているものを、一つ選びなさい。
ア 本の感想をノートに書く。
イ 好きなものを選んでいいよ。
ウ スポーツの歴史をまとめる。
- 3 77 次の——線部の語句の意味□を、一つ選びなさい。
スポーツ大会を招致する。
ア もてなす
イ 招き寄せる
ウ 誘い合う
- 4 87 ——線部の語句を使った文と□して適切なものを、一つ選びなさい。
ア 平和をうたった憲法。
イ 無事をうたった時間。
ウ 勝利をうたった状態。



SDGsって何?

SDGsとは、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の通称のことで、「エス・ディー・ジョーズ」と読みます。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための、二〇三〇年を達成年限とする17の国際目標のことです。

世界は、環境問題に試行錯誤しながらずっと取り組んできたんだね。



日本では

一九七二年の「国連人間環境会議」で、どうすれば「持続可能な開発」が可能かという議論が始まり、さまざまな会議を経て、二〇一五年にSDGsが成立しました。

成立までの経緯

二〇一六年に内閣にSDGs推進本部が設置され、各省庁や自治体、企業に取り組みの呼びかけが開始されました。SDGs達成に向けて優れた取り組みを行っている団体のために、二〇一七年に「ジャパンSDGsアワード」という賞が創設され、毎年多様な団体が受賞しています。



二〇一九年には、ハローキティが国連とともに「#HelloGlobalGoals」をスタートしたよ。

1 アメリカの国連本部でSDGsを紹介するハローキティ
©1976,2020 SANRIO CO.,LTD. 著作: (株)サンリオ



街のバリアフリーな取り組み



困っている人を
助けます

手話で対応
できます



全ての障がい
を持つ方が
利用できます



聞こえが
不自由です



妊娠して
います



高齢者が運転
しています



配慮ある対応
ができます



*オストメイト
対応トイレです

※人工肛門・人口膀胱
をもつ人のこと

筆談で対応
できます



目が
不自由です



内臓に障がい
があります



配慮ある対応ができることを示すマークがあるよ。



配慮を必要としていることを示すマークと、



2 東京レインボープライド (2018 年の様子)

性的少数者が差別されず、平等に生活できる社会の実現を目指し、パレードやイベントで啓発活動が行われている。

当事者ではない人が
できる行動

1 多様な性について知る

性的少数者の存在を理解する。

2

習慣・常識に疑いをもつ

恋人が異性とは限らない。世の中の「あたりまえ」を疑ってみる。

3

理解者を増やす

当事者が、「自分の居場所がある」と実感できる機会を増やしていく。

LGBTとは？

L レズビアン
Lesbian
(女性同性愛者)

G ゲイ
Gay
(男性同性愛者)

B バイセクシュアル
Bisexual
(両性愛者)

T トランスジェンダー
Transgender
(性別越境者)



最近では Q (クエスチョニング：特定の性に属さない。わからない) などが追加され LGBTQ とされる場合もあります。また、男女どちらにも恋愛感情を持たない人など、さまざまな人々がいます。

LGBT/LGBTQ は性的少数者の総称として用いられます。

誰もが尊重され、自分らしく生きることができると社会をつくるのが、大切です。



「SOGIE」という考え

SOGIE (ソジ) とは、性的指向 (自分が好きになる性)・性自認 (自分の心の性) のことをさす言葉です。LGBT は、性的少数者をさす言葉として用いられるのに対して、SOGIE は、「どんな性の人を好きになるのか (ならないのか)」「自分をどういう性だと認識しているのか」という言葉なので、全ての人が当事者となる言葉となります。

性のあり方は LGBT とそれ以外の人で、はっきりと分かれているわけではありません。性のあり方の問題は、全ての人に関わる人権問題だということを考え、SOGIE という言葉の背景にあります。

性のあり方は、私たちにみんなに関係することなんだね。



不平等のない社会について考えを深めよう。

ビジョンパーク——「障がい」とは、「バリア」とは何かを考える場所

神戸アイセンタール内にあるビジョンパーク。眼科医療とその研究、それらと福祉をつなぐ役割を担っている、日本でも珍しい施設である。視覚障がいに対する意識を変え、誰もが暮らしやすい社会を目指すための情報発信の場として活用されている。

施設内にはあえて段差を取り入れられており、ソファや本棚は壁と斜めに置かれている。こうした「バリアフル」なつくりが、視覚に障がいを抱える人々の、自分の身体や感覚で場を楽しむきっかけを生み出している。また、段差や予測できない壁があることで、「お手伝いしましょうか?」という声掛けが自然に行われているという。人と人が助け合う環境があるとき、そこに、暮らしに対する不便さを持った人へ障がいを持った人はいなくなる。

視覚が不自由な人も多く訪れる場所でありながら、バリアフリーでないこの場所は、すべての人々に「障がい」とは何が「バリア」とは何かを問いかける場所となっている。



3 ビジョンパーク (兵庫県神戸市)
段差が多くある施設内の様子、白杖を借りることもできる。

日本では、まだまだ男女間での格差も根深い問題だね。



都立高入試の男女別定員、二四年春から全廃決定 これからは成績順に合格
(二〇二三年九月十一日 東京新聞)

全国で唯一、高校の全日制普通科で男女別定員を設けている東京都教育委員会は十一日、二〇二四年春の一般・推薦入試から男女別定員の廃止を決めた。性別で合格が左右されるのは「不公平だ」と見直しを求める声が上がっていた。次の入試からは性別に関係なく、成績順で合格者が決まる。

解く前に、**すらすら読解ガイド②** (P.16) でポイントを復習!

まず「」

話題と論の展開を捉えよう

きっかけ

一九八六年

アルヴァリアアルトの
展覧会の会場を作る。

をふんだんに使う建築家

の代わりに、安くて

解説
具体的な事例には、
筆者の主張に説得力をもたせる効果があるよ。リサイクル可能な
が使える!

筆者の主張

②
で③

を造る。」

事例

活用方法は?

具体例は?

「紙」の利点を捉えて、「紙」でできた「紙管」による建築物の事例を読み取り、筆者が解決した問題を探っていく。

読解
1 順番に
読み取ろう

それぞれの段落の役割を捉えよう

【A】「序論（筆者の主張）」を読み取ろう

1 展覧会の会場を作るときに「紙管を見て、木の代わりに使える」

(108)と考へ、紙管を使ったのはなぜか。十二字で抜き出しなさい。

だから。



2 日本ブラジル大使館 サッカー・パビリオン



1 紙のシェルター (フィリピン)



目標

2

紙管の「利点」(109)についてまとめた次の文の①～⑥に入る言葉を抜き出しなさい。

①

や②

の加工をすることができ。

②

紙を重ねて③

を出し、長さや太さを自由に作れる。

③

木材より軽くて安価で、④

が簡単である。

④

リサイクルしやすく、環境への⑤

が抑えられる。

⑤

工場が日本中、世界中にあり、⑥

で手に入る。

【B】「本論（事例）」を読み取ろう

1

一九九四年のルワンダ難民キャンプでの「甚大な環境破壊」

(110)について、

□(1)

「甚大な環境破壊」が起きたのはなぜか。一つ選びなさい。

ア 難民が周囲の森林から火を起こす薪

用に木を伐採したから。

イ 難民が周囲の森林からテントの支柱

用に木を伐採したから。

ウ UNHCRがキャンプ用に周囲の木

を伐採して提供したから。

エ 難民がたくさん増えたことで、生ゴ

ミなどが散乱したから。



3 ルワンダの難民の様子(1994年)

書くヒント

— 線の内容を使って答えを作ろう！ —

↓支柱に紙管を使うシエルターを提案した。

↓この提案は採用され、「紙の難民用シエルター」の開発が始まった。
文末は「〜が始まった。」などの形で書く。

28

□ 2 一九九五年の阪神・淡路大震災のあと、筆者が「紙の教会」を建てる（111⑩）までの経緯を一つ選びなさい。

ア 全壊した教会の跡地に集まる被災者の役に立ちたいと考え、神戸の人々に祈る場を提供するために、「紙の教会」を建てた。

イ 建築物の倒壊で人命が失われたことに責任を感じ、教会の再建が神父や被災者の心をいやすと考え、「紙の教会」を建てた。

ウ 教会再建より街の復興を優先したい神父の考えを尊重し、仮設住宅を紙管で造ることで信頼を得て、「紙の教会」を建てた。

エ 被災した街や建築物が復興してから教会を再建したい神父の考えに賛同し、周囲の復興を待って、「紙の教会」を建てた。

目標

目的
避難所①
を確保できる

② 特徴 とくちよう

③ に安く組め、

を変えられる。

提供
自治体と防災協定を結び、
提供できた。

【C】「結論（筆者の主張）」を捉えよう【】

谷さんは、災害時に建築家がすべきことは何かということについての筆者の考えを発表することになった。谷さんの発言を書きなさい。

書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう！

筆者の考える災害時に建築家がすべきことについて P.113 ⑪ 行〜 ⑮

行から探す。

↓建築家は**街の復興**のためのプロジェクトで必要とされる

↓避難所や仮設住宅という生活環境の悪いところを改善すること

答え方
文末は「～です。」「～ます。」などの発表の時の口調にする。



□ 思

読解

2

全体を
捉えよう

①～⑥に入る言葉を抜き出そう

□ 思

読解

3

筆者の考えを踏まえながら、社会の中
で働くことについて考えよう

序論 筆者の主張	本論 被災地での事例	結論 筆者の主張
<p>・物を捨てるのが①</p> <p>木より②</p> <p>の多い紙管で造る。</p> <p>事例1 一九九四年のルワンダ難民キャンプ</p> <p>「紙の難民用③」の開発。</p> <p>事例2 一九九五年の阪神・淡路大震災↓「紙の教会」</p> <p>事例3 二〇一一年の東日本大震災</p> <p>事例4 二〇一六年の熊本地震</p> <p>避難所に紙管の④</p> <p>を提供。</p>	<p>地震での建物による被害⑤人⑥的災害</p> <p>住環境の⑤</p> <p>建築家の⑥</p> <p>社会貢献</p>	<p>この文章の内容と合うものに○を、 合わないものに×を書こう。</p> <p>(1) () () () () ()</p> <p>(2) () () () () ()</p>

全体を
読めたかな？この文章の内容と合うものに○を、
合わないものに×を書こう。

(1) () () () () ()

(2) () () () () ()

- (1) 紙の建築物は、世界ではまだ認められていない。
- (2) 紙の建築物は、安価でリサイクルが簡単である。



筆者は自分の能力や技術を最大限生かしているね。

② ①の筆者の考えから、あなたは、社会の中で働くとはどうすることだと考えるか。四十文字以内で書きなさい。

ことが使命だと考えている。

自分にとっての②

であり、そのように③

と喜んでもらえることが

- ① 筆者は、建築家としての使命についてどのように考えているか。
- 次の文の①③に入る言葉を抜き出さない。
- 自分が設計したり作ったりしたものを使う人から



デジタル

建築家・坂茂の作品

坂茂は「紙の建築」以外にも、さまざまなアイデアを用いた建築作品をいくつも手がけている。

静岡県富士山世界遺産センター（富士宮市）

富士山の自然や歴史、文化について学べる施設。手前の水面に建物が映ること、富士山の形が浮かび上がる。



photo by Hiroyuki Hirai

豊田市博物館（愛知県豊田市）

豊田市産の杉が使われ、建設時に出るCO₂（二酸化炭素）の排出量にも配慮がなされた。また、災害時には、災害対策本部が設置できるようにになっている。



photo by Hiroyuki Hirai

被災地のための活動



二階建ての仮設住宅（石川県珠洲市）

2024年1月に起きた能登半島地震の後には、長期的に使用できる仮設住宅の設計を行った。被災者が希望すれば、長期間住み続けることができる。石川県内産の杉を使用している。



代々木深町小公園トイレ（東京）

中に人がいないときは透明だが、人が入り、鍵を閉めると不透明になり、プライバシーは守られる。奇妙なシステムに見えるが、中に誰もいないことを確認して入れる、という安全性を考慮している。



1 活用 あとにつく言葉や、文中ではたらしきによって、語の形が規則的に変化すること。

例動詞「走る」の活用

走	ら	ない
(走	ろ	う)
走	り	ます
走	る	。
走	る	とき
走	れ	ば
走	れ	。

あとの言葉に自然につながるように、活用語尾が変化するのがいい。



活用語尾：活用で変化する部分

↑ 語幹：活用しても変化するしない部分

2 活用形

活用によって変化した一つ一つの形。

動詞のあとに続く主な語	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
形容詞形容動詞のあとに続く主な語	う	よう	ない	い	い	い
	まだそう	なっていない				
	ない	なる	た	た(だ)	ます	
		用言につながる				
		言いつける				
		かかる	ところがない			
		もの	とき	こと		
		体言(名詞)につながる				
		ば				
		「もし……すれば」				
						命令する

3 動詞の活用

*動詞Ⅱ動作・作用・存在などを表す。終止形はウ段で言い切る。

- ①活用形：未然形・連用形・終止形・連体形・仮定形・命令形 **六つ**
- ②活用の種類：五段活用・上一段活用・下一段活用・カ行変格活用・サ行変格活用 **五種類**

次のページに続きます。

確認しよう

1 活用形

線部の活用形を漢字で書きなさい。

- (1) 昼食にうどんを食べる。
- (2) 友人に電話をかけた。
- (3) 話せばわかる。
- (4) 積極的に動け。
- (5) 明日は早く起きること。
- (6) 夏には海で泳ごう。

💡 あとにつく言葉に注目しよう。



2 動詞の活用

次の動詞の活用表を完成させ、活用の種類を書きなさい。

(5) □	(4) □	(3) □	(2) □	(1) □	動詞
食べる	運動する	来る	知る	降りる	語幹
た	どう	○	し	お	未然形
					連用形
					終止形
		くる		りる	連体形
					仮定形
(べよ)	(せよ)			(りよ)	命令形
					活用の種類

活用 種類	活用 の 語 例	活用形(六つ)						特徴など
未然形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	
五 用 段	読む	よ	ま(ない) み(ます)	む(む)	む(む)	め(は)	め(め)	「ア・イ・ウ・エ・オ」の五段
上 一 段	生きる	い	き	き	き	き	き	「イ」の音十「る・れ・ろ」
下 一 段	決める	き	め	め	め	め	め	「エ」の音十「る・れ・ろ」
力 行	来る	こ	き	くる	くる	くれ	こい	「来」だけ
変格活用		語幹がない						
サ 行	する	○	し(しない) せ(せる) ず	し	する	すれ	しろ	「する」と「○」
変格活用								

③音便…五段活用の連用形に「て」や「た」がつくとき、発音しやすいように音が変化すること。

例 聞く＋て…聞きて↓聞いて (イ音便)
 走る＋て…走りて↓走って (促音便)
 飛ぶ＋て…飛びて↓飛んで (撥音便)

④可能動詞…「～することが出来る」の意味をもつ。五段活用の動詞からつくられ、下一段活用になる。命令形はない。例 話す↓話せる(話すことができる)

⑤自動詞・他動詞

例 (人が) 集まる…動作や作用が他に及ばない＝自動詞

「何を」(動作・作用の対象)が必要
 (人を) 集める…動作や作用が他に及ぶ＝他動詞

⑥補助動詞…実質的な意味が薄れ、他の語につき、補助的なはたらきをする。例 犬が走っている。

3 動詞の活用形と活用の種類 — 線部の動詞の活用形を漢字で書き、活用の種類を答えなさい。

- (1) ここまで来れば安心だ。 活用形 () 活用の種類 ()
 (2) 出発する兄を見送る。 () ()
 (3) 勉強する時間を決める。 () ()
 (4) 図書館で本を借りた。 () ()
 (5) 自分の信念を曲げない。 () ()
 (6) 走れ。まだ間に合うぞ。 () ()

4 音便 () に、下の動詞を活用させて書きなさい。

- (1) 五時に家に () た。(帰る)
 (2) ドアに指を () だ。(はさむ)
 (3) 母に手紙を () た。(書く)

5 可能動詞 次の動詞からつくられる可能動詞を書きなさい。

- (1) 飛ぶ↓ () (2) 動く↓ ()
 (3) 取る↓ () (4) 言う↓ ()

6 自動詞・他動詞 次の動詞が自動詞なら「自」、他動詞なら「他」を書きなさい。

- (1) 開く () 開ける ()
 (2) 進む () 進める ()

＊形容詞Ⅱ性質や状態などを表す。終止形は「い」で終わる。

- | | | |
|-------------------------|-----|---------|
| 白 | 語例 | 活用形（五つ） |
| しろ | 語幹 | |
| かろう | 未然形 | |
| かつた
くたさる
う（さいいます） | 連用形 | |
| い（い）
言い切り | 終止形 | |
| い（い）
（もの） | 連体形 | |
| けれ
（ば） | 仮定形 | |
| ○ | 命令形 | 命令形はない |

- ③ 音便：連用形に「ご」ざいます」がつくとき、音が変化すること。

例 寒い：寒く＋ございます↓寒うございます (ウ音便)

- ④補助形容詞…実質的な意味が薄れ、他の語につき、補助的

なはたらきをする。(補助動詞とあわせて「補助用言」という。)

例 今日は寒くない。
本を貸してほしい。

＊形容動詞Ⅱ性質や状態などを表す。終止形は「だ」「です」で終わる。

- ①活用形：未然形・連用形・終止形・連体形・仮定形 五つ
②活用の種類：「だ」「です」それぞれ一種類ずつ 二種類ずつ

語例	静かだ	
語幹	静かです	しずか
活用形（五つ）	未然形	でしよ（う）
	連用形	でし（た）
	終止形	です。（）
	連体形	な（い） （もの）
	仮定形	なら（ば）
命令形	○	○
命令形はない		

- ③ 語幹だけで用いられる形容動詞

【例】まあ、大變。
（形容動詞「大變だ」）

次の形容詞の活用表を完成させなさい。

広い	形容詞
ひろ	語幹
	未然形
	連用形
い	終止形
	連体形
	仮定形
○	命令形

次の形容動詞の活用表を完成させなさい。

(2)□	(1)□	形容動詞
元気です	元気だ	語幹
げんき	げんき	未然形
		連用形
	だ	終止形
(です)		連体形
○		仮定形
○	○	命令形

—線部の単語の品詞名と活用形をそれ

それぞれ漢字で書きなさい。(補助用言の場合は、品詞名の下に★をつけなさい。)

- (1) 空はさわやかな秋晴れだ
- (2) それは父の本である。
- (3) 見ればきつと欲しくなる。
- (4) 嫌ならばしなくてもいい。
- (5) かゆいところに薬をぬる。
- (6) 転んでも泣かなかった。
- (7) 三時までにこの本を読め。
- (8) 今日の雨は強くなかろう。
- (9) 私の父は料理が得意です。

💡 品詞名は終止形にして考えよう。活用形は「く形」と答える。



練習しよう

いろいろなパターンの問題を解いてみよう

1 活用形

——線部の活用形をあとから一つずつ選びなさい。

全部覚えると言われても、人は忘れる。忘れることは悪いことだと思われがちだが、実は大切な能力だ。痛かったことをずっと覚えていければ恐怖心で前に進めないし、うれしかったことにいつまでもこだわっている、次の喜びに出会えないからだ。

2 動詞の活用形

——線部と同じ活用形のをあとから一つずつ選びなさい。

(1) コーヒーは苦くて飲めない。

ア 祖母に手紙を出そうと思う。

イ 図書館で借りてきた本を読む。

ウ 荷物を送るので受け取ってください。

エ 父はもう出発してしまいました。

(2) 苗を植える鉢を買ってくる。

ア 風呂にお湯をためる。

イ 風邪を引いてしまった。

ウ 決勝戦には出場しない。

エ 何も言うことがない。



💡 あとに続く言葉に注目して、活用形を判断しよう。

3 動詞の活用の種類

——線部と同じ活用種類のものをあとから一つずつ選びなさい。

(1) 試合に負けて悔しがる。

ア 強くなったけば破れる。 イ 早く起きる習慣をつける。

ウ 調べたことをまとめる。 エ もうすぐバスがくるだろう。

(2) 尊敬する作家の本を読む。

ア 母の質問に答える。 イ 練習するのは楽しい。

ウ 営業時間を延ばす。 エ デザートを食べた。

4 形容詞の活用

次の各文の中から形容詞をそのまゝの形で抜き出し、活用形を漢字で書き、終止形を答えなさい。

(1) ドーナツが思っていたより甘くて驚いてしまった。

(2) 雨だろうが寒かるうが、計画は必ず実行する。

5 形容動詞の活用

次の各文の中から形容動詞をそのまゝの形で抜き出し、活用形を漢字で書き、終止形を答えなさい。

(1) 記念日にはささやかなお祝いをしよう。

(2) 波がおだやかならば船酔いすることはないだろう。

(2)		(1)			
			形容動詞	活用形	終止形

漢 字

知

①～⑫は——線の漢字の読みを書き、
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

① 困難な任務。

② 救済活動

③ 合成皮革

④ 校庭に避難する。

⑤ 歌詞を覚える。

⑥ 嫉妬心を燃やす。

⑦ 如才ない応対。

⑧ 社長の令嬢。

⑨ 嫡男の誕生。

⑩ 完璧を期する。

⑪ 稽古に熱中する。

⑫ 浴槽につかる。

⑬ 名前をよぶ。

⑭ 夜道はキケンだ。

⑮ ことなる意見。

⑯ シシヨウをきたす。

⑰ 雑草を取りのぞく。

⑱ 資金のテイキヨウ。

⑲ 日がくれる。

⑳ 家庭ホウモン

㉑ ごみをすてる。

㉒ 映画のヒビヨウ。

㉓ セイイキを守る。

㉔ 重圧にたえる。

㉕ ハンシン地方へ行く。

㉖ 樹木をバツサイする。

㉗ ジンソクに対応する。

㉘ 誤りをシテキする。

㉙ シツギ応答の時間。

㉚ 週刊シを買う。

㉛ カブキを見る。

㉜ ゴウマンな態度。

㉝ フサイを完済する。

㉞ シュンソクのランナー。

㉟ 不老不死のセンニン。

㊱ ただし例外がある。

㊲ 敵地をテイサツする。

㊳ 薬をヘイヨウする。

㊴ 給与のゲンポウ処分。

㊵ 寺のソウリヨに会う。

㊶ リンリを学ぶ。

㊷ コンイン届を出す。

㊸ 美しいはなよめ。

㊹ 現場をカントクする。

㊺ チヨウボをつける。

㊻ 本をヘンキヤクする。

㊼ 選手センセイを行う。

㊽ あさせて貝を拾う。

㊾ ハバツで争う。

㊿ リヨウカイを得る。

語 句

知

1 次の——線部の語句の意味を、
一つずつ選びなさい。

① 112 中止を余儀なくされた。

ア 余裕がない様子

イ 責任がない様子

ウ やむをえない様子

② 114 居心地がいい部屋。

ア 一定期間の体の具合

イ ある所にいるときの気分

ウ 長い間住んでいた場所

③ 次の——線部の語句と似た意味
の語句を、一つずつ選びなさい。

① 110 戦争の悲惨な現実を知る。

ア 悲観 イ 悲喜

ウ 無惨

② 114 医師としての信念を貫いた。

ア 信心 イ 理念

ウ 念願

③ 113 ——線部の語句を使った文と
いて、適切なものを、一つ選びなさい。

ア 頑張ったかいがある。

イ 難しかったかいがある。

ウ 四人兄弟でかいがある。

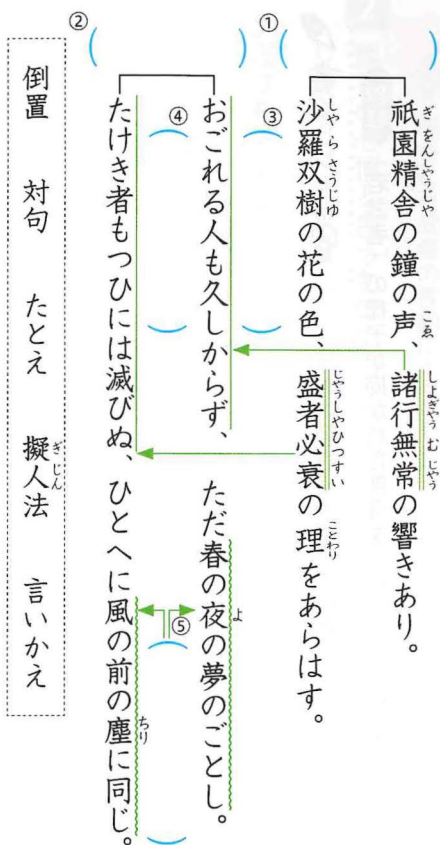
【思】
読解 1 順番に
読み取ろう

登場人物の心情を捉えよう

【A】『平家物語』の冒頭部分を読み、文章の特徴を捉えよう

- 1 『平家物語』の背景に流れている、「万物は常に移り変わって、とどまることはない」という仏教思想を表す言葉を**古文中から四字**で抜き出さない。

- 2 冒頭部分の文章構造を表した次の図の①～⑤に入る言葉をから選んで書きなさい。(同じ言葉を二度使ってもよい。)



- 3 「春の夜の夢」(124⑥)、「風の前の塵」(124⑦)は、何を表しているか。一つ選びなさい。

- ア 日本らしい美しさをもつもの。 イ 頼りなく不愉快なもの。
ウ はかなく消えてしまうもの。 エ 身近にありふれたもの。

【知】
しっかり解説 係り結び

係り結びのルール

例笛を、腰にさされたり。

笛を^て、腰にさされたる。(130⑨)

係りの助詞 ↓ 文末が変わる

「ぞ・なむ・こそ」……前の語を強調する。
「や・か」……疑問などを表す。

内容を強調したり、疑問などを表したりするときに使われるよ。



練習問題 2

動詞)を抜き出さない。

次の表現の中から、**係りの助詞と文末の語**(助

- (1) 128⑨「後の御孝養をこそつかまつり候はめ。」

係りの助詞 文末の語

- (2) 130⑦「さめざめとぞ泣きあたる。」

係りの助詞 文末の語

- (3) 131③「生年十七にぞなられける。」

係りの助詞 文末の語

- (4) 131④「それよりしてこそ熊谷が発心の思ひはすすみけれ。」

係りの助詞 文末の語

【B】「敦盛の最期」を読み、登場人物の心情を捉えよう

- 1 次の——線の動作の主語は誰か。「平家の武将」ならA、「熊谷」ならBの記号で答えなさい。

- (1) 126 ⑪ 「汀にうち上がらん」
 (2) 126 ⑫ 「おし並べて」
 (3) 126 ⑭ 「甲をおしあふのけて見ければ」
 (4) 127 ① 「薄化粧して、かねぐろなり」

2 「助けまゐらせん」(127 ③)とあるが、熊谷がこのように言ったのはなぜか。「若武者だったから。」に続く形で、三十字以内の現代語で書きなさい。

書くヒント ————線の内容を使って答えを作ろう！

内容 「若武者」の様子が描かれた部分を、P.126 ⑮～P.127 ②から探す。

↓年が十六、七ぐらいの若武者が、薄化粧して、齒を黒く染めている。
 ↓年がわが子の小次郎と同じくらいで、顔かたちがとても美しいのでどこに刀を突き刺したらよいかわからない。
 文末は「若武者だったから。」に続く形にする。

答え方

若武者だったから。

24

- 3 「なんぢがためにはよい敵ぞ」(127 ⑩)とあるが、誰にとって、どのような相手だというのか。一つ選びなさい。

- A 熊谷にとって討ち取れば大きな手柄になる相手。
 イ 源氏にとって討ち取れば戦に勝つことができる相手。
 ウ 敦盛にとって自分の命を奪うにうれしい相手。
 エ 平家にとって戦うのに不足のないちよūdよい相手。

- 4 死に直面しても3で示したような言葉を言える敦盛に対して、熊谷はどのように思ったか。熊谷の気持ち最もよく表れた言葉を古文中から九字で抜き出さない。(句読点も一字に数える。)

- 5 「あはれ助けたてまつらばや」(128 ⑤)とあるが、熊谷がこう考えた理由を次のように三つに分けてまとめた。()に入る言葉をから選んで書きなさい。

- 敦盛が、()をしない立派な武将だから。
 ● 討ち取っても討ち取らなくても戦の()には関係ないだろうから。
 ● 自分は、わが子の小次郎が軽い傷を負ったということだけでさえつらく思うのだから、敦盛が討たれたと聞いたたら、敦盛の父は深く()に違いないと思ったから。

名のり 嘆く 手柄 驚く 勝ち負け 命ごい

□ 思

読解

2 全体を読め
たかな？

この文章の内容について捉えよう

□ 1 「敦盛の最期」の文章の内容と合うものに○を、合わないものに×を書きなさい。

- (1) 熊谷は、波打ちぎわで平家の若武者を捕らえた。
(2) 若武者は、熊谷に名前を問われて、堂々と自分の名前を名づけた。
(3) 若武者は身分の高い人で、錦の袋に入れた笛を携帯していた。
(4) 若武者は大夫敦盛といつて、まだ十七だった。



熊谷と若武者の言動に注目しよう。

□ 2 熊谷の心情と合うものに○を、合わないものに×を書きなさい。

- (1) 首を切るのをためらうほど若武者をかわいそうに思った。
(2) 早く切れと後ろから要求してくる味方の軍勢をにくく思った。
(3) 戦わなければならない自分の身分を残念に思った。
(4) 戦の場に笛を持つてくる身分の人々をうらやましく思った。

□ 思

読解

3 深めよう

熊谷が出家への思いを深めた理由を考えよう

□ 1 熊谷次郎直実が「かかる憂きめ」(130⑥)に遭い、「発心の思ひ」

(131④)が強くなったことについて、

(1) 「かかる憂きめ」とは、どのようなことを指しているか。「心なぐも」の語を使って、二十五字以内の現代語で書きなさい。

(2) 「熊谷が発心の思ひはすみけれ」(131④)とあるが、それはなぜか。四十文字以内の現代語で書きなさい。



書くヒント

— 線の内容を使って答えを作ろう！

内容

熊谷の仏門に入りたいという気持ちが強くなった理由を捉える。

↓心なくも敦盛を討ってしまった。

↓武芸の家に生まれていなければ、敦盛を討つことはなかった。

↓熊谷がさめざめと泣いた気持ちを考える。

答え方

文末は「〜から。」などの形にする。

「なぜ」と聞かれているので「から」などの文末で理由を答えよう。



32

20



グラフィック資料

平家物語

祇園精舎の鐘の聲、
諸行無常の響きあり。
沙羅双樹の花の色、
盛者必衰の理をあらはす。

1 源平合戦図「敦盛最期」



3 平清盛公坐像
(六波羅蜜寺蔵・写真 浅沼光晴)

「平家物語」は、平清盛と平家一門の五十年にわたる栄枯盛衰を描いた軍記物語である。平家の興亡という「盛者必衰」のさまを通し、仏教思想に基づく「諸行無常」の真理が語られる。

栄枯盛衰の物語



デジタル

2 沙羅の木 釈迦が亡くなったときに傍らにあったと伝えられ、仏教では聖なる樹木とされている。



源頼朝

平治の乱で敗れ、伊豆へ流される。鎌倉幕府を開く。

源義経

頼朝の弟。平治の乱のあと、京都の鞍馬寺で育ち、のちに平泉の藤原秀衡のもとに身を寄せる。

木曾義仲

頼朝のいとこ。二歳とき、頼朝の兄に殺されかけ木曾（長野県）に逃げる。

源平の主な武士たち

平清盛

平治の乱に勝利したあと、太政大臣となる。

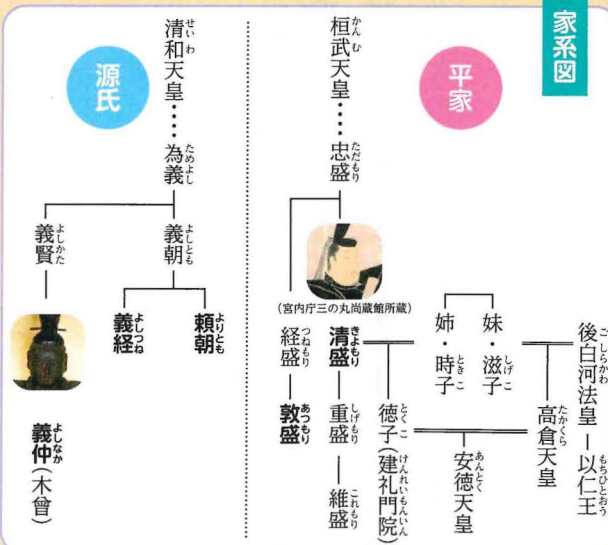
平敦盛

清盛の甥で、笛の能手。

平家と源氏

平安時代中期（十〜十一世紀頃）になると、貴族による政治が乱れ始め、地方に山賊や海賊がはびこるようになった。そこで、土地や財産を守るために武士団が組織された。平家の棟梁（武士団のリーダー）となった清盛は、平治の乱（一一五九年）で源氏の棟梁源義朝を破り、武士の身分で初めて太政大臣に就任する。

家系図



4 報復のため、貴族の車を襲って宮中への参内を妨害する平家の武士
「平家物語絵巻（部分）」（画像提供：林原美術館 / DNPartcom）





5 源平合戦図「那須与一」 平家物語の中でも名場面として名高く、絵画や芝居のテーマとして取り上げられている。
(1・5 滋賀県立琵琶湖文化館所蔵)



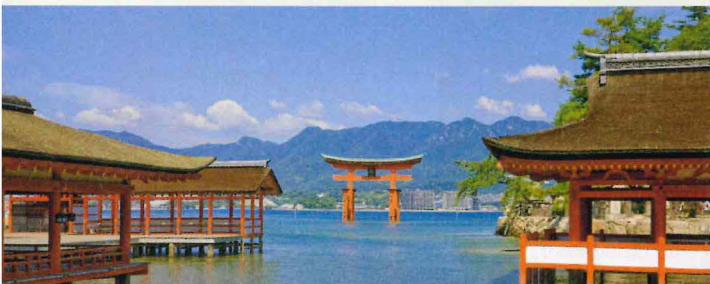
平家一門の栄華と横暴

清盛の太政大臣就任後、平家一門が権力を独占するようになる。清盛は、対立する後白河法皇を幽閉し、法皇に味方する勢力を宮中から一掃した。都には密偵をまぎれ込ませて人々を監視し、平家を批判する者を捕らえて恐怖政治を完成させた。

6 清盛主権の豪華な宴「六波羅御所清盛公遊宴之図（部分）」（国立国会図書館蔵）



7 厳島神社 平家納経業王品 瀬戸内海の水運を支配することで富を得た清盛は、一族の繁栄を願い、厳島神社を現在の姿に改修し、經典を奉納した。（厳島神社宝物館蔵／提供：便利堂）
※許可なく画像を複製することは禁止されています。



打倒平家の命令

一一八〇年、清盛は、娘の徳子が産んだわずか二歳の安徳天皇を即位させる。一方、平家一門の武士には横暴なふるまいをする者が多く、人々の不満は大きくなっていく。後白河法皇の皇子・以仁王は天皇になれなかったことを恨み、源氏に平家打倒の命令を下して自らも挙兵する。これを受け、一一八〇年に伊豆国（静岡県）で源頼朝が挙兵。清盛は遷都や南都焼き討ちで対抗するが、翌一一八一年に死亡。一一八五年に平家が敗れるまで戦いは繰り広げられた。

8 厳島神社（広島県） 清盛が高野山に参った時、不思議な僧に「厳島神社を修理すれば官位は望むがままになる」と告げられたことから、改修したとされる。



① 水鳥の羽音に驚き、戦わずして逃げる平家軍
「平家物語絵巻（部分）」

源平の戦い

① 石橋山の戦い (神奈川県小田原市)

1180年8月
伊豆で挙兵した源頼朝は石橋山で平家と戦い、敗北。安房（千葉県）に逃げる。

② 富士川の戦い (静岡県富士市)

1180年10月
平家と源氏は富士川を挟んで対陣。夜、水鳥の大群の羽音に驚いた平家軍は戦うことなく敗走した。

③ 倶利伽羅峠の戦い (石川県津幡町、富山県小矢部市)

1183年5月
木曾義仲が倶利伽羅峠で平家と対陣。夜間、山の斜面を背に陣をとった平家軍に対して、義仲は斜面の上から角に松明をつけた数百頭の牛を追いつ落として勝利した。

② 松明をつけた牛を平家の陣中に突入させた。「倶利伽羅源平合戦図」(倶利伽羅神社蔵)



③ 宇治川の先陣争い 義経方の二人の武士がどちらが先陣をきるかを争った。根本幽峨「平家物語 宇治川先陣・弓流図屏風（部分）」



深田に馬の脚を取られ
身動きできなくなった義仲

1184年1月

④ 宇治川の戦い (京都府宇治市)
後白河法皇は、都で粗暴にふるまう義仲を遠ざける。孤立した義仲が法皇を幽閉したため、頼朝は、弟の義経たちを義仲追討のため差し向ける。

④ 宇治川の戦いの後、義仲は琵琶湖近くで義経方に討たれた(栗津の戦い)。「平家物語画帖 木曾の最期」(根津美術館所蔵)



⑥弓流しの場面 「こんな弱々しい弓が義経の弓か」と敵に笑われたくないと、義経は海中に落ちた弓を拾いに行く。根本幽巖「平家物語」宇治川先陣・弓流図屏風（部分）（③・⑥渡辺美術館所蔵）



⑤逆落としの場面 この後、敗走する平家軍を追う熊谷次郎直実は、平敦盛の首を取る。「平家物語絵巻（部分）」（①・⑤画像提供：林原美術館 / DNPartcom）

1185年3月

平家軍は海上で孤立し、壇の浦で最後の戦いに臨む。源氏が勝利し、二位の尼（清盛の妻・時子）に伴われた安徳天皇や平家の大將・平知盛が入水し、平家は滅びる。

⑦壇の浦の戦い
(山口県下関市)

扇の的

弓流し

1185年2月

屋島に拠点を構えた平家を、阿波（徳島県）から陸路を来た義経軍が急襲する。平家は西の海に逃れる。

⑥屋島の戦い
(香川県高松市)

敦盛の最期

1184年2月

平家は都を取り戻そうと、一の谷に布陣する。義経軍は一の谷の背後・鶴越という崖の上から奇襲をかけ、平家軍は総崩れした（鶴越の逆落とし）。

⑤一の谷の戦い
(兵庫県神戸市)



進軍ルート
— 源頼朝の進路
— 源義経の進路
— 木曾義仲の進路

⑦壇の浦の戦い 3月24日、赤旗を掲げた平家軍と白旗を掲げた源氏軍が戦う。現在の紅白戦の由来とされる。「安徳天皇縁起絵図」（赤間神宮蔵）



⑧安徳天皇の入水 「どこへ行くの？」と問われ、「波の下にも治める都がありますよ」と答える二位の尼。建礼門院（徳子）も入水するが源氏方に救助され、都に送られる。「奈良絵本平家物語」（神奈川県立歴史博物館所蔵）





1 建礼門院を京都・大原に訪ねる後白河法皇
ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)

（忘れがたきは先帝の御面影、
忘れんとすれども忘れられず。
忘れられないのは安徳天皇の面影、
忘れようとしても忘れられない。）

建礼門院と後白河法皇

壇の浦の戦いを生きのびた建礼門院（徳子）は出家し、平家一門の供養をしている。そこを後白河法皇が訪れた。建礼門院は、「幸せな日々を送っておりましたが、都を逃れてからはつらい日々を過ごし、今は一門の極楽往生を願っています」と泣き崩れる。

年月が過ぎ、建礼門院が亡くなった場面で、「平家物語」は終わる。

他の名場面

清盛の死

頼朝が拳兵した後、清盛は重い病にかか。水ぶろにつけると直ちに水が沸騰するような高熱に苦しみながらも、「私の墓の前に頼朝の首をささげよ」と言い残してこの世を去る。

（頼朝が拳兵した後、清盛は重い病にかか。水ぶろにつけると直ちに水が沸騰するような高熱に苦しみながらも、「私の墓の前に頼朝の首をささげよ」と言い残してこの世を去る。）

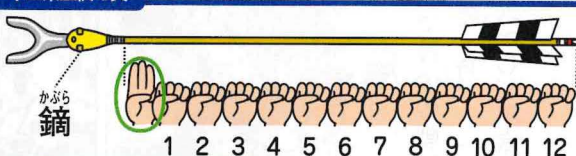


2 清盛の体に水をかけて冷やす場面「平家物語絵巻（部分）」（画像提供：林原美術館 / DNPartcom）

扇の的

屋島の戦いで、源氏は平家を海上に追いや。平家からさおの先に扇を立てた小舟が漕ぎ出され、的とした扇を射てみようという。源氏のなかから那須与一が進み出て、十二束三伏の太弓で約七十二メートル先の扇を射抜く。陸の源氏、沖の平家とも与一の武芸を賞賛する。

十二束三伏の矢



3 与一が用いた矢 一束は、一握り（指四本分）の幅。一伏は、指一本分の幅のこと。



陸には源氏



4 那須与一

小堀頼音「那須宗隆射扇図（部分）」（山種美術館蔵）



5 「源平合戦図屏風（屋島）（部分）」（埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵）



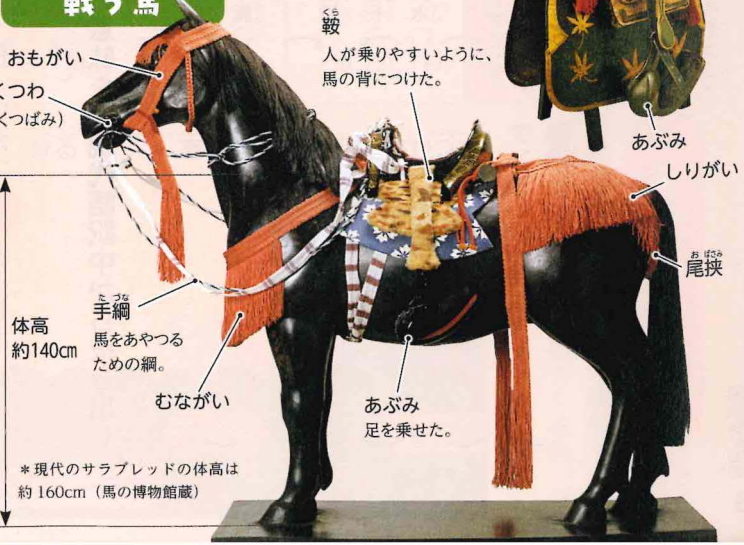
武士の防具と武器



馬は毛色がポイント



武士とともに戦う馬



目標

2

「夏は夜」(135上)の段落で、作者が述べていることをまとめた次の文章の①～④に入る言葉を、現代語訳中から抜き出さない。

① の眺めのよい頃はもちろん、闇夜で

②

③ いるのもよい

④ 飛ん

でいくのもよい。④ の夜もよい。

【A】「春はあけぼの」を読み味わおう

書かれている事柄をおさえて、作者が感じたことを読み取ろう

1 「春はあけぼの」(134⑤)の段落で、作者はどのような情景をどう感じているか。一つ選びなさい。

ア 山ぎわの空や雲の色が微妙に移り変わる情景を趣があると感じている。

イ 山ぎわの空にたなびく雲が力強くなつていく情景を好ましいと感じている。

ウ 山ぎわの空が雲によって様相を変えていく情景を趣があると感じている。

エ 山ぎわの空が明けていくのに雲が晴れない珍しい情景を好ましいと感じている。



①に「山ぎわ」または「山の端」を書こう。

古文の季節

季節の区分は、現代のイメージとは少し違っているよ！

冬	秋	夏	春	季節
十月 十一月 十二月	七月 八月 九月	四月 五月 六月	一月 二月 三月	月
神無月 霜月 師走	文月 葉月 長月	卯月 皐月 水無月	睦月 如月 弥生	異名
立冬 大雪 小寒	白露 寒露 霜降	立夏 芒種 小暑	立春 啓蟄 清明	二十四節気 (太陽暦月日頃)
11/8 12/8 1/5	8/8 9/8 10/8	5/6 6/6 7/7	2/4 3/6 4/5	
小雪 冬至 大寒	秋分 霜降 寒露	小満 夏至 大暑	雨水 春分 穀雨	
11/23 12/22 1/20	9/23 10/23 11/23	5/21 6/21 7/23	2/19 3/21 4/20	

◆二十四節気：太陽の位置をもとに一年を二十四等分したもの。日付は年によって少し変わる。

グラフィック資料

古文の季節や時間

古文の時間

「春はあけぼの」など、枕草子では時間を表す言葉が出てくるね。図でイメージしてみよう！



3 「三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐ」(135上)とは、鳥のどのような様子を表しているか。一つ選びなさい。

ア 均等に離れて飛ぶ様子。 イ 数羽ずつ自由に飛ぶ様子。
ウ 大きく固まって飛ぶ様子。 エ 順番に飛ばうとする様子。

4 「秋は夕暮れ」(135上)の段落で、作者の感動を表している言葉を古文中から五字と三字で抜き出さない。

①	②
しみじみとした感動	明るく朗らかな感動

5 「秋は夕暮れ」(135上)の段落の前半と後半とは、物事の捉え方にとどのような違いがあるか。どんなものを体のどの部分(感覚)で捉えているかに注意して、書き出しに続く形で書きなさい。

前半は夕日や鳥の様子を目で捉え、後半は

後半は「日入りはてて」から始まるよ。

6 「冬はつとめて」(135上)の段落で、作者はどのような冬の朝をあげているか。合わないものを一つ選びなさい。

ア 雪が降り積もっている朝。
イ 雨が降って地面がぬれている朝。
ウ 霜が降りて地面が白くなっている朝。
エ 霜は降りていないが大変寒い朝。

【B】「うつくしきもの」を読み味わおう

1 「うつくしきもの」(136①)について、

(1) 「うつくしきもの」の意味を現代語で書きなさい。

(2) この文章で作者は「うつくしきもの」をいくつあげているか。漢数字で書きなさい。

2 「雀の子の、ねず鳴きするに踊り来る」(136①)とあるが、①「ねず鳴きする」と②「踊り来る」は、それぞれ誰(何)の動作か。

から一つずつ選んで書きなさい。

① ②

雀の子 ねずみ 人



1 瓜に描きたるちごの顔

2 雀

3 いとをかかげる指

4 尼そぎ

「雀の子の」の「の」は、「が」に言い換えることができるよ。

3 「二つ三つばかりなるちご」(136②)のどんな様子を、作者は「うつくし」と思っているか。()に入る言葉を現代語で書きなさい。

● 急いで這ってくる途中に、とても

を見つけ、② ③

などに見せる様子。

□ 4 「頭は尼そぎなるちこの……物など見たる」(136④)を絵で表した
ものとして適切なほうを選びなさい。

ア



イ



□ 5 この文章で作者があげているものに共通する要素はどのような
ものか。一つ選びなさい。

- ア 子どもらしい・無邪気・愛らしい
イ 精巧・注意深い・賢い
ウ はかない・弱々しい・おとなしい
エ 丸い・素早い・おもしろい

□ 読解 2 全体を読み この文章の内容と合うものに○を、
合わないものに×を書こう

- (1) () (2) () (3) () (4) ()
- (1) ありふれた物事にも心動かす繊細な感覚をもって、身近な物事に注目している。
- (2) 現代人にはない美的感覚をもって、当時の貴族の生活についての考察を述べている。
- (3) 筆者が生活をする中で感じたことを、簡潔な文体で書きつつづいている。
- (4) 擬音語や擬態語を随所で用いて、当時の様子について生き生きと語っている。

□ 読解 3 深めよう

「春はあけぼの」の「冬はつとめて」の
段落での作者の感性を捉えよう

□ 1 「いとつきづきし」(135⑩)と思う様子とは反対に、作者がよくない
と思っている様子が書かれている部分を、**古文中から十五字で**
抜き出しなさい。(句読点も一字に数える。)

6 炭と火



5 火桶(135上⑫)



□ 2 作者が1の様子をよくないと思うのはなぜか。「炭火」の語を
使って、**三十文字以内**で書きなさい。

書くヒント

——線の内容を使って答えを作ろう！

内容

よくないと思う様子と反対の「いとつきづきし」と思う様子を、
現代語訳から探す。

↓ 昼になって、寒さがだんだんゆるんで暖かくなっていくと、

火桶の火も、白い灰が多くなってくる様子。 〓わろし

↓ 大変寒い朝に、**火などを急いでおこして真つ赤に燃えた炭を**

持ち運ぶ様子。

答え方

〓いとつきづきし

「炭火」の語を使う。

文末は「くから。」などの形にする。

作者は炭火に注目
しているね。



春はあけぼの

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、
紫たちたる雲の細くなびきたる。

夏は夜。月の頃はさらなり、闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる。
また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くをかし。雨な
ど降るもをかし。

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入りはてて、風の音、虫の音など、はたいふべきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭持て渡るも、いとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶ひおけの火も、白き灰がちになりてわろし。

(第一段)

- (1) 線AとDの「の」のうち、他と意味・はたらきが違うものを一つ選べなさい。

「月の頃はさらなり」の意味として最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 月が沈む時間帯はいうまでもない。

イ 月が見える時期はさらにすばらしい。

月の眺めのよい頃はいうまでもない。

工 月がはつきりと見える夜はさくらにすばらしい。

□ (3) 「うち光りて行く」ものを古文中から一字で抜き出しなさい。

「いとつきづきし」とは、「たいそう似つかわしい」という意味

であるが、何に、何の様子が似つかわしいというのか。次の文の
 ①・②に入る言葉を現代語で書きなさい。

●冬の①に、火などを急いでおこして②様子が似つかわしい
④「ぬるくゆるびもていけば」とあるが、何がゆるんでくるのか。
一語で答えなさい。

□□ (6) 文章中で取り上げられているもののうち、聴覚ちよくかくで捉えているものは何か。それぞれ三字で二つ抜き出しなさい。

71 p.62 A 5

(5)	(4)	(1)
	①	
(6)		(2)
.		

	②	

		(3)
.		

別の文章でたしかめよう

つながる読解

雪のいと高うはあらで、薄らかに降りたるなどは、

あまり深くはなくて

うっすらと降っている

いとこそを
たいへん趣が

かしけれ。

ある

また、雪のいと高う降り積りたる夕暮より、端近う、同じ心なる人

夕暮れ時から（部屋の）端近くで 気の合った

二、三人ばかり、火桶を中にすゑて、物語などするほどに、暗う

人が二、三人ほど

置いて 話などをするうちに

なりぬれど、こなたには火もともさぬに、おほかたの雪の光、い

こちらには火もともさないの

辺り一帯

と

と白う見えたるに、火箸して灰などかきすさみて、あはれなるも

火箸で

火箸で

わけもなくかきながら しんみりしたこと

をかしきも、言ひ合はせたるこそをかしけれ。

話し合っている

(清少納言「枕草子」一七四段より)



1 雪がうっすらと積もった様子

作者のものの見方や考え方を捉える問題

□ 1

雪が「薄らかに降りたる」様子と反対の様子を表す表現を、古文中から十字で抜き出しなさい。

10

□ 2

作者は、「おほかたの雪の光」がとても白く見えている中で、気の合う人どうしが何をしている様子に興味があると感じているか。一つ選びなさい。

ア 夕暮れ時に部屋の端に集まり、雪がどれだけ深く積もっているかを話している様子。

イ 暗くなってきたところに、火桶を置いて火をともしようと話し合っている様子。

ウ 火もともすことなく、しんみりしたことやおもしろいことを話し合っている様子。

エ しんみりした顔つきで、火箸を使いながら火桶の灰を片づけている様子。



ちよつと解説

古文において、作者のものの見方や考え方を捉える場合は、作者の心情を表す言葉に着目して、その前後をよく読もう。

例 火桶の火も、白き灰がちになりてわろし。

↓ 火桶の火が灰ばかりになる様子を「よくない」と感じている。

枕草子

グラフィック資料

まくらのそうし



デジタル

1 清少納言は、定子から「春炉峰の雪はいかがでしょう」と問われ、漢詩をふまえて御簾を巻き上げた。「雪月花（雪の部分）」上村松園（宮内庁三の丸尚蔵館蔵）

「をかし」
「あはれ」

清少納言の「枕草子」は、定子を取り巻く華やかな宮中の生活や、自分の感情を明るくいきいきとつづつた、「をかし」の文学とされています。

これに対し、同じ時代の紫式部による「源氏物語」は、宿命に翻弄される人々が描かれており、しみじみとした趣を重視する「あはれ」の文学とされています。

清少納言

「枕草子」の作者、清少納言の本名はわかっていません。清少納言は、宮中に「房（部屋）」を与えられる女房として、天皇の妃、定子に仕えました。

妃たちは上流貴族の娘で、天皇の愛情を受けて皇子を産み、実家の権力を高めることが求められていました。貴族たちは教養の高い女房を娘につけ、天皇の愛が娘に注がれるようにしたのです。



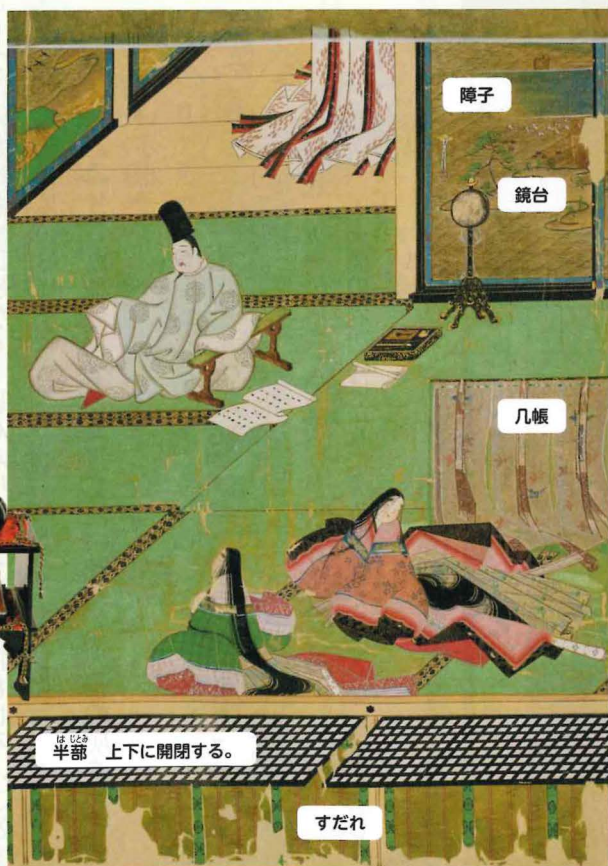
宮仕えの暮らし

女房たちの住居は、几帳や屏風で空間を仕切ったものでした。また、身分の高い人の前に出るときは、十二単でした。

4 十一単 衣を何枚も重ねて着る。色の組み合わせには季節ごとの決まりがあった。



3 室内の調度
香をたく火取や
櫛を入れる箱など。



2 春日権現験記絵巻

※ ColBase (https://colbase.nich.go.jp)



6 清涼殿

荒海障子



5 一条天皇と定子 天皇が琵琶を持って定子の部屋を訪れた場面。
松岡映丘模写「首描枕草子絵巻」
(公益財団法人 阪急文化財団 逸翁美術館蔵)

清涼殿の丑寅の隅の (第二十段)

清涼殿の丑寅の隅の、北のへだてなる御障子は、荒海の絵、生きたる物どもの恐ろしげなる、手長足長をぞかきたる。

天皇は、内裏（天皇の御所）の紫宸殿で儀式を行い、清涼殿で日常生活を営んでいました。天皇の妃や女房たちは後宮で暮らしていました。

遊びわざは (第二百一段)

遊びわざは 小弓。碁。さまあしけれど鞠もをかし。

五月ばかりなどに (第二百六段)

五月ばかりなどに山里にありく、いとをかし。草葉も水もいとあを見えわたりたる：（中略）蓬の、車に押しひしがれたりけるが、輪の廻りたるに、近ううちかかへたるもをかし。

10 対になる貝を探して遊び貝合わせ。



11 鞠は革製でサッカーボールより一回り小さい。

（旧暦の）五月ごろに牛車で山里に出かけるのは、とても趣深い。草の葉も水も一面青々と見えている：（中略）ヨモギの葉の車に押しつぶされたものが、車輪が回るときに顔の近くで香るのもよい。



13 ヨモギ



7 手長足長が描かれた「荒海障子」
(6・7 宮内庁京都事務所)



8 内裏（京都市歴史資料館）



9 囲碁をする女性たち
『源氏物語図扇面（空蟬）』※



12 蹴鞠 鞠を蹴り返すために動き回るので、服装が乱れてしまうのを「さまあし（みっともない）」と述べている。
「乞巧奠 蹴鞠図屏風」（林原美術館蔵）



14 牛車 乗る人の身分によって種類が異なっていた。「故実叢書 輿車図考」（弘前市弘前図書館蔵）

女房は、寺社へのお参りや妃のお供などで外出する機会もありました。



江戸時代に描かれた石清水八幡宮（五雲亭貞秀「淀川八幡山勝景」国立国会図書館蔵）

教科書

p.137~140

5

随筆の味わい

つれづれぐさ
徒然草

古典を楽しむ

目標

古語の意味に注意して、作者のものの見方を正確に読み取ろう



デジタル

「徒然草」ってどんなもの？

Ｑ＆Ａで確かめよう！

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字、☆は新出音訓

ページ
1 □ 137

鎌

倉

2 □ 138

巖

か

知

まず

徒然草について捉えよう

● 成立…

時代末期

● 作者…

● 内容…

「枕草子」と並び日本の代表的な随筆文学。
自然・人生・社会などに

③

を示し、この時代なら

④

を描いている。

ではの文化や、いつの時代でも変わらない



1 徒然草に出てくる仁和寺 (138①)

知

練習問題 1

きなさい。

線を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書

① 語中や語尾の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は、「わ・い・う・え・お」に直す。

□ (1)

137 上 硯に向かひて

□ (2)

138 上 「かたへの人」

□ (3)

138 上 「尊くこそおはしけれ」

② 「au」の音は「ō」、「iu」の音は「yū」、「eu」の音は「yō」に直す。

□ (4)

140 上 「這ふ這ふ家に入りにけり」

□ (5)

138 上 「かちより詣てけり」

□ (6)

139 上 「行願寺のほとりに」

③ 「くわ」は「か」、「ぐわ」は「が」に直す。

知

練習問題 2

次の係り結びを用いた表現の中から、係りの助詞を抜き出さない。

④ 文中に「ぞ・なむ・や・か」がある場合は文末が連体形、「こそ」がある場合は文末が已然形になる。

□ (1)

137 上 「あやしうこそものぐるほしけれ。」

□ (2)

138 上 「……山までは見ず。」とぞ言ひける。」

読解
1
順番に
読み取ろう

書かれている事柄をおさえて、作者のものの考え方を読み取ろう

【A】「仁和寺にある法師」を読み味わおう【】

□ 1 「心憂く覚えて」(138上^②)とあるが、「残念に」思ったのはどのようなか。現代語で書きなさい。

□2 「かばかりと心得て」(138^{上4})とあるが、何を指して「かばかり」といっているのか。古文中から八字で抜き出しなさい。

□ 3 「年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ」(138上)とあるが、どのような思いを果たしたというのか。二十字以内の現代語で書きなさい。

[illegible]

□ 4 参拝した感想を、法師はどのように語っているか。古文中から一文で抜き出しなさい。

□ 5 「参りたる人ごとに山へ登りしは」(138上)とあるが、人々が山へ登ったのはなぜか。二十字以内の現代語で書きなさい。

16

💡 山の上には何があるのかを考えよう。

□ 6 「ゆかしかりしかど」(138上8)とあるが、法師が知っていたのはどのようなことか。次の文の□に入る言葉を**五字以内**で書きなさい。

●参拝の人たちがみな
 のはなぜかということ。

□7 「山までは見ず」(138上)とあるが、法師が山の上を見なかったのはなぜか。一つ選きなさい。

3

ア 年をとリすぎて体力的に山を登つていく自信がなかつたから。
イ 石清水八幡宮の悪い評判を聞いて見たくなくなつたから。
ウ 石清水八幡宮以外の神を参拝するのは氣が引けたから。
エ 石清水八幡宮に参拝するという目的を果たしたと思つたから。

💡 法師が勘違いしていることを捉えよう。

8 作者が感想を述べている部分を古文中から一文で抜き出さないさい。

目標

思

読解

全体を読めたかな？

この文章の内容と合うものに○を、
合わないものに×を書こう

(1)

(2)

(3)

(4)

1000

(1) 「仁和寺にある法師」と「奥山に猫またといふものありて」のいずれも、作者自身が体験した事実を記録したものである。

(2) 「仁和寺にある法師」で、作者は最後に自分の感想を述べている。

(3) 作者は、話の登場人物に共感しながらも、その時代における新たな価値観を提示している。

(4) 作者の視点から、いつの時代でも変わらない、人々の姿が描かれている。

思

讀解

3 深めよう

「仁和寺にある法師」と「奥山に猫またといふものありて」の話について考えよう

1 「仁和寺にある法師」の話のおもしろさはどのようなところにあるか。次の（ ）に入る言葉を――から選んで書きなさい。

●山の麓にあった極楽寺と高良神社を石清水と

た法師が、本当はを果たせていなかったのに

仲間に
に話したところ。

に話したところ。

使命 勘違い 自慢げ 悔しそう 念願

勘違ひ

自慢げ

悔しそう

念願



「奥山に猫またといふものありて」の話のおもしろさはどんなところにあるか。「**くところ**」に**続く**形で、**四十五字以内**で書きなさい。ただし、「**うわさ**」「**逃げ回る**」の二語を使うこと。

とろろ。

36



書くヒント

内容

法師をおそったものの正体は何だったのかを考えよう。

9

3 「仁和寺の法師」と「連歌れんがをする法師」のどちらかを選んで、法師の失敗からあなたが考えたことを、「のために失敗したことから、……と思った。」の形で書きなさい。

[illegible]

.....

テストの練習問題

随筆の味わい——徒然草——

仁和寺にある法師

仁和寺にある法師、年寄るまで石清水を拝まざりければ、心憂く
 覚えて、ある時思ひ立ちて、ただ一人かちより詣てけり。極楽寺・
 高良などを拝みて、かばかりと心得て帰りにけり。

さて、かたへの人にあひて、「年々思ひつること、果たしはべり
 ぬ。聞きしにも過ぎて、尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ご
 とに山へ登りしは、なにごとかありけん、ゆかしかりしかど、神へ
 参るこそ本意なれと思ひて、山までは見ず。」とぞ言ひける。
 少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。

【第五二段】



- (1) 「詣てけり」、「かたへの人」を現代仮名遣いに直して、**全て平仮名**で書きなさい。

- (2) 「心憂く覚えて」とあるが、どんなことを「心憂く覚えて」いたのか。**現代語**で答えなさい。

- (3) 「かばかりと心得て」とあるが、どうしたということか。次の文の□ I・II に入る言葉を古文中から抜き出しなさい。

- I などを拝み、 II はこれだけと思ひこんだということ。
 (4) 「尊くこそおはしけれ」に見られる、「こそ」という助詞と「おはしけれ」という文末の結びつきを何というか。**四字**で書きなさい。

- (5) 「ゆかしかりしかど」の意味として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 知りたかったけれど。 イ 奥ゆかしく思ったけれど。
 ウ 行きたく思ったので。 エ 不思議に思ったけれど。

- (6) この文章で作者が最もいいと思ったことが表れている一文を古文中から抜き出しなさい。

(6)	(4)	(3)	(2)	(1)
		I		a
	(5)			
		II		b

7 p. 69 A 8

7 p. 69 A 6

7 p. 69 A 1

【思】 (2)(6)は20点・他は各10点

別の文章でたしかめよう

つながる読解

能をつかんとする人、**「よくせざらんほどは、なまじひに人に芸能を身につけよう」**
よくできない頃
うかつに人に知られ

知られじ。うちうちよく習ひ得てさし出でたらんこそ、いと心に
まい
習得してから（人前に）出ていく
奥ゆか

くからめ」と常に言ふれど、**「かく言ふ人、一芸も習ひ得るこ
しいことだろう」**
言つようだが
このように

となし。**「いまだ堅固かたはなるより、上手の中にまじりて、毀り
まだまったくの未熟な頃から
けなさ**

笑はるるにも恥ぢず、つれなく過ぎて嗜む人」、**「天性その骨なけ
平然と押し通して励む
生まれつきその天分**

れども、道になづまず、みだりにせずして年を送れば、**堪能の嗜
（芸の）道に滞らず
勝手気ままに
芸達者でも芸**

まざるよりは、終に上手の位にいたり、徳たけ、人に許されて、
最後には
地位に達して
人望も備わり
認められて

② 双なき名を得る事なり。」
比類のない名声

（兼好法師「徒然草」第百五十段より）

1 鎌倉時代の芸能

「田楽」や、「猿楽」などの芸能が
親しまれた。猿楽は明治時代以降、
「能」と呼ばれるようになった。



田楽法師が曲芸をする様子
（「年中行事絵巻」国立国会図書館蔵）

作者のものの見方や考え方を捉える問題

71p. 69 A 8

1 「うちうちよく習ひ得てさし出でたらんこそ、いと心にくからめ」と
言う人に対して、作者はどんな考えを述べているか。古文中から
十二字で抜き出さない。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 作者は、どのような人が「**双なき名を得る**」と考えているか。
一つ選ばなさい。

ア まったくの未熟な人たちと一緒にになって、芸の習得に励む人。
イ 上手な人からけなされたときに恥ずかしさを感じられる人。
ウ 生まれつきの天分があつて芸が達者で、人望も備えた人。
エ 上手な人の中に交じって、笑われても平然と稽古に励む人。



随筆における作者のものの見方や
考え方を捉える場合は、次の内容を
区別しながら読もう。

具体的な事例

＝作者の体験や見聞、事実など

← **「それに対する作者の感想」**

＝作者のものの見方や考え方



2 「雅楽」で使われる楽器である「箏」

徒然草

つれづれぐさ



デジタル

1 兼好法師が草庵を結んだ双が丘
仁和寺の南に位置する。(京都市右京区)

『徒然草』は、鎌倉時代末期に成立した随筆集です。「思っていることを言わないのは、腹のふくれる気持ちがあるので、筆にまかせて書き記す」(第十九段)という言葉通り、人のあり方について述べた教訓話から笑い話まで、兼好法師が軽快な文章で自由に書きつづっています。

徒然草とは



2 兼好法師「絹本着色兼好法師画像」(部分)
(三重県伊賀市常楽寺蔵)

年代	出来事
11世紀始め	枕草子(清少納言)
1180~85年	源氏と平家の戦乱
1208年	京都で大火災。以降もしばしば起こる。
1212年	方丈記(鴨長明)
1270年	阿蘇山噴火
1293年	鎌倉大地震
1317年	京都大地震。数か月続く。
1325年	京都大雨、洪水
1331年(?)	徒然草(兼好法師)
1334年	建武の新政



政治は不安定で、天災が続いた時代だね。

兼好法師とその時代

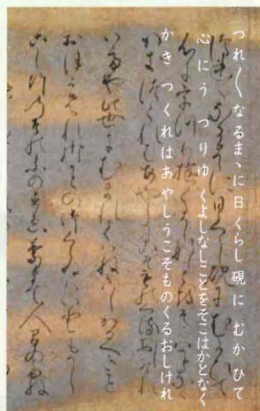
兼好法師は、若いときに宮中に仕え、宮廷の祭事やしきたり(有職故実)の専門家として、また歌人としても活躍していました。三十歳頃に出家し、仁和寺近くの双が丘の粗末な庵で『徒然草』を書いたと言われています。

兼好法師の生きた時代には戦乱や天災が相次ぎ、世の中ははかないものだとする「無常観」が生まれました。兼好法師の出家も、こうした考え方の影響とされています。

3 「徒然草」序段※

古典の三大随筆

随筆とは、体験したことや見聞きしたこと、感じたことを、思いつくままに書いた文章のことです。『枕草子』『方丈記』『徒然草』の三つをまとめて、古典三大随筆と呼ぶことがあります。



※「徒然草画帖」 Col Base (<https://colbase.nich.go.jp>)

古典三大随筆の比較

徒然草	方丈記	枕草子
兼好法師	鴨長明	清少納言
鎌倉末期	鎌倉初期	平安中期
・ユーモアの根底にある無常観 ・多方面の話題を独自の視点で観察・批評。	・無常観 ・天災や時代の混乱を背景に人生の無常を説く。	・「をかし」の文学 ・定子に仕えた宮中での見聞など。



高名の木登りと言ひしをのこ、……
降るる時に、軒丈ばかりになりて、「過
すな。心して降りよ」と言葉をかけ侍りしを、
「かばかりになりては、飛び降るるとも降り
なん。いかにかく言ふぞ」と申し侍りしかば、
「その事に候ふ。目くるめき、枝危ふきほど
は、己が恐れ侍れば申さず、**過ちは、や
すき所になりて、必ずつかまつる事
に候ふ。」**と言ふ。

木登りの名人の男が、人に高い木の枝を切ら
せた。名人は、その人が高いところにいたとき
には何も言わずに、枝を切つて軒の高さまで降
りたときに、初めて用心するように声をかけた。
それを聞いた兼好法師が、
名人に理由を
聞くと、「危
ないときは自
分で恐れてい
るが、まちが
いは安全なと
ころになつて
から、必ずす
るものです」
と言つた。

高名の木登り (第百九段)

双六の上手 (第百十段)



5 双六 二人でさいころを使い、白い石と黒い石を相手の陣地へ運ぶ。

双六の上手といひし人にその行を問ひ侍
りしかば、「**勝たんと打つべからず、
負けじと打つべきなり。**いづれの手か
とく負けぬべきと案じて、その手を使はず
して、一目なりともおそく負くべき手につ
くべし」といふ。

双六の名人に、その方法を尋ねてみると、「勝
とうと思つて打つてはならない。負けないよう
にと打つべきである。どの手でいったら早く負
けてしまふかを考えて、たとえ一目でも遅く負
けるような手を選ぶべきだ」と言つた。



6 鯉をとる様子「徒然草画帖」
(東京国立博物館蔵)

※画像提供：東京国立博物館 / Image:TNM Image Archives

鎌倉の海に鯉といふ魚は (第百十九段)

鎌倉の年寄りの
申し侍りしは、「こ
の魚、おのれら若
かりし世までは、
はかばかしき人の
前へ出づる事侍ら
ざりき。頭は下部
も食はず、切りて
捨て侍りしものな
り」と申しき。

鎌倉の海で鯉という
魚がこの頃ありがたが
られていた。だが、鎌
倉の老人たちに言わせ
ると、「この魚は自分
達が若い頃は身分の高
い人の食卓にのぼるこ
とはなく、頭は身分の
低い者でさえ、食べず
に切つて捨てていた」
とのことである。この
ようなものでも、世の
終わりが近いので、上
流社会に入り込んでく
るのだ。



7 疫病の流行

兼好法師の生きた時代は感染症が流行した。

「春日権現験記絵巻」

ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)

1 仁和寺（京都市） ユネスコの世界文化遺産に登録されている。

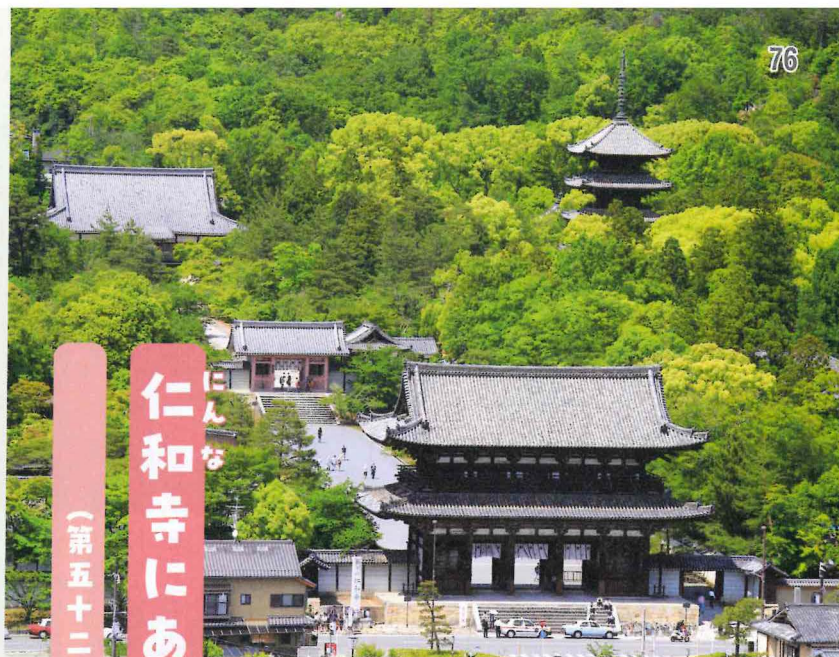
京都・仁和寺の法師は、石清水八幡宮にお参りに出かけました。

石清水八幡宮の本殿は山頂にありますが、仁和寺の法師はそれを知らず、ふもとの極楽寺と高良神社に参っただけで石清水八幡宮に参ったと勘違いしてしまい、本殿には参拝せず、に寺に帰ってしまいました。

あらすじ

仁和寺にある法師

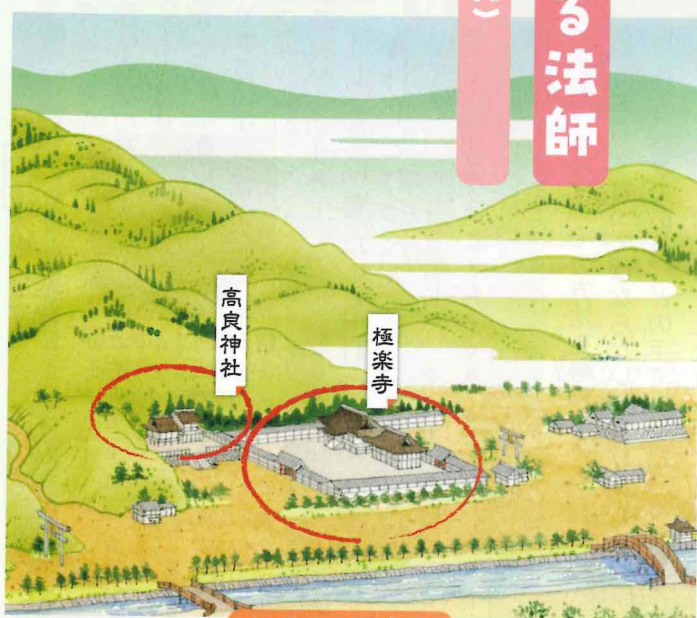
（第五十二段）



仁和寺から石清水八幡宮までは約20km。徒歩で約5時間の道のりだよ。



2 仁和寺と石清水八幡宮の位置関係



まずは極楽寺

空から見てみると.....



4 旧極楽寺の境内に建立されたという五輪塔（航海記念塔）



極楽寺は戦火で焼失して、現存していません。



5 男山 (京都府八幡市)



男山は標高約150メートル。現代なら、ケーブルカーに乗って石清水八幡宮に行けるよ。

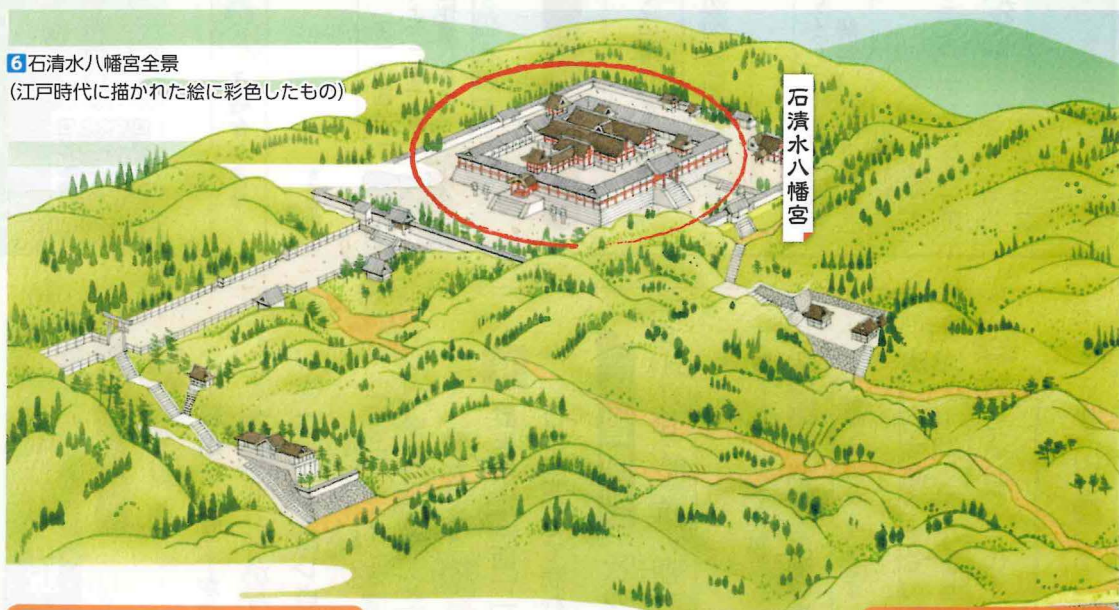


八五九年(平安初期)に造られた、京都府八幡市の男山山頂にある神社です。源氏一門の氏神として、また勝負事の神様として庶民の信仰も集めました。

石清水八幡宮とは

6 石清水八幡宮全景

(江戸時代に描かれた絵に彩色したもの)



石清水八幡宮

いよいよ石清水八幡宮



10 石清水八幡宮の本殿 長い参道を行った先にある。

法師はここで引き返してしまっただけ。



7 続いて高良神社



7 高良神社の鳥居

8 御朱印「徒然草第五十二段の地」と書かれている。

9 高良神社 高良神社は極楽寺とともに、幕末にいったん焼失した。現在の建物は再建後のものである。



▶孔子と弟子たち

教科書

p.144~147

5

二千五百年前からのメッセージ

— 孔子の言葉 —

古典を楽しむ

目標

音読して漢文の表現を味わい、
孔子の考えを捉えよう

デジタル

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

ページ
1 □ 144

孔子 一般

「孔」の字の「子」の部分
は三画で書くよ。二画で書
かないように注意しよう。

★は新出漢字

知

まず

「論語」について

孔丘

二千五百年以上前、中国で活躍した思想家。
各地を旅しながら、理想とする
ことを
説いた。ちやうと
解説孔子の説いた思想は、
弟子たちに受け継がれ、
のちに「儒教」となっ
て広まっていったよ。

追求する書物。

人としての

の言行を記録したもの。

を

と弟子たち

知

しっかり解説 漢文の読み方

漢文の読み方

I 返り点

①レ点…一字下から返って読む。↓ ②①。

②一・二点…一から二に返って読む。↓ ③①②。

③ㄣ点…先にレ点に従って読み、次に一・二点の二に返って

読む。↓ ④①③②。

④上・下点…一・二点をつけた句を挟んで、さらに上に返って

読む。↓ ⑤③①②④。

II 置き字…「而」「矣」「於」など

日本語として読むときは読まず、書き下し文にも書かない文字。

練習問題

次の訓読文を書き下し文に直しなさい。

(1) 145 ② 「有朋自遠方來」

読む順に番
号をふって
から書き下
し文に直す
といいよ。(2) 145 ⑨ 「可_レ以_二為_一師矣」(3) 146 ⑤ 「有_レ一_レ言_ニ而_レ可_二以_一終_レ身_ニ行_一之_者乎」

💡 (1)はI①②、(2)はI③とII、(3)はI③④とIIを参考にしよう。

思

読解 1 順番に読み取ろう

漢文の表現を味わい、孔子の考えを捉えよう

【A】「**学**びて時に**之**を**習**ふ、……」を読み取ろう

- 1 「**亦**樂しからずや」(14⑧)とあるが、どんなことについてこう述べているか。現代語で簡潔に書きなさい。

□ 2 「人知らずして**慍**らず」(14⑨)について、

- (1) どんなことを「**慍**らず」と述べているか。現代語で簡潔に書きなさい。

目標

- (2) こうした人物のことを、孔子は何と表現しているか。漢文中から二字で抜き出さない。

【B】「**故**きを温めて新しきを知れば、……」を読み取ろう

- 1 「**故**きを温めて新しきを知れば」(14⑧)とはどういう意味か。現代語訳から抜き出さない。

□ 2 この言葉から生まれた四字熟語を書きなさい。

【C】「**其**れ怒か。**己**の欲せざる所、……」を読み取ろう

- 1 「**己**の欲せざる所」(14③)の意味を、現代語訳から抜き出さない。

目標

【D】「**之**を知るを**之**を知ると為し、……」を読み取ろう

- 1 「**之**を知るを**之**を知ると為し、……」(14⑪)の言葉で孔子が伝えようとしたのはどんなことか。一つ選びなさい。

- ア ものを知らないままでいいのか、ということ。
イ 本当にものを知るとはどういうことか、ということ。
ウ 知るべきことを知ることが大切だ、ということ。
エ 知らないことなどあるはずがない、ということ。

💡「それが、知っているということなのだ」(14⑮)に着目しよう。

- 2 西さんは、この文章で孔子が主張していることを発表することになった。現代語訳の内容を踏まえて、**あとの言葉に続く形で**発表内容を書きなさい。

書くヒント💡——線の内容を使って答えを作ろう！

内容 孔子が弟子の質問を受けて、答えを述べているところを探す。

↓それは**思いやり**かな。

↓自分がしてほしくないことを、人にしてはいけないよ。

【答え方】書き出しは「孔子は、」などにする。

と述べています。



論語と孔子



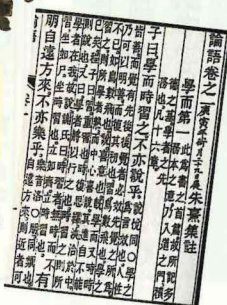
デジタル



孔子 前551?年～前479年
名は丘。字は仲尼。「子」は先生などへの敬称。

2 孔子像
ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)

1 『論語』 卷之一 「学而」



『論語』とは

古代中国の魯の国に生まれた孔子は、苦学の末、役人になりましたが失脚し、弟子を連れて各地を遊説しました。晩年は魯に戻り、弟子たちの教育にあたりました。

『論語』は、孔子の著書ではなく、死後に弟子たちが孔子との対話や孔子の行動を記録したものです。

『論語』は、中国の国家公務員試験である「科挙」の受験科目で、受験生は必死で勉強したよ。



中国と日本での広がり

『論語』を教科書とする儒学は中国の歴代王朝で正統の学問とされました。

日本には、朝鮮半島を経由して伝えられ、僧侶や貴族の教養として愛読されました。江戸時代には、昌平坂学問所（現在の東京都文京区）で武士が儒学を学びました。庶民の寺子屋でも『論語』が読まれ、孔子の教えは日本にも大きな影響を与えました。



4 聖堂講釈図・寺子屋図 武士が儒学を学んでいる。
(東京大学史料編纂所蔵模写)



7 湯島聖堂 日本にある孔子廟の一つ。
江戸時代に昌平坂学問所が置かれた。
(東京都文京区)



5 閑谷学校 江戸時代に藩主が庶民の教育のために造った学校で、論語の講義が行われていた。(岡山県)

6 敷地内の孔子廟に安置された孔子像



9 楷の木 孔子の墓所に植えられたことから学問の木とされる。孔子廟にも植えられている。

『論語』の言葉



8 孔子は各国を政治を説いて回ったのち、故郷の魯の国へ戻り、学校を開いてたくさんさんの弟子を育てた。

老者は之を安んじ、朋友は之を信じ、少者は之を懐けん。

老人からは頼られ、友人からは信頼されて、若い人からは慕われるような人でありたい。

人の己を知らざることを患へず、人を知らざることを患ふ。

他人が自分を正しく知ってくれないことを嘆くのではなく、自分が他人を正しく知っていないことを心配すべきだ。

子夏曰はく、小人の過つや、必ず文る。

(孔子の弟子の) 子夏は言った。「つまらない人は過ちを犯すと必ず、聞こえのいい言い訳をする」と。

未だ生を知らず、焉ぞ死を知らん。

生きている間のことわからないのに、死についてなどわかるわけがない。



弟子から見た孔子

先生は、おだやかだけれど厳しい。威厳があるけれど乱暴なところはない。礼儀正しいけれど、気さくでとても魅力的な人なんだ。



10 孔門十哲 顔淵、子貢、子路など、孔子の優れた十人の弟子をさす。

徳は孤ならず、必ず隣有り。

人徳の優れた人は孤独ではなく、必ずその人を慕う人が集まってくる。

巧言令色、鮮し仁。

言葉巧みで外見をとりつくりつた人は、誠実に欠けるものだ。



教科書

p.148~163

5 坊っちゃん

古典を楽しむ

目標

近代小説を味わうとともに、登場人物の言動から人柄や心情を捉えよう



夏目漱石

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字、☆は新出音訓

ページ

1 148

2 149

3 150

4 151

5 152

6 153

7 154

8 155

9 156

10 157

11 158

12 159

13 160

14 161

15 162

16 163

17 164

18 165

19 166

20 167

21 168

22 169

23 170

24 171

25 172

26 173

27 174

28 175

29 176

30 177

31 178

32 179

33 180

34 181

35 182

36 183

37 184

38 185

39 186

40 187

41 188

42 189

43 190

44 191

45 192

46 193

47 194

48 195

49 196

50 197

51 198

52 199

53 200

54 201

55 202

56 203

57 204

58 205

59 206

60 207

61 208

62 209

63 210

64 211

65 212

66 213

67 214

68 215

69 216

70 217

71 218

72 219

73 220

74 221

75 222

76 223

77 224

78 225

79 226

80 227

81 228

82 229

83 230

84 231

85 232

86 233

87 234

88 235

89 236

90 237

91 238

92 239

93 240

94 241

95 242

96 243

97 244

98 245

99 246

100 247

101 248

102 249

103 250

104 251

105 252

106 253

107 254

108 255

109 256

110 257

111 258

112 259

113 260

114 261

115 262

116 263

117 264

118 265

119 266

120 267

121 268

122 269

123 270

124 271

125 272

126 273

127 274

128 275

129 276

130 277

131 278

132 279

133 280

134 281

135 282

136 283

137 284

138 285

139 286

140 287

141 288

142 289

143 290

144 291

145 292

146 293

147 294

148 295

149 296

150 297

151 298

152 299

153 300

154 301

155 302

156 303

157 304

158 305

159 306

160 307

161 308

162 309

163 310

164 311

165 312

166 313

167 314

168 315

169 316

170 317

171 318

172 319

173 320

174 321

175 322

176 323

177 324

178 325

179 326

180 327

181 328

182 329

183 330

184 331

185 332

186 333

187 334

188 335

189 336

190 337

191 338

192 339

193 340

194 341

195 342

196 343

197 344

198 345

199 346

200 347

201 348

202 349

203 350

204 351

205 352

206 353

207 354

208 355

209 356

210 357

211 358

212 359

213 360

214 361

215 362

216 363

217 364

218 365

219 366

220 367

221 368

222 369

223 370

224 371

225 372

226 373

227 374

228 375

229 376

230 377

231 378

232 379

233 380

234 381

235 382

236 383

237 384

238 385

239 386

240 387

241 388

242 389

243 390

244 391

245 392

246 393

247 394

248 395

249 396

250 397

251 398

252 399

253 400

254 401

255 402

256 403

257 404

258 405

259 406

260 407

261 408

262 409

263 410

264 411

265 412

266 413

267 414

268 415

269 416

270 417

271 418

272 419

273 420

274 421

275 422

276 423

277 424

278 425

279 426

280 427

281 428

282 429

283 430

284 431

285 432

286 433

287 434

288 435

289 436

290 437

291 438

292 439

293 440

294 441

295 442

296 443

ウ 将来、立派な玄関のある西洋風の家を造つてやると言った。

エ 欲が少なくて心がきれいでまつすぐなよい気性だと褒めた。

答え方 文末は「〜からだと思います。」などにする。



思

読解

2

全体を
捉えよう

①～④に入る言葉を抜き出そう

思

読解

3

深めよう

清と別れるときの「俺」の心情を捉えよう

①子どものとき

- ・親譲りの①。
- ・学校の二階から飛び降りて腰を抜かす。
- ・ナイフで指を切ってみせるゝいたずらはだいぶやった。



おやじ……「どうせ②にはならない」

- ・母……「乱暴で乱暴で行く先が案じられる」
- ・兄……仲がよくなかった。
- ・清……非常にかわいがってくれた。

「あなたは③でよいご気性だ」

②家族や清との関係

- ・家を売って兄と別れる。
- ・清はおいのところに厄介になる。

「俺④は兄にもらった金で物理学校で学び、卒業後、

④の教師になることに。

すぐ入学の手続きをしたのも、親譲りの無鉄砲のため。

- ・出立の日、清との別れ……もう少しで泣くところであった。

全体を
読めたかな？

この文章の内容と合うものに○を、
合わないものに×を書こう。

(1)

(2)

- (2) (1) 家族以外で「俺」をかわいがってくれたのは清だけだった。「俺」は生まれもった性格のせいで損ばかりしてしまった。

を買ってきてやろう」と言ったりして② やった。

- 1 田舎に行く話を聞いたときの清の様子を見て、「俺」はどのようなことをしたか。次の文の①・②に入る言葉を抜き出さない。

●清を①に思い「じき帰る」と言ったり、「何か土産

- 2 「俺は泣かなかった。しかし、もう少しで泣くところであった」(158下)、「窓から首を出して、……なんだか大変小さく見えた」(158下)から、「俺」のどのような気持ちがわかるか。清が「俺」に対してどのように接していたかを含めて、**四十五字以内**で書きなさい。

書くヒント — 線の内容を使って答えを作ろう！

内容 見送りの場面でさみしそうな様子の清と、涙をこらえる「俺」。

↓自分をかわいがってくれた清との別れ。

↓清を残して行かねばならない「俺」の気持ちを考える。

【答え方】文末は「く気持ち。」などにする。



デジタル

坊っちゃん

なつめ そうせい

夏目漱石（一八六七〜一九一六年）は東京で生まれました。東京帝国大学（ていこく）現在の東京大学英文科を卒業し、教師を経て三十三歳でイギリスに留学します。帰国後に東京帝大の講師となった漱石は、『吾輩は猫である』を発表し、のちに新聞社に入社後は職業作家となり、『三四郎』『こころ』などの名作を残しています。



夏目漱石 吾輩は猫である



夏目漱石 こころ

1 『吾輩は猫である』
(新潮文庫)

2 『こころ』 (新潮文庫)

『坊っちゃん』の舞台

まつやま 松山

『坊っちゃん』は夏目漱石が、愛媛県にあった旧制松山中学校に英語教師として赴任したときの体験をもとに書かれています。坊っちゃんに通う住田の温泉（道後温泉）や、最初に泊まった山城屋（きどや旅館）、下宿のいか銀（愛松亭）・老夫婦の家（愚陀仏庵）など、作中に登場する場所は、漱石が訪ねたり滞在したりした場所がモデルになっています。

4 道後温泉本館 作中では「住田の温泉」と呼ばれている。漱石は道後温泉を気に入り、友人への手紙に「随分結構に御座候」と書いている。

5 正岡子規 歌人・俳人



3 夏目漱石（本名：金之助）



7 坊っちゃんの間 道後温泉本館内にある、実際に漱石と子規が利用したという部屋。



6 愚陀仏庵 漱石の下宿を再現したもの。一時期、学生時代から親交のあった正岡子規と同居した。現在は倒壊して残っていない。（萬翠荘提供）

8 松山中学跡地

漱石が松山を去るときに詠んだ句が刻まれている。



坊っちゃんと清

清と別れた坊っちゃんは教師として松山に赴任します。清からは「癩癩が強過ぎてそれが心配になる」などと気づかう手紙が届きます。しかし生まれ持った気性は変わらず、卑怯な画策をした教頭を懲らしめ、学校を辞職して東京へ帰ります。東京へ着くとすぐに清のもとに駆けつけ、一緒に暮らそうと申し出ます。



漢 字

知

ページ

- ① ①②は 線の漢字の読みを書き、
⑬⑤⑥は漢字に直して書きなさい。
- ① ①24 産業が衰退する。
② ①27 化粧をする。
③ ① 武士の敵討ち。
④ ①31 発作が起きる。
⑤ ①34 首相に随行する。
⑥ ①38 厳かな礼拝。
⑦ ①43 情報が氾濫する。
⑧ ① 故障が頻発する。
⑨ ① 光を遮断する。
⑩ ① 均衡を保つ。
⑪ ①49 相撲をとる。
⑫ ①58 土産をもらう。
- ⑬ ①24 金をポツシユウする。
⑭ ① 寺のかねが鳴る。
⑮ ① ソウガン鏡で見る。
⑯ ① 国がほろびる。
⑰ ①26 ジントウに立つ。
⑱ ①28 愛馬にキジヨウする。
⑲ ①30 にしきをまとつ。
⑳ ①34 新しいまくらを買う。
㉑ ①35 ほたるを見物する。
㉒ ① 言葉をかわす。
㉓ ① はつしもが降りる。
㉔ ① 天皇のジジユウとなる。
- ㉕ ①36 出家してあまになる。
㉖ ①37 かまくら時代の像。
㉗ ①43 モホウした作品。
㉘ ① セツジヨクを果たす。
㉙ ① ひじが机に当たる。
㉚ ① モウチヨウの手術。
㉛ ① 進歩がケンチヨだ。
㉜ ① カジヨウ書きにする。
㉝ ① ザンガイと化す。
㉞ ① チクジ対処する。
㉟ ① カイキヨウを渡る。
㊱ ①44 葉にキコウがある。
㊲ ① シヨハンの事情。
- ㊳ ①48 工事をうけ負う。
㊴ ①49 そりですべる。
㊵ ① 時間をつぶす。
㊶ ①50 ゲンエキの選手。
㊷ ① シヨウギを指す。
㊸ ①51 非礼をあやまる。
㊹ ① 簡単にあきらめない。
㊺ ①52 エンピツで字を書く。
㊻ ①53 ワガシを作る。
㊼ ①54 美しいセンリツ。
㊽ ①56 賞にオウボする。
㊾ ①57 ソクザに答える。
㊿ ①58 単身でフニンする。

語 句

知

- ① 次の語を現代仮名遣いに直し、
全て平仮名で書きなさい。
- ① ①38 まう (詣) でけり
② ①40 あふぎ (扇)
- ② 次の——線部の古語の意味を、
一つずつ選りなさい。
- ① ①35 冬はつとめて。
ア 仕事
イ タ暮れ
ウ 早朝
- ② ①36 いとをかしげなる指。
ア 笑っている様子
イ 愛らしげな様子
ウ とても細い様子
- ③ ①45 「温」故而知新の書
き下し文として正しいもの一つ
選りなさい。
- ア 故きを温めて而新しきを知
れば、
イ 温めて故きを知れば新しきを、
ウ 故きを温めて新しきを知れば、

知
まず

短歌のきまりを捉えよう

短歌

●短詩型文学で、一と数える。

●句・句・句・句・句
音からなる。

形式

初句 = 二句 = 三句 = 四句 = 結句 (五句) ちよつと

●言葉のつながりや意味の切れめにあたるところ。

⑪

言い切っている表現や、句末の「や」「よ」「かな」などを探そう。



短歌は、「句切れ」に着目して組み立てを捉え、表現に着目して主題をおさえると鑑賞しやすくなるよ！



教科書
p.166~173

目標

情景や心情を表す語句に着目して表現の工夫を捉え、鑑賞しよう



デジタル

6

短歌の味わい／短歌十首

穂村弘ほか

想像を広げる

思

読解
1 順番に読み取ろう

それぞれの短歌の内容を読み取ろう

【A】「短歌の味わい」を感じよう

1 若山牧水「白鳥は……」(166①)の短歌について、

□ (1) 何句切れか。書きなさい。

□ (2) 「かなしからずや」は、どんな意味か。一つ選びなさい。



1 海と鷗

ア かなしいにちがいない。イ かなしくないのだろうか。ウ かなしいかもしれない。エ かなしくはないのだろうか。

□ (3) この歌についてまとめた次の表の①②③④に入る言葉を、色彩は短歌の中から一字で、心情は鑑賞文の中から二字でそれぞれ抜き出さない。

情景	色彩	心情
白鳥	① 色	②
空や海	③ 色	④

対比

2 斎藤史「濁流だ……」(167⑤)の短歌について、

□ (1) 明るい未来を表している表現を短歌の中から三字で抜き出さない。

□(2) 鑑賞文の筆者は、この歌の中の「濁流」をどんなものと考えているか。一つ選びなさい。

- ア 戦犯を容赦なく罰しようとする時代の流れ。
 イ 工場から出される廃液による濁った水の流れ。
 ウ 政治改革をしようと立ち上がった民衆の動き。
 エ 速度を上げて戦争へと向かっていく時代の変動。

3 栗木京子「観覧車……」(168①)の短歌について、

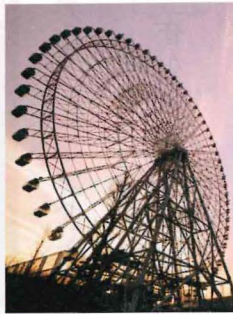
□(1) 対句表現になっている部分を、**短歌の中からそれぞれ五字で**抜き出しなさい。

目標

□(2) 「回れよ回れ」という表現にこめられた心情をまとめた次の文の□に入る言葉を、**鑑賞文の中から抜き出しなさい。**

- 二人が乗った観覧車のゴンドラが、地上に着くまでの時間が、

という心情。



1 観覧車

□(3) 「君には一日我には一生」について、鑑賞文の筆者は「二つの時間の対比が切ない」(168⑪)と考えているが、「二つの時間の対比」はどんなことを表しているか。**五十字以内で書きなさい。**

目標

4

穂村弘「春のプール……」(168⑮)の短歌で表現されている情景について書かれた次の文の□①②③④に入る言葉を、**鑑賞文の中から抜き出しなさい。**

●夏以外の

のプール、人間がいない

のプール

に目を向けることで、プールの

を目立たせ、

がない世界が表現されている。

書くヒント💡 — 線の内容を使って答えを作ろう！

内容

「二つの時間」と「対比」が表していることを鑑賞文P.168⑥行

⑪行から探す。

↓二人で観覧車に乗って過ごした時間は、永遠ではない。

↓あなたにとってはたった一日のできごとだが、私の胸には一生の思い出として刻まれている。

答え方

文末は「〜(という)こと。」などにする。

【8】「短歌十首」を読み味わおう

□1 正岡子規「くれなるの……」(170①)の短歌の鑑賞文として合うものを一つ選びなさい。

ア たった二尺伸びたばかりの若いバラの芽の細々とした様子を、春先の弱々しい雨に例えて物悲しくよんでいる。

イ 新芽や枝を伸ばしている春から初夏のバラのみずみずしさを、「の」の繰り返しによってリズムよくよんでいる。

ウ 真つ赤な花を咲かせ、硬いとげをもつバラのたくましさを、柔らかな春雨と対比させながらよんでいる。

エ 雨に負けずに力強く育つ春先のバラののびのびとした様子を、漢字を多く使った重厚な文体でよんでいる。

□2 与謝野晶子「ああ皐月……」(170②)の短歌についてまとめた次の文章の□①④に入る言葉を、**短歌の中から**抜き出さない。

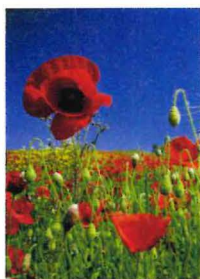
●「雛罌粟」は「ポピー」(英語)や「ひなげし」(日本語)ともいうが、□① (フランス語と読んで音の響きを

印象づけ、二回繰り返すことで新鮮なリズム感を出している。

また、「雛罌粟」が□② のような赤色であるように、□③ と

□④ の愛も燃えるように

盛り上がっていることを表す。



2 ヒナゲシ

□3 斎藤茂吉「みちのくの……」(170③)の短歌について、

□(1) 「ただにいそげる」とあるが、作者はなぜ急いでいるのか。その理由を説明した次の文の□に入る言葉を、**短歌の中から**抜き出さない。

● □ が失われようとしているから。

□(2) 作者の急ぐ気持ちが最もよく表れている表現を、**短歌の中から八字で**抜き出さない。

□

□4 石川啄木「不來方の……」(170④)の短歌から、心が軽くなる気持ちを表している一句を抜き出さない。

□

□5 塚本邦雄「日本脱出したし……」(170⑤)の短歌で、作者の伝えたいことの中心となる部分を、**短歌の中から七字で**抜き出さない。

□



6 不來方城(盛岡城)跡

を見た作者の

気が……

一つ選びなさい。

ア 幸せな気持ち。
イ 得意な気持ち。
ウ 不安な気持ち。
エ 自分を責める気持ち。

短歌の内容について捉えよう

✕を書きなさい。

(1) 「くねなるの……」
170 ①

(2) 「ああ皐月……」
170 ②

(3) 「俺は帰るぞ……」
171 (2)

(4) 「おねがいねって……」
171 (4)

2 体言止めを用いている短歌に○を、そうでないものに×を書きなさい。

(1) (2) (3) (4)

(1) 「みちのくの……」 170 (3)

(2) 「不来方の……」 170 (4)

(3) 「海を知らぬ……」 **171 ①**

(4) 「自転車の……」 **171 ③**

7 鍵

文化祭に向けて準備をする何気ない場面が、二度と戻れな

い時間の象徴としてうたわれている。

工 文化祭のために用意された大量のダンボールを、短く貴重な学生時代と対比してうたっている。

💡 ステップ1で抜き出した言葉に着目しよう。

ステップ3
▼▼
つなげる

問いの答えを整えよう。

ステップ1の「短歌によまれた心情」についてまとめる

答え

として、

をよんでいる。

ステップ2 で選んだ場面についての内容を入れる

をよんでいる。

40

テストの練習問題

短歌の味わい／短歌十首

A 白鳥はかなしからずや空の青海のあをにも染まずただよしらとり

若山牧水わかやま ぼくすい

B 観覧車回れよ回れ想ひ出は君には一日我には一生おもひ

栗木京子くりき きょうこ

C みちのくの母のいのちを一目見ん一目みんとぞただにいそおげる

斎藤茂吉さいとう もきち

D 不來方のお城の草に寝ころびてこずかた

空に吸はれしくはれし
十五の心いじゅうごのこころ

石川啄木いしかわ たくぼく

知 (1)は完答15点(4)15点 (思) (2)(3)は15点(5)は各10点

100

□ (1) A、Dの短歌から、二句切れの短歌を二つ選びなさい。

□ (2) 「かなしからずや」とは、どういう意味か。簡潔に答えなさい。

↑ p. 87 A 1 (2)

□ (3) 「母のいのちを一目見ん」は、作者のどんな心情を表しているか。簡潔に答えなさい。

↑ p. 89 B 3

□ (4) 「空に吸はれし」で使われている表現技法を一つ選びなさい。

ア 体言止め イ 直喩法 ウ 倒置法 エ 隠喩法

(5) 次の鑑賞文にあてはまる短歌をA、Dから一つずつ選びなさい。

□ I 色彩の対比の中に描かれた対象物に作者の孤独な心情が投影された歌である。

□ II 反復による表現が作者のせつぱった気持ちを強く印象づける歌である。

□ III やわらかい色彩を感じさせる言葉を用いて、希望と不安が入り混じる心を包みこむような情景をうたった歌である。

□ IV 同じ空間と時間を共有している二人だが、気持ちはすれ違っている切なさが伝わる歌である。

(4)	(3)	(1)
(5)		(2)
I		
II		
III		
IV		

グラフィック資料

短歌を作ってみよう

基本 五・七・五・七・七の三十一音で作る。

気をつけない

拗音 例 ちやいろ 三音 撥音 例 げんき 三音

音数

促音 例 ゆっくりに 四音 長音 例 ケーキ 三音

創作のヒント

1 説明し過ぎない

イメージを膨らませる語をうまく使う

・一人称(私・僕など)の主語

主語が自分自身なら省く。

・状態・様子を表す言葉

「かわい」「きれい」「ひっそり」などの言葉で表現せず、場面やものの描写で読み手に想像してもらおう。

例 夏のかげ山よりきたり

三百の牧の若馬耳ふかれけり 与謝野晶子

・意味やイメージの重なり

類推できる語は省く。

例 みちのくの母のいのちを一目見ん

一目みんとぞただにいそげる

斎藤茂吉

2 具体的に示す

種類・色・数・人名・地名などを明らかにしよう

例 くれなるの二尺伸びたる薔薇の芽の

針やはらかに春雨のふる

正岡子規

色(くれない)や長さ(二尺)が具体的に示され、読み手はイメージしやすい。

3 句切れを入れる

効果的に入れて感動を強調し、リズムを良くしよう

例 海恋し

潮の遠鳴りかぞへては少女となりし父母の家 与謝野晶子

例 向日葵は金の油を身に浴びて

ゆらりと高し 日のちひささよ

前田タ暮

*句切れの前で「向日葵」、後で「太陽」に触れ、両者を対照的に描いて印象付けている。



短歌のつくりかた

4 表現を工夫する

表現技法を上手に使うイメージを伝えよう

直喻・隠喻

たとえを工夫して意外性のある歌を作る。

例 無花果の裂けたるごとく若き日の

心は早く傷つけるかな 与謝野鉄幹

*若い日の心の傷をいちじくの実の裂けた様子にたとえている。

例 金色のちひさき鳥のかたちして

銀杏ちなるなり夕日の岡に 与謝野晶子

*夕日を受けてきらめきながら散る「銀杏の葉を」、「金色の鳥」に見立てている。

擬人法

人でないものを人にたとえて印象的に描写する。

例 稲刈りてさびしく晴るる秋の野に

黄菊はあまた目をひらきたり

長塚節

*人ではない「菊が咲く様子」を「目をひらく」と表現している。

体言止め

締めくくりに言葉を強く印象付ける。

例 病める児はハモニカを吹き夜に入りぬ

もろこし畑の黄なる月の出 北原白秋

*「月の出」と体言で終わっている。

倒置

語順を入れ替えることで、その部分を強める。

例 曼珠沙華咲く野の日暮れはなにかなしに

きつねが出ると思ふ大人の今も 木下利玄

*「大人の今も 思ふ」が通常の語順。順序を入れ替えることで、「大人になった今でも」という部分を強調している。

擬音(擬声)語・擬態語

音の響きで新鮮な印象を与える。

例 まばらなる冬木林にかんかんと

響かんとする靑空の色 島木赤彦

*林の間から見える、寒々とした冬の空を「かんかんと響くようだと表現している。

文字の種類

漢字・平仮名・片仮名を使い分けて見た目の印象を工夫する。

向日葵 ひまわり ヒマワリ

同じ言葉でも受ける印象がずいぶん異なる。



すらすら読解ガイド③

文学的文章

1 場面の展開を捉えよう

注目ポイントはココ！

- 1 第一場面…きつかけ
- 2 第二場面…過去のできごと①
- 3 第三場面…過去のできごと②
- 4 第四場面…できごとの意外な進展
- 5 第五場面…できごとの結末

教科書の文章で確かめて、に入る言葉を抜き出そう

場面ごとに、具体的にどんなできごとが語られているかを捉えよう。



教科書

喪服を着た人々の小さな葬列が動いている。(17)(5)
少女を、わざわざ銃撃の下に突き飛ばしたあの夏(18)(18)
俺は、人殺しではなかったのだ。(181)(16) ↓ 真相を知る
逃げ場所はないのだという意識が、彼の足どりをひどく確実なものにしていた。(184)(10)

第一場面

芋畑の向こうに小さな

を見た。

第二場面

過去にも、ヒロ子さんと葬列を見た。

第三場面

十数年前の、があった夏を思い出す。

第四場面

子どもたちから、写真の女性の話を聞く。

第五場面

「逃げ場所はないのだ」という意識をもつ。

2 時間の流れを捉えよう

注目ポイントはココ！

- 1 第一場面…現在
- 2 第二場面…過去
- 3 第三場面…現在の中で過去が語られている
- 4 第四場面…現在
- 5 第五場面…現在

教科書

第一場面・青々とした葉を波打たせた広い芋畑の向こうに、一列になって、喪服を着た人々の小さな葬列が動いている。(17)(4)【現在】
第二場面・夢中で、彼は全身の力でヒロ子さんを突き飛ばした。(180)(9)【過去】
第五場面・この二つの死は、結局、俺の中に埋葬されるわけではないのだ。(183)(16)【現在】

現在 ← 過去 ← 現在

戦時中に見たの光景と似た光景を見る。

彼は全力で

を突き飛ばした。

葬列に続く子どもの話から、ヒロ子さんとその母の二つの

の真相を知る。

読解ガイド③

夏の葬列

流れメロス

あとの単元でも役立つ、読み方のポイントを学ぼう！



デジタル



現在 ↓ 過去 ↓ 現在という順序で語られることで、どんな効果があるかな？

解く前に、**「すらすら読解ガイド③」** (P.94)でポイントを復習!

思

まず

場面の展開と時間の流れを捉えよう

第一場面

現在 季節・時間：夏の真昼
場所：海岸の小さな町 Ⅱ「彼」が

疎開児童として住んでいた町
の頃

第二場面

過去 季節・時間：戦争の
場所：海岸の小さな町
晴れた日の昼近く
の向こうに小さな葬列を見る
(夏)の、あるよく

回想

第三場面

現在

過去 解説
ここでは、同じ季節・時間帯・場所ですることが描かれていて、場面ごとに現在→過去→現在と、時間
が変化しているよ。

16 隔てる

184 (8)

文章の中ではどちらの意味ですか。
ア 間に物や時間・空間をおく。
イ 二つの物を遠ざける。

2 1の意味調べの言葉を () に入れ、文を完成させよう

(1) 今がゴールを決める () のチャンスだ。

(2) 妹の顔には喜びの色が () と表れていた。

3 「8ありあり」を使って短文を作ろう

思

読解 1 順番に読み取ろう

それぞれの段落の内容を読み取ろう

【A】「彼」と、「彼」が訪れた町との関係を捉えよう

1 「海岸の小さな町」(176①)と「彼」には、どのような関係があったのか。その関係をまとめた次の文の ① ② ③ に入る言葉を

の字数で抜き出さない。

① の末期に、「彼」は、② として、この町にまる
③ ほど住んでいた。

① ② ③

2 「化石したように足を止めた」(177④)について、

(1) 「化石したように」とは、どのような状態を表しているか。

一つ選びなさい。

ア 非常に意外で、頭が混乱した状態。

イ 驚きのあまり、体が硬直した状態。

ウ 恐ろしさで、意識が薄れた状態。

エ 深い失望で、気力がなくなった状態。

(2) 「彼」が「小さな葬列」(177⑤)を見て、足を止めたのはなぜか。
次の文の ① に入る言葉を 二字 で抜き出さない。

● 自分が再び、十数年前のあの時の中にいるような ① にと
らえられたから。

①

【8】「彼」が思い出した、十数年前のできごとを捉えよう

1 「大きな石」(179②)だと「彼」が思ったものは何だったのか。三字で抜き出さない。

2 179②～180⑬の次の各場面における「彼」の心情をあとから一つずつ選びなさい。

①「ヒロ子さんじゃない、と彼は思った。」(179⑥)

②「きっと、ヒロ子さんは撃たれて死んじゃうんだ。」(179⑪)

③「突然、視野に大きく白い物が入ってきて、柔らかな重い物が彼を押さえつけた。」(179⑰)

④「夢中で、彼は全身の力でヒロ子さんを突き飛ばした。」(180⑨)



1 畑の上空を飛ぶ米軍艦載機 (179⑤)

ア 緑色の芋畑の中にと、白いワンピースが銃撃の目標になると認識し、ヒロ子さんの死を予感している。

イ 突然の事態に周囲の状況がつかめないまま恐怖で動けなくなり、ヒロ子さんのこともわからないほど混乱している。

ウ 目だつヒロ子さんといると自分も銃撃の標的になってしまふという恐怖から、ヒロ子さんの存在が邪魔になっている。

エ 艦載機の銃撃から必死に逃げながらも、はぐれてしまったヒロ子さんが無事かどうかを気にかけている。

グラフィック資料

葬列や葬式の様子



3 葬式のまんじゅう (提供：青森県立名久井産業高校) (178⑥)

通夜や葬式の参列者にふるまわれるまんじゅう。呼び名や見た目、大きさは、地域によって違いがある。



2 葬列の様子 (177⑤)

葬列は「野辺送り」とも呼ばれた。葬列には、「誰が何を持って歩くか」など、さまざまな役割があった。

写真をとおして当時の様子を知り、物語の情景をリアルにつかもう。



5 葬列の先松明 (高根沢町史 民俗編「野辺送り」)



4 群馬県甘楽町の葬列の様子 (提供：浅香亀男 撮影：飯野文江) (177⑫)
白装束に黒い烏帽子を着けて歩く人。後ろに連なる人も、白い布を頭にかぶせている。左の写真のように列の先頭に、竹筒のような松明を持って歩く地域もあった。



デジタル

【C】「彼」の「ヒロ子さん」に対する気持ちを捉えよう

「彼は、ふと、自分には夏以外の季節がなかったような気がしていた」(180⑬)とあるが、「彼」にこのように思わせているものは何か。一つ選びなさい。

ア 十数年前の夏、ヒロ子さんの安否を確かめずにこの町を去ったことに対する反省。

イ 十数年前の夏、艦載機の爆撃はくげきを受けたときに味わった、死ぬかもしれないという恐怖。

ウ 十数年前の夏、ヒロ子さんを銃撃の下に突き飛ばして死なせてしまったという意識。

工 十数年前の夏、自分を助けようとしたヒロ子さんを無視して
しまったことへの後悔。

2

2 「あのだだ一つの夏の季節だけが、いまだに自分を取り巻き続
けているような気がしていた」(181①)とは、どのようなことを意
味しているか。四十文字以内で書きなさい。

書くヒント💡
正しいものを○で囲んで、
答えを作ろう！

内容 ああの夏が自分を取り巻き続けているような気がしている、とは？

あの夏、

芋畑を走って
殺人を犯して

しまつたこ
とにずっと

罪惡感

をもち続けている

答え方
文の終わり方は？

2015.12.15

からだ。

「彼」が、夏の疎開先での
できごと^{こと}にずっととらわ
れていることをおさえよ
う。



目標

【D 反転する「彼」の心情を捉えよう】

1 「奇妙な喜び」(181⑬)について、

□ (1) どのような喜びか。二十字以内で書きなさい。

32

💡「彼」は、柩こゝろに置かれている写真を「ヒロ子さんの写真」(181)(14)だと思っているね。

□ (2) どのような点で「奇妙」なのか。一つ選びなさい。

喜びの原因が自分でもよくわからない点。

知っている人の葬列に偶然にも出会った点。

ウ 知っている人の死が喜びにつながっている点。

工 喜びのあまり叫び出すこともしなかつた点。

2 「全くの無罪」(182⑦)ということを確認したときの「彼」の気持ちを、たとえを用いて表現している部分を、**十二字**で抜き出しなさい。

11

3 「よけいな質問」(182⑬)について、

□(1) 「よけいな質問」にあてはまらないものを一つ選びなさい。

- ア 182② 「……この人、足が悪かった？」
 イ 182⑮ 「なんの病気で死んだの？ この人。」
 ウ 183② 「へえ。失恋でもしたの？」
 エ 183⑤ 「おばあさん？……三十くらいじゃないか。」

□(2) 原さんは、質問が「よけい」なのはなぜかについて発表することになった。原さんの発言を、書き出しに続く形で書きなさい。

 書くヒント  線の内容を使って答えを作ろう！

内容 「よけいな質問」をする前

↓子どもの「体は全然じゃうぶだったよ。」という言葉聞き、

「彼」は、自分は無罪だったと思う。

↓十数年間もの悪夢から解放されて、「彼」は幸福な気持ちになった。

答え方 文末は「〜からだと思います。」などにする。

その質問をしなれば、「彼」は、真実を知ることなく、



【E】「彼」の自覚と覚悟を捉えよう

□1 「二つの死」(183⑮)とは、誰と誰の死か。書きなさい。

--	--

□2 「偶然の皮肉」(184④)とあるが、どのようなことを「皮肉」といつているのか。それを二つに分けて説明した次の各文の□①～③に入る言葉を□の字数で抜き出しなさい。

●ずっと□①町を十数年ぶりに訪れたその時に、偶然ヒロ子さんの母の葬列に出会ったこと。

●記憶を封印して自分の□②するために来たのに、負わねばならない死の重みが一つではなく□③こと。

② 	①
---	---

□3 「もはや逃げ場所はないのだ」(184⑩)とあるが、ここに表されている「彼」の気持ちを一つ選びなさい。

- ア 自分の罪は過去のこととして、さっぱりと忘れるしかない。
 イ もう自分としては十分罪を償ったので、解放されてよい。
 ウ ヒロ子さんとその母の死は、一生隠し通さねばならない。
 エ 自分はこの罪を一生背負い、苦しみながら生きていこう。

2

①②に入る言葉を抜き出そう。

第三場面

- ・夏の真昼
- ・見覚えのある丘
- ・広い芋畑

の龍衣しゅうげき車くるま手て。
姉のような存在
真っ白なワンピース

助けに来たヒロ子さん。

↓
全身の力で③

銃撃を受け、ゴムまりのように弾んで空中に浮くヒロ子さん

④  は
絶好の目標になる。

(彼・自分)

「あの日」を思い起こさせる葬列に出会ったこと

●現在と過去の類似。「ただのなのだろうか。」

⑥ 自分には
以外の季節がなかった↑殺人を犯した罪の意識

●ヒロ子さんのその後は不明↓翌日、戦争は終結。

読解

3ステップで記述しよう

問い できごとの順序を変えて語られる構成上の特徴は、読み手に
対してどのような効果をもたらしているか。七十字以内で書きな
さい。



初めに、**答えの前半**について考えよう！

ステップ1 ▼▼ 答えの前半

この文章の特徴である、できごとの順

「**入**」の語を、**序**と**交じる**の語を使い、**あとの言葉に続く形で十五字以内で書きなさい。**

2

時間の順序とおりでない構成。

💡 問題文の「できごとの順序を変えて」とは、「時間の流れに沿っていない」という意味だよ。

ステップ2 ▶▶ 答えの後半

ステップ1のような構成にすることで、

読み手に対してどのような効果が生まれているか。「できごと」「関係」の二語を使って三十字以内で書きなさい。

(2) (1)

戦時中のあの夏の日に、「彼」は二つの死を埋葬すると決めた。「彼」は、さらなる罪を背負って生きていくことになった。

全体を
読めたかな？

この文章の内容と合うものに○を、
合わないものに×を書こう

(1)

(2)

第五場面

自ら痛みを背負って生き続ける決意。

● 俺の中に埋葬されるほかはない
● もはや逃げ場所はない

偶然の^⑩

あの日の^⑪

を封印して身を軽くする
ために来たのに、偶然ヒロ子さんの母の
に^⑫出会い、二人分の死の責任を負って
生きねばならなくなったこと。

● 二つになった沈黙、二つの死 ↓ 二人の死の責任

(彼・俺・自分)

第四場面

(彼・俺)

● 柩^{ひつぎ}の上の若い女の^⑦

を見る。

・ ヒロ子さんと同じ年頃
・ 昔の彼女の面影がある

↓ 奇妙な喜び… 俺は、人殺してはなかったのだ。

● 子どもたちとの会話。

↓ 彼女はここ十数年を生き続けた。自分と直接の責任はない
↓ 銃撃の傷も治っていた

・ 足は悪くない
・ 体はじょうぶ

↓ 俺は全くの無罪だ！

↓ 悪夢から解放された

…^⑧

・ おばあさん
・ 一人娘が死んで気が
ちがっていた

↓ 真相…

ヒロ子さんの^⑨

の自殺。

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

…^⑧

答え

構成にすることで、

効果をもたらし

ている。

ステップ2で答えた構成が読み手に与える効果をまとめよう

ステップ1で答えた構成の特徴をまとめよう

問いの答えを整えよう。

ステップ3 つなげる

ステップ1とステップ2の内容をつなげて、

24

56

テストの練習問題

夏の葬列

山川方夫

① 辺りが急にしーんとして、
② 旋回する小型機の爆音ばくおんだけが不気味に
続いていた。

突然、視野に大きく白い物が入ってきて、柔らかな重い物が彼を押さえつけた。

「さ、早く逃げるの。一緒に、さ、早く。だいじょぶ？」

目をつり上げ、別人のような真つ青なヒロ子さんが、熱い呼吸いきで言った。彼は、口がきけなかった。全身が硬直して、目にはヒロ子さんの服の白さだけが鮮やかに映っていた。

「今のうちに、逃げるの、……何してるの？ さ、早く！」

ヒロ子さんは、怒ったような怖い顔をしていた。ああ、僕はヒロ子さんと一緒に殺されちゃう。僕は死んじゃうんだ、と彼は思った。声の出たのは、そのとたんだった。不意に、彼は狂ったような声で叫んだ。

「よせ！ 向こうへ行け！ 目だつちやうじやないかよ！」

「助けに来たのよ！」 ヒロ子さんもどなった。「早く、道の防空壕に……。」

「嫌だったら！ ヒロ子さんとなんて、一緒に行くの嫌だよ！」夢中で、彼は全身の力でヒロ子さんを突き飛ばした。「……向こうへ行け！」

悲鳴を、彼は聞かなかつた。その時強烈な衝撃と轟音ごうおんが地べたをたたきつけて、芋の葉が空に舞い上がった。辺りに砂ぼりのような幕が立つて、彼は、彼の手であおむけに突き飛ばされたヒ⑤ロ子さんがまるでゴムまりのように弾んで空中に浮くのを見た。

- (1) 「大きく白い物」、^①「柔らかい重い物」^②とあるが、ともに何（誰）

を表しているか。文章中から抜き出しなさい。

p. 97
 B
 2

- (2) 「さ、早く逃げるの」^③とあるが、ヒロ子さんは「彼」を連れて

どこへ逃げるつもりだったのか。文章中から**五字**で抜き出しなさい。

- (3) 「目だっちゃうじやないかよ！」とあるが、目だたせるものとは何か。文章中から**十字**で抜き出しなさい。
- ↓ p.97 ②

- (4) 「ヒロ子さんがまるでゴムまりのように弾んで空中に浮くのを見た」とあるが、どういうことを表しているか。最も適切なものを一つ選きなさい。

ア ヒロ子さんが一人で逃げたこと。

イ
ヒロ子さんが芋畑に寝転んだこと。

ウ ヒロ子さんが銃撃を受けたこと。

工「彼」が小型機にねらわれていること。

[illegible]

別の文章でたしかめよう

つながる読解

当時六年生の幸子さんは学童疎開に行かず、病気の母に代わって幼い妹のために粉ミルクの配給を受けようと警察にきた。

「子供なんか寄こしおって、同情を買っているんだろーがダメだーダメー！」

「でも頼める大人はいません。本当です。本当なんです。おっぱいが出ないので妹はやせこけています。このままだったら死んでしまいます、お願いします」

私は必死で頼みすがった。足はガタガタとふるえ、防空頭巾の端をにぎりしめ何度も頭を下げた。

横で見えていた刑事が不憫に思っつか、係官に口添えしてくれて、舌打ちした男は乱暴にバンと印を押してくれた。幸子さんは深々と頭を下げ、涙がポロポロと流れて止まらない。列の後ろにいた人が「よかつたネ」と肩をたたいてくれる。感激で、いまにも胸がはちきれそうな瞬間だったことだろう。

沼袋の矢崎薬局に寄って証明書を見せ、粉ミルク一缶、哺乳ビン一本、乳首一個を買って意気揚々と帰宅した。母は目に涙をためて有難うと言ってくれた。

たつぷりとミルクを飲んだ赤ん坊は、満ち足りた顔でスヤスヤと寝ている。でも誰よりも満足したのは私自身であり、子供



1 戦時中のミルク缶

にだってやれば出来るという自信であった。

(『50年を経た少女少女の戦時体験』 中野区江古田小昭和20年卒同期会より)

今では信じられないことだが、粉ミルク一缶は、喉から手の出るような貴重品だったのだ。病身の母にかわって、それを入手しようとした少女のけなげさ、いじらしさが心に迫る。

(早乙女勝元「戦争と子どもたち」より)

1 文章の構成を捉える問題

この文章は幸子さんの過去の回想と、それについての筆者の解説と心情が重層的に描かれています。筆者の感想や心情が述べられた文を二つ抜き出し、それぞれ初めの四字を書きなさい。



文章の構成(できごとの順序)によって、読み手に伝わる印象が変わることを意識して読んでみよう。

例 今では信じられないことだが、粉ミルク一缶は、喉から手の出るような貴重品だったのだ。

↓読み手に、幸子さんの必死の思いが強調される。

2 「足はガタガタと……頭を下げた」という描写から読み取れる幸子さんの心情を、一つ選びなさい。

- ア 恐怖と満足感 イ 不安と必死さ
ウ 動揺と感激 エ 安心とあせり

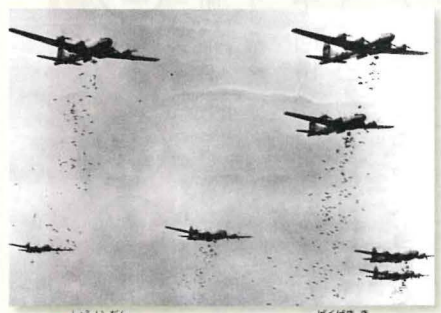
日中戦争以降、日本とアメリカなどの対立は深刻化しました。一九四一年には日本がアメリカに宣戦布告し、太平洋戦争が始まりました。

一九四四年にサイパン島が陥落し、日本本土がアメリカ軍の攻撃範囲内に入ると本格的な空襲が始まり、日本各地が焼け野原となっていました。

本土への空襲

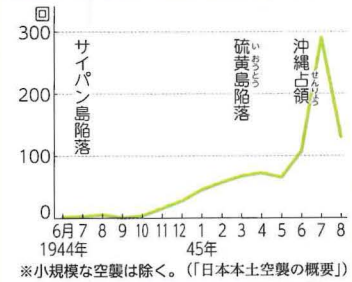


1 東京大空襲の被害（浜町、新大橋方面）



3 焼夷弾を投下するアメリカの爆撃機（B29）

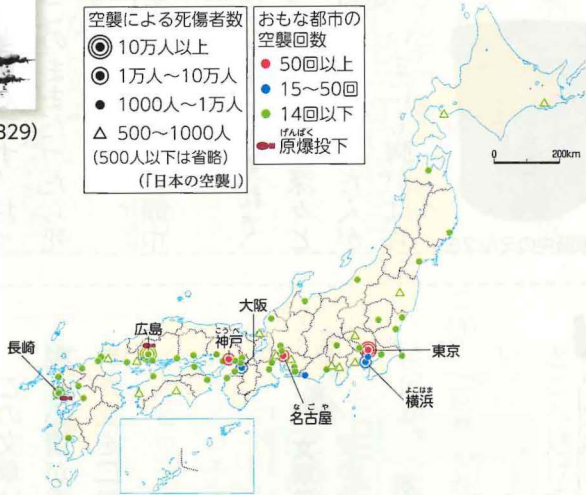
4 空襲回数の推移（1944～45年）



2 空襲を受けた都市

空襲による死傷者数	おもな都市の空襲回数
◎ 10万人以上	● 50回以上
○ 1万人～10万人	● 15～50回
● 1000人～1万人	● 14回以下
△ 500～1000人 (500人以下は省略)	● 原爆投下

〔日本の空襲〕



空襲と疎開

グラフィック資料



デジタル

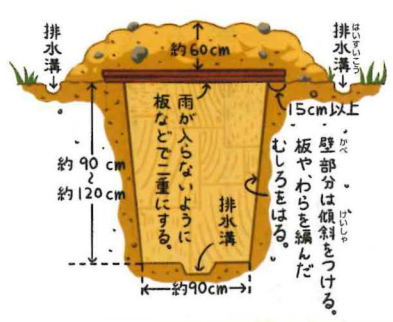
空襲への備え

国民は夜間に光が漏れて攻撃されないように注意し（灯火管制）、空襲に備えて防空壕を自作して、空襲があればそこに避難するようにしました。

火災を起こす「焼夷弾」



10 防空壕の一例
収容人員は5名程度。自宅の庭などに手作りました。



8 灯火管制用電球
先端の部分からしかり光が出ない。

9 電球に覆いを被せて、灯りが漏れないようにした



7 灯火管制を呼びかけるポスター
決めた一燈、敵機を招く煙草の火でも油断大敵





◀ 12 寺の本堂
での授業

勉強

▶ 11 列車で
疎開をする
子供たち



集団疎開

空襲の危険が高い都市部の子供たちは、避難のために地方に疎開をしました。一九四四年には学校ごとに行う集団疎開が始まり、約四十五万人の児童が全国七千か所の旅館、寺院などに疎開しました。

集団疎開中には、学校の授業もありましたが、食糧不足のため疎開児童も農作業を手伝いました。また、栄養不足や不衛生な環境によって感染症なども多く発生し、子供たちにとっては過酷な環境でした。

5時30分	起床（寝具整理・点呼・乾布摩擦・洗面・清掃作業など）
6時30分	朝礼（散歩など）
7時	朝食
8時	登校（登校準備・服装検査）
9時	学科（各教科練成・礼法訓練・各種訓練実施）
11時30分	昼食
13時	実科（各種訓練・勤労奉仕・水泳・魚釣り・武道・農家手伝い・登山）
15時	自由時間（自由行動・洗濯・整理整頓・清掃作業）
17時	夕食（食事作法訓練）
17時30分	入浴（入浴・自習など）
19時30分	就寝（点呼・精神談話・就寝用意など）
20時	消灯

13 疎開地での一日（総務省「まんが子ども太平洋戦争物語」）



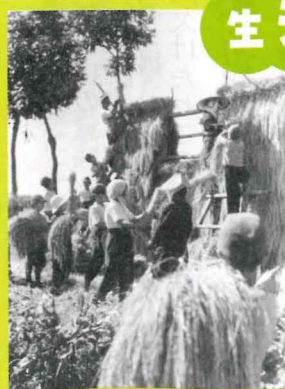
17 夕食に感謝
する子供たち

食事

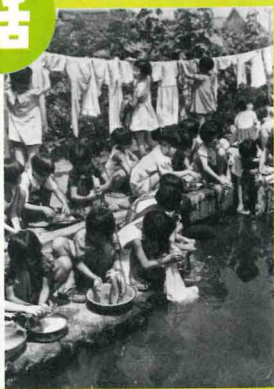
18 疎開先での食事
米の量が足りず、
麦や大豆でかさ
増しをしている。



20 農作業の手伝い



19 自分たちで洗濯をする



生活

疎開児童の描いた絵日記

14 (3年女子)
母との面会日は
「うれしくて何か
話してよいかわ
からないほど
だった」



15 (6年女子)
空襲の時の入る
防空壕を決めた日



16 (5年女子)
終戦後、妹を迎えに行
った姉が見た、壁に無気力
に寄りかかっている子供



知

漢字

3

漢字の多義性

教科書

p.192~193

1 線部の漢字が次の意味で使われている熟語を一つ選びなさい。

(1) 合図

ア 信用

イ 返信

ウ 信号

(2) 広まる

ア 流派

イ 流行

ウ 流出

(3) くつつく

ア 密着

イ 着実

ウ 発着

(4) 責める

ア 弾丸

イ 弾力

ウ 指弾

2 次の——線部の漢字と同じ意味で使われている漢字を含む文を一つ選びなさい。

(1) 逆転のチャンスに代打を出す。

ア 商品の代金を払う。

イ 先代の技を受け継ぐ。

ウ 交代で休みをとる。

エ 現代では使われない道具。

☞「入れかわる、かわる」という意味で使われているものを選びなさい。

(2) 方位を磁石で調べる。

ア 薬を処方する。

イ 東の方角に町がある。

ウ 今後の方策を練る。

エ 方眼紙にグラフをかく。

☞「向き」という意味で使われているものを選びなさい。

3 それぞれの文の下にある()の中の意味を参考にして、

二つの□に共通して入る漢字を書きなさい。

(1) 遺跡を□全な形で保存する。(欠けたところがない)

新しい校舎が□成した。(やりとげる)

(2) できものを□出する。(つまみとる)

まちがいを指□する。(選び出す)

(3) 次の試合は勝□がある。(見込み)

出張の経費を□出する。(数値を出す)

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字、☆は新出音訓

17□	13□	9□	5□	193	1□	192	ページ
根	進	暴	征	一			
扱	呈	露	服	斤			
18□	14□	10□	6□	2□			
原	金	紛	号	要			
稿	融	争	泣	旨			
15□	11□	7□	3□				
襲	石	仲	拝				
撃	碑	裁	啓				
16□	12□	8□	4□				
汚	書	麦	諸				
染	籍	秋	侯				

襲

ころも

22画

音

音

音

音

音

漢 字

知

★

①②は——線の漢字の読みを書き、
③④⑤は漢字に直して書きなさい。

① 葬式を出す。

② 過疎の村。

③ 瞬時に決める。

④ 衝動的な行動。

⑤ 自宅で謹慎する。

⑥ 注意を喚起する。

⑦ 石碑を建てる。

⑧ 土地の隆起。

⑨ 入試の模擬試験。

⑩ 掲示板を見る。

⑪ 核心をつく。

⑫ 事件に戦慄する。

⑬ じゃりを運ぶ。

⑭ 敵にコウフクする。

⑮ すそを折る。

⑯ 時代サクゴの考え。

⑰ つばをはく。

⑱ グンカンの模型。

⑲ コウキ心が強い。

⑳ 話がはずむ。

㉑ キオク力がいい。

㉒ グウゼンが続く。

㉓ タンカで運ぶ。

㉔ 弱音をばく。

㉕ ゲンソウ的な絵。

㉖ 回答のウム。

㉗ レンアイに夢中だ。

㉘ 木の葉がゆれる。

㉙ 文章のヨウシ。

㉚ 海外にエンセイする。

㉛ けんかのチュウサイ。

㉜ 不正のバクロ。

㉝ フンソウが起こる。

㉞ 選手がイセキする。

㉟ 自著をシンテイする。

㊱ 銀行ユウシを受ける。

㊲ センリョウでそめる。

㊳ コンキョを示す。

㊴ ゲンコウ用紙に書く。

㊵ サドウの作法。

㊶ テイボウを築く。

㊷ 寒さがカンワする。

㊸ タイテイは理解した。

㊹ 味方をオウエンする。

㊺ カヘイを数える。

㊻ 肉をハンバイする。

㊼ 胃をセンジヨウする。

㊽ ゲシを過ぎる。

㊾ 栄養をセツシユする。

㊿ 兄はゴマンエツだ。

語 句

知

1

漢字が多義性 192~193 ——線部の漢字が次の意味で使われている熟語を、一つずつ選びなさい。

① わける

ア 解決 イ 解答 ウ 解散

② のびる

ア 発見 イ 発達 ウ 発射

2 次の——線部の語句の意味を、一つずつ選びなさい。

① 178 兄は時々大人ぶる。

ア 人と全く違っている様子

イ 相手をばかにする様子

ウ そのようにふるまう様子

② 184 長い年月を隔て、再会した。

ア ずっと留守にすること

イ 時間的に距離を置くこと

ウ 間に遮る物を置くこと

3 179 ——線部の語句を使った文と

□ して適切なものを、一つ選びなさい。

ア 家を出たとたんに雨になった。

イ 大声で泣いたとたんに泣いた。

ウ 弟は自転車にとたんに乗った。

說明的文章

注目ポイントはココ！

教科書の文章で確かめて

□に入る言葉を抜き出そう

事実とは誰もが認める情報のこと。推論とは、様々な事実（事例）をもとに推し量って論じることだよ。



①オルカやイルカは決して、ただ餌えさを欲しいがために本能的に芸をしているのではない、ということである。(2011)

②だからこそ彼らは、我々人類よりはるか以前から、あの大きな体でこの地球に生きながらえてきたのだ。

③ 毎晩倉庫にやってきた象は、たぶん亡くなった象の肉親だったのだろう。(204 10)

② だからこそ

【事実や確信をもった主張、結論づける表現】

③ たぶん ③

【筆者の推論がわかる表現】

注目ポイントはココ！

1 問いを捉える

2 事例（根拠）を捉える

3 推論を捉える

4 答え (筆者の主張) を捉える

（知性において、）人との二種（鯨くじらと象）とは何か、が決定的に違っている。（200 12）

・オルカが見せてくれる「芸」のほとんどは、実は人間がオルカに強制的に教えこんだものではない。(201 16)

・鯨や象が高度な「知性」をもっていることは、たぶんまちがいない事実だ。(204 18)

人の知性と鯨と象の知性の違いは何か。

オルカの「 」について。

〈推論による答え〉鯨や象は高度な「知性」をもっている。

主張

読解ガイド④

ガイアの知性

学ぶ力

あとの單元でも役立つ、
読み方のポイントを学ぼう！



デジタル

3 □ 異口同音 201 ⑪	2 □ 示唆 200 ②	1 □ 畏敬 198 ⑥
意味	意味	意味
文例 目撃者は異口同音に証言した。	文例 ある可能性を示唆する。	文例 師に畏敬の念を抱く。

知

語句

1 意味調べ

17 □ 雌イルク	13 □ 202 制御	9 □ 捕らえる	5 □ 寿命	ページ 1 □ 198 鯨(訓読み)
18 □ 205 攻撃	14 □ 猛スピード	10 □ 餌(訓読み)	6 □ 知恵	2 □ 撮影
御 ぎょうにんべん 12画 イイイイイイイイイイイイ御	15 □ 選	11 □ 状	7 □ 素直	3 □ 畏敬
16 □ 203 過酷	12 □ 状況の	8 □ 201 偏る	4 □ 200 示唆	

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字、☆は新出言訓

教科書 p.196~207

目標 具体例から推論を導く展開に着目し、筆者の主張を捉えよう

デジタル

龍村 仁

- 2 1 の意味調べの言葉を () に入れ、文を完成させよう
- (1) 私は先生の話の意味をすぐに () した。
- (2) 子どもは新しい環境に () するのが早い。
- (3) 今日の話は、たいへん () に富むものだった。
- (4) 我がチームは最後の最後まで果敢に () した。
- 3 「2 示唆」を使って短文を作ろう

11 □ 適応 205 ⑦	10 □ 受容 205 ⑤	9 □ 陥れる 205 ④	8 □ 攻撃 205 ③	7 □ はたと 203 ⑫	6 □ 了解 203 ⑩	5 □ 過酷 203 ①	4 □ 注意を払う 202 ⑧
意味	意味	文脈 文章中ではどちらの意味ですか。 ア ひどい状態に落とす。 イ 城などを攻め落とす。	意味	文脈 文章中ではどちらの意味ですか。 ア 唐突に物などを打つ様子。 イ 状況などが急に変わる様子。	意味	意味	意味
		対義語を書こう	対義語を書こう	対義語を書こう	文例 先生の了解を得る。	文例 過酷な仕事が続いた。	文例 注意を払って自転車を止める。

まず

主張と推論の関係を捉えよう

鯨と象と人は地球上で最も高度に進化した

「をもった存在。だが、

人その他の二種とは何かが違ふ。

根拠

事例1…「
」
を
する
オルカ／事例2…人間に発

音を教えるイルカ／事例3…肉親の歯を見分ける象

推論

④ 事実だ。

主張

する必要がある。

の知性」に進化

ちよつと
解説

文末表現や接続表現に着目して、
筆者の考えや主張を読み取ろう！

読解 1
順番に読み取ろう

文章の構成とその内容を捉えよう

【A】「序論（問い）」を読み取ろう

「人間に対する興味から、私も鯨や象に興味を抱くようになった」(1989)とあるが、鯨や象は、筆者にとって「興味」の対象からどのような存在に変化したか。□に入る言葉を抜き出しなさい。

●興味の対象↓
を抱く対象↓重大な示唆を

与えてくれる存在

💡「そして」(198⑨)や「今では」(200②)という部分に注目しよう。



1 象の親子

目標

2 「この三種は、地球上で最も高度に進化した『知性』をもった存在だ」(200⑥)について、

□(1) 筆者がこうに考える根拠となるものを、**十五字**で抜き出さない。

□ (2) 筆者は、「知性」をもったこの「三種」についてどのような

考えをもっているか。次の文の□に入る言葉を**十二**字で抜き出さない。

●人その他の二種は似ているが、

という考え。

【B】「本論（具体例）」を読み取ろう

1 「この『常識』(201④)とは、どんなことか。一つ選りなさい。

ア 人の「知性」は、より大きな知性の一面の現れであること。

イ 鯨や象は、人に匹敵する「知性」をもった存在であること。

ウ 鯨や象が、人と対等の「知性」をもった存在とは思えないこと。

工
オルカやイルカは餌が欲しくて芸をしているのではないこと

2 「鯨や象は、人の『知性』とは全く別種の『知性』をもっている

るのではないか」(2015)とあるが、この考えにつながる例として筆者が紹介している三つの事例について、

- 💡
P. 203
⑮
P. 204
⑮
から読み取ろう。

- 地球に生きながらえてきた知性

- 「知性。」の形で書く。

28

思

読解

2

全体を
捉えよう

①～⑥に入る言葉を抜き出そう

思

読解

3

深めよう

自分の考えをまとめよう

序論・問い	本論・三つの事例	結論・筆者の主張と推論
<p>鯨や象と人はほぼ対等の①</p> <p>上で高度に進化した「知性」をもった存在。人との違いは？</p> <p>活動ができる、地球</p>	<p>知性・人間Ⅱ科学技術を進歩させる能力</p> <p>事例1…水族館のオルカやイルカ②</p> <p>の「知性」</p> <p>自らの③と選択で④「をする。」</p> <p>事例2…フロリダのイルカ</p> <p>人間に何かを教えようとする。</p> <p>事例3…ケニアの象</p> <p>肉親の歯を見分け、元の場所に戻す。</p> <p>根 拠</p>	<p>知性</p> <p>・人間Ⅱ攻撃的↓自然を⑤</p> <p>・鯨や象Ⅱ受容的↓自然に⑥</p> <p>人類は真の意味の「ガイアの知性」に進化する必要がある。</p>

全体を
読めたかな？

この文章の内容と合うものに○を、
合わないものに×を書こう

(1) () (2) ()

- (1) 鯨や象は、人間とは別の種類の「知性」をもっている。
- (2) 鯨や象の知性は、人間の知性より早く進化していった。

思

1

「片面だけの『知性』を異常に進歩させてしまった我々人類」(205 10)とあるが、どのような知性を進歩させてしまったのか。次の文の①②③に入る言葉を抜き出さない。

①

を進歩させて、自分たちだけの

②

のために自然を

③

し、支配しようとする知性。

2

筆者が、人類は「真の意味の『ガイアの知性』に進化する必要がある」(205 12)と述べていることについて、あなたはどうか。理由も含めて、自分の考えを六十文字以内で書きなさい。

48


✎ 筆者の考えに対する賛否を明らかにしてから理由を書こう。

① 水族館でオルカが見せてくれる「芸」のほとんどは、実は人間がオルカに「A」的に教えこんだものではない。オルカのほう人間が求めていることを正確に理解し、自分のもっている高度な能力を、^①か弱い人間（調教師）のレベルに合わせて制御し、調整をしながら使っているからこそ可能になる「芸」なのだ。

② 例えば、身長七メートルもある巨大なオルカが、狭いプールでちっぽけな人間を背ビレにつかまらせたまま猛スピードで泳ぎ、プールの端にくると、合図もないのに自ら細心の注意を払って人間が落ちないようにスピードを落とし、そのまま人間をプールサイドに立たせてやる。また、水中から、直立姿勢の人間を自分の鼻先に立たせたまま上昇し、その人間を空中に放り出す際には、その人間が決してプールサイドのコンクリートの上に投げ出されず、再び水中の安全な場所に落下するよう、スピード・高さ・方向などを三次元レベルで調整する。こんなことがはたして、ムチと鮎あめによる人間の強制だけでできるだろうか。

B オルカは水中で生活している七メートルの巨体の持ち主なのだ。

③ そこには、人間の強制ではなく、明らかに、オルカ自身の意志と選択がはたらいっている。狭いプールに閉じこめられ、本来もっている高度な能力の何万分の一も使えない過酷な状況におかれながらも、自分が「友」として受け入れることを決意した人間を喜ばせ、そして自分自身も生きることを楽しむオルカの「心」があるからこそできることなのだ。



□(1) 文章中の **A** に入る言葉を二字で抜き出しなさい。

(2) 「^①弱い人間（調教師）のレベルに合わせて制御し、調整をし

□Ⅰ オルカにとっての「か弱い人間（調教師）」を指すものとして使われている言葉を一字で抜き出さない。

□Ⅱ オルカは具体的には何を「調整」するのか。十字で抜き出し
初めの五字を書きなさい。

□ (3) 文章中の **B** に入る言葉を一つ選びなさい。

ア しかし
イ ただし
ウ まして
エ もつとも

□(4) 「人間を喜ばせ、そして自分自身も生きることを楽しむオルカの『心』」を別の言葉に言いかえた言葉を、**十一**字で抜き出しなさい。

↗ p.111 **B** 2 (1)

□ (5) この文章のそれぞれの段落内容を示したものを一つ選びなさい。

ア

- ①筆者の仮説
- ②具体的な事例
- ③筆者の主張

イ ①筆者の主張 ②具体的な事例 ③筆者の主張

ウ

- ①具体的な事例
- ②筆者の主張
- ③筆者の仮説

工

①筆者の主張

②筆者の仮説

③具体的な事例

[illegible]

思

別の文章でたしかめよう

つながる読解

話題

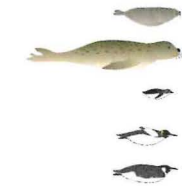
① ペンギンとアザラシの泳ぎかたをくらべているうちに、もうひとつ不思議なことに気がついた。それは泳ぐ速さと体の大きさの関係だ。体重12キログラムのキングペンギンは時速76キロメートルで泳いでいた。いっぽう、体重330キログラムのウエッデルアザラシは、時速54キロメートルで泳いでいた。ヒトの場合、体の大きな大人は小さい子どもより速く歩く。だから、体の大きなアザラシのほうが当然速く泳いでいると思っていたのに、小さなペンギンのほうがやや速く泳いでいることになる。

② そこで、ほかの種類のペンギンとアザラシから、水面とエサがある深さを往復するときの記録を集めてみたところ、下の表のようになった。

③ どうやら、体が大きいからといってかならずしも速く泳ぐわけではない。そのことを確かめるため、もっと大型の動物からデータがほしい。そこで、マッコウクジラのエキスパートをお願いしてとってきてもらうことにした。

	体重(kg)	時速(km/h)
バイカルアザラシ	70	4.0
ウエッデルアザラシ	330	5.4
コガタペンギン	1	6.5
キングペンギン	12	7.6
エンペラーペンギン	25	7.9

④ 人間をひと飲みにできそうなほど大きなマッコウクジラの場合、いったいどれほど深く潜り、どのくらいの速さで泳いでいるのだろうか。



⑤ 共同研究者の青木^{あおき}かがりさんに小笠原^{おがさわら}でクジラのデータをとってきてもらった。クジラにつける装置には吸盤がついていて、長い棒をつかって背中にくっつける。しばらくして装置がク

の量は体重に比例していることがわかっていて、体重が倍になれば、ためられる酸素も倍になる。いっぽう、体重が大きいほど多くの酸素が必要となる。しかし、体重が倍になっても酸素をつかう速さはそこまではふえない。だから、体の大きな動物のほうが長い時間息をとめることができる。実際にこれまで集められた記録でも、大型の動物ほど長く深く潜っているようだ。(中略)

検証

① 私と仲間たちで世界中の海をめぐり、さまざまな哺乳類や鳥類に記録計をとりつけてきた。クジラの中でも最大となる体重90トンのシロナガスクジラから、体重500グラムのウトウという海鳥まで、いろいろな動物の泳ぐ速さをくらべてみた。すると、これだけ体の大きさが異なるのに、呼吸をする水面とエサがある深さを往復するときの泳ぐ速さは時速40から80キロメートルのせいまい範囲におさまっていることがわかった。

検証の結果

② 動物たちは毎日エサをとるために潜水をくりかえしている。彼らにとって大切なことは、できるだけ速く泳ぐことではなく、一番楽に移動することだ。

筆者の主張

③ もしも、全速力で泳いでしまうと、私たちが全力疾走したあとに息ぎれするのと同じように、せっかくエサ場にたどりついたのに、息苦しくなってしまう、すぐに水面に引きかえさなければならぬ。逆にゆっくり泳ぐと、エサ場まで到達するのにかかる時間がかりすぎ、帰りに要する時間を考えるとエサのいる深さに長時間とどまることができない。速からず遅からず、一番よい速度があるはずだ。それが時速40から80キロメートルだったのだ。

(佐藤克文「動物たちが教えてくれる 海の中のくらしかた」より 一部変更)

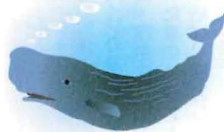
* ①③は段落番号を示す。

ジラから自動的に外れて水面に浮かんだあと、装置につけられた発信器の電波をたよりに、広い海から探しだす。

⑥ 回収した装置には、クジラの動きがくわしく記録されている。マッコウクジラは、1000メートル以上の深さまで潜っていた。呼吸する水面と深度1000メートルのあいだを移動するときの泳ぐ速さは、時速58キロメートルだった。体重10トンのクジラはペンギンやアザラシよりもはるかに大きいから、もっと速く泳ぐと思っていたのに……。

⑦ 深度1000メートル付近でクジラはグニャグニャとまがりくねって泳ぎ、時々時速25キロメートル近くまで加速していた。速くこいだ自転車くらいのスピードだ。おそらくそこで動きの速いエサをつかまえているのだろう。

⑧ マッコウクジラの潜りかたは、同じ哺乳類のアザラシのやりかたによく似ていた。潜っていくときは尾ビレをずっと動かしつづけ、浮上するときは時々尾ビレの動きをとめて勢いだけで進んでいた。しかし、別の個体は潜るときに時々尾ビレの動きをとめて、浮上するときにずっと尾ビレを動かしていた。アザラシのときと同じように、個体によって脂肪の量が異なるようだ。



⑨ クジラとアザラシの潜水で大きく異なるのは潜る深さと長さだ。マッコウクジラはどの個体も40分かけて深度1000メートル近くまで潜っていた。泳ぐ速さがアザラシとあまりかわらないのに深く潜るということは、それだけ長い時間息をこらえていられるということだ。

⑩ これまでの研究によって、動物が体の中にたくわえられる酸素

1 主張につながる推論を捉える問題

★「泳ぐ速さと体の大きさの関係」について、

□(1) 筆者はどんな推論をたてたか。一文で抜き出し、初めの十字を書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(2) いろいろな動物の泳ぐ速さをくらべた結果、筆者はどのようなことがわかったか。その答えを一文で抜き出し、初めの五字を書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(3) (2)のことを根拠に、筆者はどんな主張をしているか。□に入る言葉を文章中から十字で抜き出しなさい。

●エサをとるために潜水をする動物にとつては、速く泳ぐことではなく、□が大切であるということ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



推論とは、ある事実をもとに未知の事柄をおしはかること。本文では推論を検証し、その結果を、推論を裏づける根拠にしている。

話題…動物たちの泳ぐ速さと体の大きさの関係

推論…体の大きさ(重さ)と泳ぐ速さはあまり関係がない。

検証…いろいろな動物の泳ぐ速さを比べる。

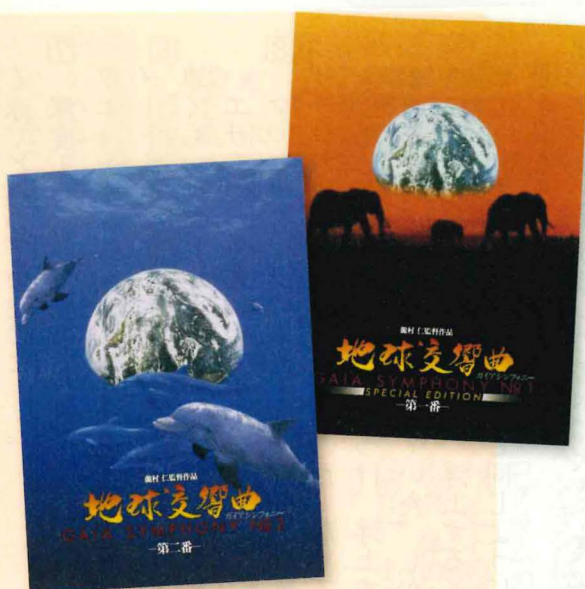
↓泳ぐ速さは時速4.0〜8.0キロメートルのせいまい範囲であった。

主張…動物たちにとって大切なことは、速く泳ぐことではなく、一番楽に移動することだ。



デジタル

地球交響曲

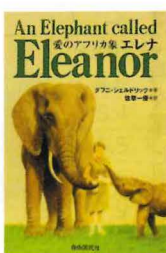


映画『地球交響曲（ガイアシンフォニー）』は、イギリスの生物物理学者ジームズ・ラブロック博士が提唱した「地球はそれ自体がひとつの生命体である」というガイア理論を基に、龍村仁が監督したドキュメンタリー映画シリーズである。第一番から第九番まで作られた。

ダフニー・シェルドリックの考え方

ダフニー・シェルドリックは、象たちは人間のようには愛するものを失うことに心を痛め、友情や豊かな愛情を注ぎ合うことができる動物であると考えていた。

『愛のアフリカ象 エレナ』（佐草一優訳・自由国民社）は、母を殺された象のエレナと深い信頼関係を結び、協力し合って野生動物を守る様子を描いている。



ダフニー・シェルドリック

（一九三四～二〇一八）

ケニアのツァボ国立公園で、野生動物の保護を行った女性。象牙密猟者に親を殺された象の赤ちゃんを育て、野生に返す活動を長年続けた。『地球交響曲 第一番』に登場する。



ダフニーと象のエレナ。



エレナを呼ぶ
ダフニー・シェルドリック。

ジャック・マイヨールの考え方

ジャック・マイヨールは、イルカは高度な知性を持ちながら自然と調和して生きており、その姿から学ぶことによって、人類も自然と調和する道を知ることができると考えていた。



海に潜るジャック。
フリーダイビングにヨガや瞑想を取り入れていた。



イルカとともに泳ぐジャック。
イルカから潜水方法を学んだという。



ジャック・マイヨール

（一九二七～二〇〇二）

フランスのフリーダイバー。一九七六年、素潜りで水深百メートルを超えるという驚異的な記録を樹立した。イルカに学び、イルカと共存することを訴えた。『地球交響曲 第二番』に登場している。

思



確かな根拠をもとに意見文を書く

教科書
p.209~21

p.209~211

1 題材 多様な考え方が問題について題材（テーマ）を決め、根拠となる材料を整理する。

2 構成

文章の構成を考える。

問題を①
、反論、根拠、考えや②
な

—本論①—本論②—結論の四段落で構成する。

3 考えの形成・記述

適切な根拠を考えて、意見文を書く。

④

を記述する。

⑤

や ⑥

を加えながら、反論を書

 \angle

いろいろな視点から検討をした文章になるよう意識しよう。



4 推敲
反論の効果を考慮して推敲する。

5 共有 読み手の助言を踏まえて、自分の文章を振り返る。

4

1 次の文章は、大野さんの「学校の図書館に漫画本は必要か」についての意見文である。これについて、あとの問いに答えなさい。

学校の図書館に漫画本は必要か

図書館に置いてほしい本のアンケートを取ったところ、漫画本の希望が多数あった。学校の図書館に漫画本は必要だろうか。確かに、漫画本に関しては個人で購入すればよいと考える人もいるだろう。しかし、私は図書館に必要だと考える。

なぜなら、漫画本を置くことで、今まで図書館にあまり縁のなかった生徒が図書館で本を借りるようになり、図書館に対して親しみがわく効果が期待できるからだ。また、頻繁に図書館を訪れることで、もともとある蔵書に対する興味もわいてくるのではないかと考える。

以上のことから、私は本校の図書館に漫画本が必要だと考
える。

● には、根拠にあたる内容が入る。「さらに、……」の形で七十字以内で書きなさい。

56

しつかり解説
課題作文の書き方

原稿用紙の使い方は、
しおりを参考にしよう。

自分の考えを述べる作文を書くときは、次のようなことに注意しよう。

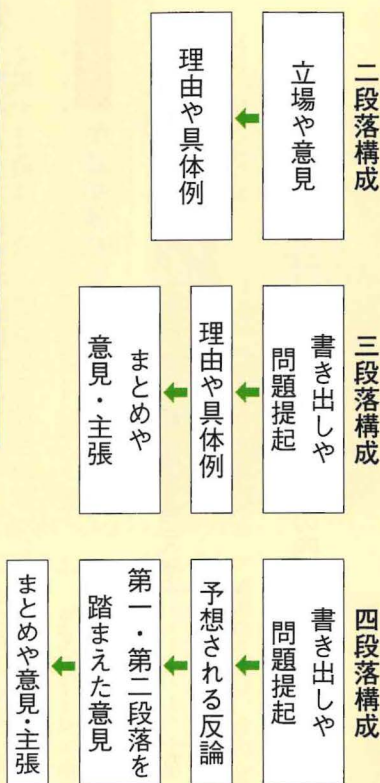
1 何について、どんなことを述べるのか考える

- 自分の考えをしっかりと述べるために、あえて異なる考えをとりあげ、自分の考えの利点を強調することで、より説得力のある文章が書ける。

2 作文の構成を考える

- 問題文に段落構成の指示がある場合は、それに従う
- 問題文に段落構成の指示がない場合は、書く内容をおおまかに分け、自分で構成を決める。

《段落構成の例》



3 適切な文頭・文末の表現を使う

例 理由を述べる：「なぜなら、
くからです。」

具体例を述べる：「例えば、
くということがありました。」

反対の論を述べる：「しかし、
ゝという考えもあります。」

練習問題

練習問題 「授業中に水分を取ってよいか」についてのあなたの考えを、次の《条件》に従って作文に書きなさい。

《条件》 1 百二十字以上、百六十字以内で書くこと。

2 **四段落構成**とし、それぞれ次の内容を書くこと。

第一段落：問題提起。

第二段落：予想される反論と主張。

第三段落：理由を具体的に書く。**例** なぜなら、～からだ。

第四段落：自分の考えをまとめる。**例** だから私は、～と思う。

3 題名や名前は書かず、一行目から本文を書くこと。

4 原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと。

漢 字

知

★

①～⑫は——線の漢字の読みを書き、
⑬～⑮は漢字に直して書きなさい。

① □196 得意な料理。

② □197 正確な時刻。

③ □200 知恵をしぼる。

④ □201 鳥に餌をやる。

⑤ □ 状況を調べる。

⑥ □ 法の下の平等。

⑦ □202 中国史の猛将。

⑧ □ 用紙を選択する。

⑨ □203 作品を酷評する。

⑩ □ 雌の犬を飼う。

⑪ □214 旅行の日程。

⑫ □220 力を発揮する。

⑬ □196 意見をのべる。

⑭ □ 仲間をみちびく。

⑮ □198 海でくじらを見る。

⑯ □ 映画をサツエイする。

⑰ □ イケイの念を表す。

⑱ □200 シサに富む話。

⑲ □ ジュミヨウが縮む。

⑳ □ スなおに育つ。

㉑ □201 左右のかたより。

㉒ □ 犯人をとらえる。

㉓ □202 動きをセイギョする。

㉔ □205 歴史をセンコウする。

㉕ □206 ダンセイ用の服。

㉖ □ ゴクの意味。

㉗ □207 正しいチシキ。

㉘ □208 タイドがよい。

㉙ □ 野鳥のホゴ。

㉚ □ ドクリツした国。

㉛ □ 隅によせる。

㉜ □ チノウの発達。

㉝ □209 ソウゾウ上の生物。

㉞ □ テキセツな答え。

㉟ □ ヒジヨウロを開く。

㊱ □210 宝物をさがす。

㊲ □ 文章の段落コウセイ。

㊳ □ 薬のコウカが表れる。

㊴ □ サイゼンをつくす。

㊵ □ 自然のサイガイ。

㊶ □211 家をセツケイする。

㊷ □ わたくしが参ります。

㊸ □212 ハンケツを下す。

㊹ □ キソクを守る。

㊺ □213 旅行のジュンビ。

㊻ □ コウコクを出す。

㊼ □ ケンリの主張。

㊽ □ 服をホシユウする。

㊾ □ ショクイン室に入る。

㊿ □ 本日がぎり。

語 句

知

1 次の——線部の語句の意味を、
一つずつ選びなさい。

□(1) 202 周囲に注意を払う。

ア 手回しをする

イ 気を配る

ウ 理解する

□(2) 205 人々を恐怖に陥れる。

ア 裏でそのかす

イ かくれてわなを作る

ウ だまして苦境に追いやる

2 205 次の——線部の語句と反対の

意味の語句を、一つ選びなさい。

多様な文化を受容する。

ア 排他 はいた イ 享受

ウ 心酔

3 ——線部の語句を使った文として適切なものを、一つずつ選びなさい。

□(1) 201

ア あるいは急に走り出した。

イ あるいは間違いかもしれない。

ウ 雨がふり、あるいは中止だ。

□(2) 205

ア 音楽はいわば大好きだ。

イ いわば十年ぶりに会いたい。

ウ 彼らはいわば兄弟のようだ。



教科書 p.226~234

8 学ぶ力

考えと向き合う

目標 「学ぶ力」について、筆者の主張と事実との関係を捉えよう

内田 樹

知 漢字 漢字の右に読みを書こう

ページ 1 □ 229 5 □ 231

師匠 墨の跡

232 2 □ 維持 3 □ 塞 4 □ 230

優劣

匠 はこがまえ 6画

一 ア ア 匠 匠

かこがまえは最後

★は新出漢字

知 語句 1 意味調べ

6 □ もちろん 231 7 意味	5 □ ……においてのみ 230 8 意味	4 □ 微細 230 6 意味	3 □ 有用 229 9 意味	2 □ きわだつ 229 8 意味	1 □ 学力 228 1 意味
文例 もちろん参加するよ。	文例 この点においてのみ賛成だ。	類義語を書こう	対義語を書こう	文例 この宝飾品はきわだつて美しい。	文例 友人と学力を競い合う。

解く前に、すらすら読解ガイド④ (P.108)でポイントを復習!

まず ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

話題を捉えよう

問い 一つ目の問い 二つ目の問い

答え 筆者が考える「学ぶ力」はどんなものなのか、探つていこう!

条件は?

「とほはるか」という表現で問題提起して事例をあげる述べ方に着目し、筆者が提起している問題を捉えよう。

授業中の様子

8 □ まなざし 232 6 意味	7 □ ただし 231 8 意味
文例 熱いまなざしで見つめる。	文例 全品半額、ただし一人一点のみ。

- 2 ①の意味調べの言葉を()に入れ、文を完成させよう
- (1) 警察官は、()な点まで念入りに調査した。
- (2) 防災課は、津波対策に()な資料を集めた。
- 3 「3有用」を使って短文を作ろう

読解
1
順番に
読み取ろう

文章の構成とその内容を捉えよう

目標

1 「学力」(228⑤)について、

□ (1) 一般に考えられる「学力」の意味を**五字**で抜き出しなさい。

□(2) 筆者が「学力」を言いかえて表現した言葉を三つ、①三字と

②四字と③九字で抜き出しなさい。

□ 2 筆者が「消化力」(229③)を例にあげたのは、どのようなことを述べるためか。次の□①～③に入る言葉を抜き出しなさい。

●「学ぶ力」は、「消化力」と同様に、
 ① 
 とではなく、

② と比べてその時間的変化を問題にするべき個人的なものであり、そのような性質をもつ力は

③ 必要な「力」なのだということを述べるため。

8 ために本当に

目標

【B】「本論（『学ぶ力』が伸びる条件）」を読み取ろう

1 「学ぶ力」(230⑧)が伸びる二つの条件をまとめた次の表の□①

③に入る言葉を抜き出さない。

第一の条件	第二の条件	第三の条件
自分の ^① <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> を自覚すること。	「 ^② <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div> 」を自ら見つけようとする。	教えてくれる人を「 ^③ <div style="border: 1px solid black; height: 180px; width: 100%;"></div> 」にさ

2 「師（先生）」
230 (17) について、

□ (1) 筆者の考えとして適切でないものを一つ選びなさい。

ア 学校の先生である必要はなく、会ったことのある人で、アンテナの感度がよい人であれば「師」としてふさわしい。

イ 会ったことのない人でも「師」になることは可能であり、書物の中の人や、言葉の通じない人、亡く^ななった人でもよい。

ウ 「何か光るもの」がある人を、瞬間的に「師」としてもよい。

エ 日々の生活の中で注意して探せば、どこにでも「師」を見つけることができる。

□(2) 「師（先生）」とはどのような人だと筆者は考えているか。それをまとめた次の文の□□に入る言葉を抜き出しなさい。

●学ぶ側に対して、

7

がある人。

□ 3 「入門」をめぐるエピソード(231⑬)に共通する点をまとめた次の文の□①・②に入る言葉を抜き出さない。

文の□①・②に入る言葉を抜き出さない。

●弟子の□①と、

師を見上げる□②が

師の心を変え、入門を許される点。

□ 4 谷^{たに}さんは、「同じ本を読んでも、教えてもらえる人と、もらえない人がいるのです」(232⑬)について、教えてもらえる人の心がまえについて発表することになった。どのような師かを明らかにして、谷さんの発言を書きなさい。



💡教科書P.232⑩～⑬から、弟子としての心がまえと本における師について捉えよう。

【C】「結論(筆者の主張)」を捉えよう

1 「私は学びたいのです。先生、どうか教えてください。」(233①)について、

□ (1) 前ページB1第一～第三の条件に対応する部分を一つずつ選びなさい。

第二() 第二() 第三()

●私は学びたいのです。先生、どうか教えてください。

□ (2) この言葉を口に出せる人はどういう人だと筆者は考えているか。六字で抜き出さない。

□ 2 「学力低下」という事態の本質(233⑩)とあるが、どういうことか。あとの言葉に続く形で、六十字以内で書きなさい。

書くヒント💡 — 線の内容を使って答えを作ろう！

内容 「学力低下」という事態の本質をP.233⑦～⑪から探す。

↓「先生、教えてください。」と言うと損をした気分になるし、借りができるみたいで嫌だと思っ。

答え方 「自分」は「プライドが高い」、「気骨がある」と思っている。「～と思う姿勢のこと。」に続く形にする。

と思う姿勢のこと。

文法 3

付属語のいろいろ



デジタル

教科書

p.239,
p.301~305

1 付属語

単独では文節をつくれない単語。

2 付属語の種類

(1) 助詞：活用のない付属語。さまざまな意味をつけ加えたり、

語句と語句の関係を示したりする。

① 格助詞：主に体言につき、あとの語句との関係を示す。

主な格助詞：が・を・に・と・へ・から・より・で・や・の

例・木を切る。 対象

・赤と青を混ぜる。 並立

・東へ進む。 方向

・雨で遅れる。 原因・理由

・豆から作る。 原料・材料

・私の好きな歌。 主語

② 接続助詞：主に用言や助動詞につき、前後の関係を示す。

例・暗いので怖い。 確定の順接

・見たが、わからない。 確定の逆接

・聞きながらメモを取る。 同時

・水を飲んでみる。 補助の関係

・行けばわかる。 仮定の順接

・雨になっても、行く。 仮定の逆接

③ 副助詞：いろいろな語句につき、さまざまな意味をつけ加える。

例・彼こそ主役だ。 強調

・三日くらい過ぎた。 程度

・お茶でも飲もう。 軽い例示

・犬も猫も好き。 並立

④ 終助詞：文や文節の終わりにつき、話し手(書き手)の気持ちを示す。

例・彼は来るだろうか。 疑問

・約束だぞ。 念押し

・しやべるな。 禁止

・知っていたさ。 強調・断定

確認しよう

1 助詞 次の各文の——線部の助詞の種類をあとから一つずつ選

びなさい。

□ (1) 私も行きたいな。

□ (2) 少しだけ時間がある。

□ (3) 名古屋へ行く。

□ (4) 走ると疲れる。

ア 格助詞 イ 接続助詞 ウ 副助詞 エ 終助詞

2 接続助詞の表す意味 次の各文の——線部の接続助詞が表す意

味をあとから一つずつ選びなさい。

□ (1) のどがかわいたので、水を飲む。

□ (2) 寒いのに外に出た。

□ (3) たとえ年月が過ぎても、忘れないだろう。

ア 確定の順接 イ 確定の逆接 ウ 同時

エ 補助の関係 オ 仮定の順接 カ 仮定の逆接

3 副助詞の表す意味 次の各文の——線部の副助詞が表す意味を

あとから一つずつ選びなさい。

□ (1) 三つほど余った。

□ (2) 傘さえあれば大丈夫だ。

□ (3) バスも電車もない。

ア 限定 イ 他を類推 ウ 程度

エ 並立 オ 直後

(2)

助動詞…活用のある付属語。

さまざまな意味をつけ加えたり、話し手（書き手）の判断や気持ちを表したりする。

●主な助動詞

受身 可能 尊敬	打ち消し	希望	意志 勧誘 推量	過去 完了 存続	丁寧	推定	推定 比喩 例示	打ち消しの意志 打ち消しの推量	断定
他のものに何かをされる。 そうすることができ。 自然にそうなる。 動作をする人を敬う。	他のものにそうさせる。	話し手・書き手の希望。 話し手・書き手以外の希望。	積極的な気持ちを表す。 一緒にしようと誘う。 想像・予想する。	もう過ぎ去ったことを表す。 動作が今終わったことを表す。 「〜ている（ある）」の意味。	動作を丁寧に言う。 根拠に基づき推し測る。	根拠のある推測。 他のものにたとえる。 例をあげて示す。	これからそうしない。 これからそうならないだろう。	はつきりこうだと言い切る。 「だ」を丁寧に言う。	
例 友人に助けられる。 例 生のままでも食べられる。 例 故郷が懐かしく思われる。 例 先生が来られる。	例 妹に手伝わせる。 例 傘を持ってこさせる。	例 私は本を読みたい。 例 弟はテレビを見たがる。	例 絶対に勝とうと思う。 例 さあ、遊びに行こう。 例 きつとみんな待っていろ。	例 夏休みは先週終わった。 例 たった今帰ってきた。 例 かべにかかった絵を見る。	例 今から発表します。	例 予報では雨らしい。	例 明日は晴れるようだ。 例 海のような広い心をもつ。 例 父のような人になりたい。	例 二度とするまいと誓う。 例 彼女もきっと知るまい。	例 私は中学生だ。 例 あれは図書館です。

4

れる・られる

次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあとから一つずつ選びなさい。

- (1) 先生が黒板に文字を書かれる。
□ (2) 相手チームに点を入れられる。
□ (3) 弟はどこでも寝られる。
□ (4) 昔のことが思い出される。

ア 受身 イ 可能 ウ 自発 エ 尊敬

💡 「自然に」を補ってつなげれば自発。

5

ようだ・ようです

次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあとから一つずつ選びなさい。

- (1) 私も母のような絵を描きたい。
□ (2) 彼の身に起こったことは、映画のような話だ。
□ (3) 大会は延期になったようです。

ア 推定 イ 比喩 ウ 例示

💡 「どうやら・どうもを入れられる→推定
「まるで・ちょうど」を入れられる→比喩
「例えば」を入れられる→例示

6

助動詞の表す意味

次の各文の——線部の助動詞が表す意味をあとから一つずつ選びなさい。

- (1) 買い物に行かせる。
□ (2) 今は五月だ。
□ (3) 明日は早起きしよう。
□ (4) サッカーが上手になりたい。

ア 意志 イ 使役 ウ 希望 エ 断定

漢 字

知

ページ

① ②は——線の漢字の読みを書き、
⑬ ⑤⑩は漢字に直して書きなさい。

- ⑫ □ 男爵の子孫。
⑪ □ 捕虜となる。
⑩ □ 御璽は天皇の公印。
⑨ □ 約款を定める。
⑧ □ 貳千万円也。
⑦ □ 恭順の意を表す。
⑥ □ 朕の領地。
⑤ □ 刹那に思い出す。
④ □ 241 血の頒布会。
③ □ 238 新聞の報道。
② □ 232 正座で墨をする。
① □ 229 傷口が塞がる。
⑭ □ 229 浅い海にもぐる。
⑬ □ 室温をイジする。
⑫ □ 230 ユウレツをつける。
⑪ □ 剣道のシショウ。
⑩ □ セイセキが上がる。
⑨ □ 足をコツセツする。
⑧ □ ソウジュウ士になる。
⑦ □ 本をかす。
⑥ □ ケンチヨウ所在地。
⑤ □ 字を書きあやまる。
④ □ キンゾクの食器。
③ □ ウチュウ飛行士。
⑭ □ 241 理科のジッケン。
⑬ □ コウバイの急な坂道。
⑫ □ 鉾山のタンコウ跡。
⑪ □ ケイフをたどる。
⑩ □ カジヨウに反応する。
⑨ □ 空きカンを捨てる。
⑧ □ ぬかみそにつける。
⑦ □ オウヒになる。
⑥ □ チョクメイに従う。
⑤ □ ショウチュウを注ぐ。
④ □ 全軍のソウスイ。
③ □ 信用がシツツイする。
② □ 大臣をヒメンする。
⑭ □ 遊びかつ学べ。
⑬ □ ヤバンな行動。
⑫ □ 政治がダラクする。
⑪ □ ジュンシヨクする。
⑩ □ ホウソウを養成する。
⑨ □ 陸軍のシヨウイ。
⑧ □ ふぶきが舞う。
⑦ □ わごうどの祭り。
⑥ □ えがおをみせる。
⑤ □ かぜをひく。
④ □ しぐれ空だ。
③ □ もみじを見る。
② □ 布をそめる。

語 句

知

- 1 付属語のいろいろ 239・301・305 次
□の——線部の言葉から助動詞を一つ選びなさい。
ア 今、十時だ。 イ 動くな。
ウ 明日だよ。
2 次の——線部の語句の意味を、一つずつ選びなさい。
□(1) 229 その絵はきわだっていた。
ア 周りより明るい様子
イ 端によっている様子
ウ 他と目立って違う様子
□(2) 232 優しいまなざしを向ける。
ア 目の大きさ
イ 目の表情
ウ 目のよさ
3 ——線部の語句を使った文として適切なものを、一つずつ選びなさい。
□(1) 231
ア もちろんな様子だ。
イ もちろん賛成する。
ウ 学習はもちろんだ。
□(2) 231
ア ただし大人は有料だ。
イ ただし会いたかった。
ウ ただし幼なじみのことだ。



9 豚

表現を味わう

教科書

p.244~247

目標

詩の構成や展開を踏まえて言葉のもつイメージの変化を捉えよう



デジタル

木坂 涼

思

読解

言葉のもつイメージの変化を捉えよう

□ 1 この詩で、イメージが変化していくものを一字で抜き出しなさい。

□ 2 次の連では、「豚」のどんな面について表現しているか。それぞれあとから一つずつ選びなさい。

・第一連…

・第三連…

・第五連…

・第七連…

ア 豚の体の部位。

イ 豚を使った加工食品。

ウ 豚を使った料理。

エ 豚の肉としての部位。

□ 3 奇数連では、どのような技法が使われているか。一つ選びなさい。

ア 類比 イ 対比 ウ 暗喩 エ 象徴

□ 4 偶数連では第八連を除き、「豚」と繰り返されているが、第二連から第八連までの偶数連で、「豚」のイメージはどのように変化しているか。奇数連の内容を踏まえ、「食べ物」「生き物」の

二語を使って三十五字以内で書きなさい。

書くヒント

線の内容を使って答えを作ろう！

内容

第七連までの「豚」のイメージから、第八連の「豚」のイメージの変化を捉える。

↓ 第一、三、五、七連では、食べ物としての豚のイメージ。

↓ 第八連では、私たち人間と同じ生き物としての豚のイメージ。

答え方

「〜から…に変化している。」などにする。

□ 5

「豚」の詩が訴えかけていることについて、合うものを一つ選びなさい。

ア 私たちが普段口になっている「豚」は、私たちと同じ、命ある生き物であるということ。

イ 食べ物としての「豚」を加工してくれている人たちに感謝して食べるべきだということ。

ウ 生き物としての「豚」は尊い命なので、もう食べないようにしようということ。

エ 「豚」という生き物は、常に食べ物に加工される覚悟をもっているということ。

※ 第八連の他と違う特徴に着目しよう。



2 豚肉を使った加工食品



1 子豚

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

▶シラクスのあるシチリア島の夕日

教科書

p.248~268

目標

登場人物の人物像や表現の
効果に着目して読み味わおう

9 走れメロス

表現を味わう

太宰治



学びの

★は新出漢字、☆は新出音訓

33 □	29 □	25 □	21 □ 257	17 □	13 □	9 □	5 □	1 □ 250
断ち割る	山賊	渡し守	名誉	不吉	亭主	民(訓読み)	祝宴	邪知
34 □	30 □ 259	26 □	22 □	18 □	14 □ 254	10 □	6 □ 251	2 □
真紅	殴り倒す	哀願	拳(訓読み)	蒸し暑い	到着	嘲笑	拒む	敏感
35 □	31 □	27 □ 258	23 □	19 □ 256	15 □ 255	11 □ 253	7 □ 252	3 □
欺く	萎える	誠(訓読み)	濁流	今宵	調える	命乞い	警吏	花婿
36 □ 260	32 □	28 □	24 □	20 □	16 □	12 □	8 □	4 □
疑惑	路傍	無駄	繋舟	悠々	車軸	処刑	眉間	衣装

知

語句

1 意味調べ

44 □ 264	41 □ 263	37 □
一風卑		
45 □ 265	42 □	38 □ 261
片体劣		
抱裸醜		
46 □ 266	43 □	39 □
擁体い		
空塔遂		
虚楼行		
40 □		
輝く		



1 シラクスの市場(現代)

9 □	8 □	7 □	6 □	5 □	4 □	3 □	2 □	1 □
瞬しゅん	報ひく	嘲ちやう	眉み	竹馬ちくば	祝しゅく	律りち	敏びん	激げき
時じ	いる	笑しやう	間けん	友とも	宴えん	儀ぎ	感かん	怒ど
253 (4)	252 (18)	252 (17)	252 (4)	250 (8)	250 (6)	250 (5)	250 (3)	250 (1)
意味	文脈	意味	意味	意味	意味	意味	意味	意味
	▼文章中ではどちらの意味ですか。 アイ 受けた恩を返す。 相手のしたことに仕返しをする。							
文例		類義語を書こう	文例	文例	文例	文例	文例	文例
それは瞬時のできごとだった。			彼は眉間にしわを寄せた。	彼女は私の竹馬の友だ。	受賞者を招いて祝宴が開かれる。	祖父は律儀な人で知られている。	対義語を書こう	政治の腐敗に民衆が激怒する。

22□ 誠 ^{まこと} 258 (5)	21□ うづくまる 257 (17)	20□ 持ちまえ 257 (10)	19□ 幾 ^{いく} 分 ^{ぶん} 256 (16)	18□ 会 ^え 釈 ^{しゃく} 256 (13)	17□ 未 ^み 練 ^{れん} 256 (2)	16□ なだめる 255 (9)	15□ 承 ^{しょう} 諾 ^{だく} 255 (9)	14□ 頑 ^{がん} 強 ^{きょう} 255 (8)	13□ 疲労困憊 ^{ひろうこんばい} 254 (14)	12□ 無 ^む 二 ^に 253 (12)	11□ 日 ^{にち} 限 ^{げん} 253 (5)	10□ ためらう 253 (4)
文脈 文章中ではどちらの意味ですか。 ア うそや偽りではないこと。 イ 偽りのない心。真心。	意味 文例 突然の腹痛にう ずくまる。	意味 文例 持ちまえの明 さで盛り上げる。	文脈 文章中ではどちらの意味ですか。 ア いくつかに分けたものの一部分。 イ 少し。やや。いくらか。	意味 文例 隣家の人と出 会って会釈する。	意味 文例 未練を断ち切っ て前を向く。	意味 文例 すねている妹を なだめる。	意味 対義語を書こう	文脈 文章中ではどちらの意味ですか。 ア 意志が堅固でなかなか屈しない様子。 イ 体が丈夫でがっしりしている様子。	意味 文例 帰宅する頃には 疲労困憊だった。	意味 文例 彼女は私の無二 の親友だ。	意味 類義語を書こう	意味 文例 合宿への参加を ためらう。

35□ ささやく 261 (5)	34□ まどろむ 261 (2)	33□ 卑 ^ひ 劣 ^{れつ} 260 (11)	32□ 無 ^む 心 ^{しん} 260 (3)	31□ 欺 ^{あざむ} く 259 (18)	30□ 真 ^{しん} 紅 ^く 259 (15)	29□ 路 ^ろ 傍 ^{ぼう} 259 (11)	28□ 萎 ^な える 259 (10)	27□ 勇 ^{ゆう} 者 ^{しゃ} 259 (8)	26□ ひるむ 259 (3)	25□ 躍 ^{おど} り出る ^で 258 (12)	24□ すがりつく 258 (9)	23□ 満 ^{まん} 身 ^{しん} 258 (7)
意味 文例 弟が耳もとで何 事がささやく。	意味 文例 日差しを受けて 窓辺でまどろむ。	意味 文例 悪徳業者が卑劣 な手段をとる。	意味 文例 幼子が無心に遊 んでいる。	文脈 文章中ではどちらの意味ですか。 ア うそをついて人をだます。 イ ある物事とまちがえるほどである。	意味 文例 真紅のドレスが よく似合う人。	意味 文例 路傍の草花に目 を留める。	意味 類義語を書こう	意味 文例 歴戦の勇者とい われる人。	意味 文例 強敵にひるむこと なく立ち向かう。	意味 文例 新人がトップに 躍り出る。	意味 文例 見捨てないでく れとすがりつく。	意味 文例 満身の力をこめ て押す。

- **2** ①の意味調べの言葉を()に入れ、文を完成させよう
- (1) 怒った父を母が懸命に()。
- (2) 我がチームが首位に()のも夢ではない。
- (3) 発言を()。僕は先生が助けてくれた。
- (4) 雷におびえた弟が私の腕に()。
- **3** 「16なだめる」を使って短文を作ろう

44□ 空くう 虚きょ 266(2)	43□ 察さつ する 265(5)	42□ わめく 264(18)	41□ 群ぐん 衆しゅう 264(12)	40□ 残ざん 光こう 264(9)	39□ 風ふう 体てい 263(2)	38□ 仰ぎよう 天てん 262(2)	37□ 斜しゃ 陽よう 261(8)	36□ 遂すい 行こう 261(8)
意味	文脈	意味	意味	意味	意味	意味	意味	意味
文例 空虚な議論が繰り返される。	文章中ではどちらの意味ですか。 ア 状況などから事情を感じ取る。 イ 相手の気持ちを推し量って思いやる。	文例 子どもがわめく声が聞こえる。	文例 広場に集った群衆が騒ぎ出す。	文例 残光も消え、夜の気配が強まる。	文例 奇抜な風体の人注目を集める。	文例 兄の変身ぶりに仰天する。	文例 斜陽が街をあかね色に染める。	文例 彼は立派に任務を遂行した。

目標

- **1** 「メロス」(250①)の人物像についてまとめた次の文の①～④に入る言葉をP.250とP.251から抜き出しなさい。

250ページ

① がわからない。邪悪には人一倍② 。

251ページ

③ 一方で、 な性格で、 ④ な男である。

思

解く前に、すらすら読解ガイド③ (P.94) でポイントを復習!

思

まずここ

登場人物と人物像を捉えよう

読解1 順番に読み取ろう

人物像とその変化を捉えよう

登場人物

④ 王
ディオニス

① メロス
の友(無二の友)

セリヌンティウス

② には人一倍敏感


●単純な男

↓ 王の行いに③

●たくさんの人を殺すほど、人を⑤ ことができなかったが……

最初的人物像

考え	行動
<p>● 人々は③</p> <div style="border: 1px solid blue; height: 100px; width: 150px; margin: 10px 0;"></div> <p>を抱いているので、信することができない。</p>	<p>● 人をたくさん①。</p> <div style="border: 1px solid blue; height: 100px; width: 150px; margin: 10px 0;"></div> <p>● 少しはでな暮らしをしている者には</p> <div style="border: 1px solid blue; height: 100px; width: 150px; margin: 10px 0;"></div> <p>を差し出させる。</p>



1 シラクサのエウリュアロス要塞

1 シラクスのエウリュアロス要塞

【B】メロスが王と約束を交わし、出発するまでを読み取ろう

□ 1 メロスが「王城に入っていた」(251¹⁸)のは、どのように考えたから。「〜と考えたから。」に続く形で書きなさい。

書くヒント💡

— 線の内容を使って答えを作ろう！ —

内容
メロスの発言からわかる考えをP.251～252から探す。

↓「あきれた王だ。生かしておけぬ。」

↓
「町を暴君の手から救うのだ。」

と考えたから。

□ 2 「おまえには、わしの孤独がわからぬ」(252⑦)とあるが、なぜ王は「孤独」だと感じているのか。「王の顔は蒼白そうはくで、眉間のしわは、刻み込まれたように深かった」(252④)理由と合わせて一つ選びなさい。

ア これまでの経験から、人間を信じてはならないと思うようになったが、人を殺すことへの苦悩くのおうも感じているから。

イ 王という最高の地位にいと、周囲の人々と親しく触れ合うことができず、悩みなやを打ち明けることもできないから。

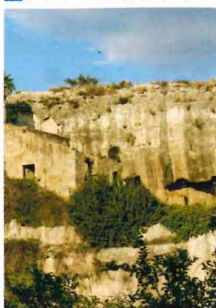
ウ 民のためを思い、平和を実現しようとして多くの人を殺したのに、誰もそれをわかつてくれないことが腹立たしいから。

エ 民の信望を集めて国を治めていくことの難しさを理解してくれる、同じ立場の人間を殺したことを悔いているから。

3 「人の心」(252⑧)に対するメロスと王の考えを最もよく表した部分を、メロスは一文、王はひと続きの三文で抜き出なさい。

王		メロス

1 シラクスの石切り場



□ 4 「わしだって、平和を望んでいるのだが」(252 14)という言葉からうかがえる王の考えとして適切なものを一つ選びなさい。

ア 国を平和にするために、自分にできることはなんでもやろう。
イ 好きで人を処刑するわけではなく、しかたなくやっている。
ウ 悪心を抱く者を全員処刑しなければ、自分の地位は保てない。
エ 本当は王位など誰かに譲ってしまつて、静かに暮らしたい。

□ 5 「約束」(253 10)とあるが、

□ (1) メロスが王にした約束の内容をまとめた次の文の □ ①～③に入る言葉を □ の字数で抜き出しなさい。

● 村に戻り妹に □ ① を挙げさせて、□ ② の日暮れまでに帰ってくる。
□ ③ であるセリヌンティウスを人質として置いていくから、自分が日限までに帰らなかったら彼を殺してもよい。

③	①
	②

□ (2) 王は、この約束についてメロスがどうすると考えているのか。それがわかる一文を抜き出し、初めの五字を書きなさい。

□ 6 「そつとほくそ笑んだ」(253 15)とあるが、このとき、王はどのようなことを考えているのか。一つ選びなさい。

ア メロスが約束を守ったとしても、人質と一緒に、生意気なメロスも殺してしまおう。

イ メロスが約束を破る姿を民に見せ、自分のほうが信頼できる人物だと知らしめたい。

ウ メロスが約束を破つたら、人質を殺してメロスの絶望する姿を見られるので楽しみた。

エ メロスにだまされたふりをし、最終的には人質を殺して自分の考えの正しさを世に見せつけたい。

□ 7 村に戻ったメロスの言動や心情を読み取ろう

□ 1 「何か不吉なもの」(255 12)とあるが、これからメロスの身に困難が迫っていることを暗示している部分を三十八字で抜き出し、初めと終わりの三字を書きなさい。(句点は含めない。)

□ 2 「一生このままここにいたい」(255 15)とあるが、このようなメロスの気持ちを簡潔に言い表した言葉を、P. 256 から四字で抜き出しなさい。

□ 3 メロスが最も嫌っていることは何か。メロスが妹に対して言った会話部分から、二つ抜き出さない。

--	--

□ 4 「メロスの弟になったことを誇ってくれ」(256⑫)について、班で話し合いをした。次の文の□に入る言葉を、「友」「戻る」の二語を使って書きなさい。



なぜメロスは花婿にこう言ったんだろ。

□ という自分の行動を誇らしく思っていたからだよ。
「おまえの兄は、たぶん偉い男なのだから」ともあるね。

--	--

【6】道中の苦難とメロスの心情の変化を捉えよう

1 「私は、^{こよい}今宵、殺される。殺されるために走るのだ。」(257③)とあるが、これまでの「メロスは…」という語り方と比べて、「私は…」と語ることにはどのような効果があるか。一つ選びなさい。

--

- ア 読者がメロスを客観的に眺めることができる効果。
イ 読者がメロスに対して感情移入しやすくなる効果。
ウ 読者がメロスの気持ちを代弁できるようになる効果。
エ 読者がメロスとともにセリヌンティウスに寄り添う効果。

□ 2 町へ向かうメロスは困難に襲われ、三度足を止めることになる。その困難はどのようなことか。P. 257～259から三つ探し、それぞれ簡潔にまとめて書きなさい。

①	
②	
③	

💡 二つは外的要因、一つは内的要因による足止めだよ。「～こと。」の形で、それぞれまとめよう。

□ 3 次の①～③に使われた表現技法を下の□から選び、その表現技法のこの文章中での効果をあとから一つずつ選びなさい。

- ① 「どうどうと響きをあげる」(257⑭)
② 「ああ、鎮めたまえ、荒れ狂う流れを！」(257⑱)
③ 「百匹の大蛇のようにのたうち荒れ狂う波」(258⑥)

直喩
倒置
反復
擬声語

- ア 勢いの激しい様子を聴覚的に印象つける効果。
イ リズミカルな動きを視覚的に感じさせる効果。
ウ 緊迫した状況や心情を特に目立たせる効果。
エ 勢いの激しい様子をほかのものにたとえて印象つける効果。

③	①		
		②	

表現技法

効果

表現技法

効果

□ 思

読解

2

全体を
捉えよう

①～⑫に入る言葉を抜き出そう

単純だが邪悪に対しては人一倍敏感

◎メロスの不安

① の町の変化。

●老爺の話

「王様は、人を殺します。」→メロスは② した。

にぎやかだった町がやけに寂しい

●王城に乗り込んだメロス→警吏に捕縛される。

●メロス 人の心を疑うのは、最も 恥ずべき③

王との約束

妹の結婚式のため処刑まで 三日間の日限をもらう。

●王 人間は④ の塊。

信じては、ならぬ。

⑤ の友人の セリヌンティウスを人質に。

●結婚式の準備

●妹の結婚式→兄の嫌いなもの

●人を疑うこと。
うそをつくこと。

●車軸を流すような大雨⑥

なものを感ずる。

●メロスの出発→未練の情を振り払う。

●身代わりの友を救うため。
●王の奸佞邪知を打ち破るため。
●名誉を守るため。

□ 思

読解

3

深めよう

3ステップで記述しよう

問い

メロスという人物と関わったことで、王の人間全般に対する考え方はどのように変わったか。考え方が変わるきっかけとなった事柄に触れて、百字以内で書きなさい。

ステップ1 問いの中心

王の人間全般に対する考え方は、どのように変わったか。〈変化前〉と〈変化後〉の考え方をそれぞれ、解答欄に合う形で書きなさい。

〈変化前〉

人間は私欲の塊だから

〈変化後〉

人の信実が存在する。人間は

ものだ。

ステップ2 追加の条件

王の考え方は、メロスのどのような様子を見たことがきっかけで変化したか。「信じ合って」の語を使って、あとの言葉に続く形で、三十字以内で書きなさい。

を見たこと。

書くヒント

刑場でのメロスとセリヌンティウスの様子に着目しよう！

⑥ 刑場→再会

5 再出発

4 メロスの出発

メロスの試練

川の氾濫 → 濁流にも負けぬ^⑦
満身の力をこめて泳ぎきる

と^⑧
の偉大な力

山賊 → 「気の毒だが」^⑨

猛烈一撃、殴り倒す

のためだ！

疲労 → 勇者に不似合いなふてくされた根性。

正義、信実、愛など、考えてみればくだらない

● 泉に湧く清水を飲む ↓ 肉体の疲労回復

● 義務遂行

希望

- わが身を殺して、
名誉を守る

命よりもと ⑩

●必死に走るメロス
フィロストラトスの忠告

ものために走っているのだ。

●メロスの到着
「あっぱれ。許せ」(群衆)

メロスとセリヌンティウスが互いに許し合い信じ合う姿

Ⅱ互いに過ちを告白し殴り合う

王の改心 ⑪

とは、空虚な^⑫

ではなかった。

全体を
読めたかな？

この文章の内容と合うものに○を
合わないものに×を書こう

- (1) メロスは何が起こつても動じない冷静さをもっていた。
- (2) 王はこれまでの経験から人を信用できず、孤独を感じていた。
- (3) メロスは何度か諦めそうになったが、王との約束を果たした。
- (4) メロスとセリヌンティウスの信じる心は一度も揺るがなかった。

ステップ3
▼▼▼
つなげる

問いの答えを整えよう。

ステップ2を、〈変化後〉の考え方につながるようにまとめる

答え

初めは、

と思っていたが、
を見て、

と思うようになった。

ステップ1の〈変化前〉を先に書き、〈変化後〉を答えの最後に書く

《変化前》《きっかけ》《変化後》の順でなく、
《きっかけ》《変化前》《変化後》の順に書いてもいいよ。



テストの練習問題

走れメロス

太宰 治

① どうでも、いいのだ。私は負けたのだ。だらしがいい。笑ってくれ。王は私に、ちよつと遅れてこい、と耳打ちした。遅れたら、身代わりを殺して、私を助けてくれると約束した。私は王の卑劣を憎んだ。けれども、今になってみると、私は王の言うままになっている。私は、遅れていくだろう。王は、独り合点^{がてん}して私を笑ひ、そうしてこともなく私を放免するだろう。そうになったら、私は、死ぬよりつらい。私は、永遠に裏切り者だ。地上で最も、不名誉の人種だ。② セリヌンティウスよ、私も死ぬぞ。君と一緒に死なせてくれ。君だけは私を信じてくれるにちがいない。いや、それも私の、独りよがりか？ ああ、もういつそ、悪徳者として生き延びてやろうか。村には私の家がある。羊もいる。妹夫婦は、まさか私を村から追い出すようなことはないだろう。正義だの、信実だの、愛だの、考えてみれば、くだらない。③ 人を殺して自分が生きる。それが人間世界の定法ではなかったか。ああ、なにもかも、ばかばかしい。私は、醜い裏切り者だ。どうとも、勝手にするがよい。やんぬるかな。——四肢を投げ出して、うとうと、まどろんでしまった。

ふと耳に、潺潺^{せんせん}、水の流れる音が聞こえた。そつと頭をもたげ、息をのんで耳を澄ました。すぐ足もとで、水が流れているらしい。よろよろ起き上がって、見ると、岩の裂け目から滾々と、何か小さくささやきながら清水が湧き出ているのである。その泉に吸い込まれるようにメロスは身をかがめた。水を両手ですくって、一

□□ (1) 「どうでも、いいのだ」と思った理由を説明した次の文の□ a.

b に入る言葉を、それぞれ漢字二字で抜き出さない。

● a □ で走れなくなってしまったため、 b □ までにシラクスにたどり着くことはもう無理だと思ったから。

□ (2) 「セリヌンティウスよ……死なせてくれ」③ 「人を殺して自分が生きる……定法ではなかったか」④ 「私は、醜い裏切り者だ。どうとも、勝手にするがよい」という場面のメロスの心情をそれぞれ選び、順に答えなさい。

ア 自分を否定し、投げやりになって、諦めている。

イ 自分の利己的な考えを正当化しようとしている。

ウ 自分の敗北を認め、感傷的な気分になっている。

□□ (3) 「岩の裂け目から滾々と、何か小さくささやきながら清水が湧き出ている」とあるが、この部分に用いられている表現技法を二つ選びなさい。

ア 直喩 イ 擬人法 ウ 対句
エ 擬態語 オ 倒置 カ 体言止め

□ (4) 「斜陽は赤い光を……燃えるばかりに輝いている」とあるが、これと同様に、メロスの希望を光に託して表現している一文をこれよりあとの文章中から抜き出し、初めの五字を書きなさい。

⑤ (5) は 20 点・他は各 10 点
(2) は 完 答

100

私は信賴されている。私は信賴されている。先刻の、あの悪魔のささやきは、あれは夢だ。悪い夢だ。忘れてしまえ。五臓が疲れているときは、ふいとあんな悪い夢を見るものだ。メロス、おまえの恥ではない。やはり、おまえは真の勇者だ。再び立つて走れるようになったではないか。ありがたい！ 私は、正義の士として死ぬことができるぞ。ああ、日が沈む。ずんずん沈む。待つてくれ、ゼウスよ。私は生まれた時から正直な男であつた。正直な男のままにして死なせてください。

道行く人を押しのけ、跳ね飛ばし、メ
ロスは黒い風のように走った。(中略)
呼吸もできず、二度、三度、口から血が
噴き出た。見える。はるか向こうに小さく、
シラクスの町の塔楼が見える。塔楼は、
夕日を受けてきらきら光っている。



(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
					②	a
						b
					↓ ③	
					↓ ④	

- (5) 「走れ！ メロス」とあるが、メロスはなんのために再び走り始めたのか。文章中の言葉を使って**十字以上二十字以内**で書きなさい。
- (6) この文章を、メロスの心情の変化に着目して二つの場面に分けると、後半の場面はどこから始まるか。**初めの五字**を抜き出さない。
- (7) この文章の場面全体で表現されていることを一つ選びなさい。
- ア メロスが苦難の中で葛藤し、人間として成長していく姿。
- イ メロスが自分の愚かさを悔い、王の誘惑に負けたと悟る姿。
- ウ メロスが自分の弱さを認め、名誉を得るために奮闘する姿。
- エ メロスが限界の中で希望を捨て、自暴自棄に陥る姿。

走れメロス



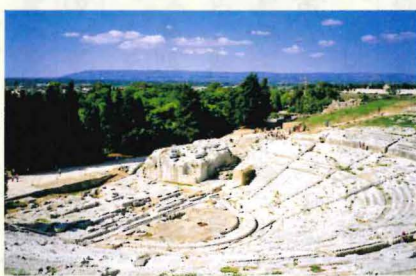
デジタル

「ああ、日が沈む。
ずんずん沈む。
待ってくれ、
ゼウスよ。」

2 ゼウス 気象や天空の神。メロスは荒れる川を前にしたときも、ゼウスに流れがゆるやかになるようにと祈った。

メロスがやってきたシラクスは、シチリア島南東部に位置する、古代ギリシア・ローマ時代に栄えた都市です。現在は、「シラクサとパンターリカの岩壁墓地遺跡」として、街並みなどが世界遺産として登録されています。

『走れメロス』の舞台



5 シラクスにある円形劇場跡



3 シラクス(イタリア シラクサ)の位置



6 シラクスの神殿跡

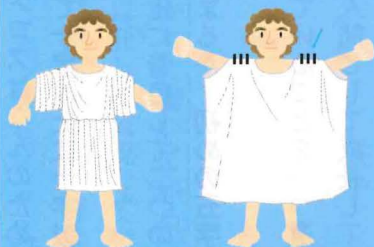
セリヌンティウスのような石工たちが山から切り出して加工した石で造られている。



4 シチリアの牧羊 現在でも牧羊が盛ん。

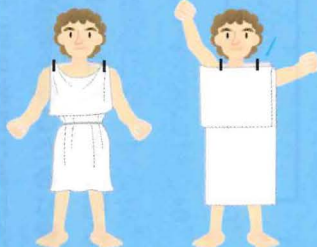
当時の人々の服装

イオニア式キトン



2 腰にひもなどを巻いて完成。
1 重ねた二枚の布の、腕と首を出す部分以外を留める。

ドーリス式キトン



2 腰にひもなどを巻いて完成。
1 二つに折った布の両肩または左肩をピンなどで留める。

8 古代ギリシアの服装 羊毛などでできたキトンを着て、ヒマティオンという長方形の布をキトンの上に羽織ったりしていた。

10 弘前市立郷土文学館、9 12 13 日本近代文学館、11 実践女子大学提供

7 古代ギリシアの結婚式 上は新郎新婦が乗った馬車(紀元前550年頃)。下は付き添いに囲まれる新婦(紀元前300〜100年頃)。



9 芥川龍之介



10 芥川の熱心なファンで、ポーズをまねる太宰



どうしても芥川賞がほしい!

自信を失って居ります。こんどの芥川賞は、私のまへを素直に通りすぎるやうでございませう。私は再び五里霧中になさるはなげればなりません。私を助けて下さる。佐藤さん、私を忘れないうで下さ。私を見殺しにしないで下さい。いまは、いのちをおまかせ申しあげます。恥かしいやら、あはれいやら、死ぬる思

佐藤さん、私を忘れないで下さい。私を見殺しにしないで下さい。

12 太宰治 (本名：津島修治) 1909～1948年

11 芥川賞選考委員の佐藤春夫にあてた書簡 自作を芥川賞に選ぼうと訴えている。

13 斜陽館 (青森県) 太宰治の生家。

作者・太宰治について

青森県津軽の大地主の家に生まれた太宰治は、十代半ばから作家を志して小説を書き始めました。作品は、時に自虐的ともいえるほど、自身のネガティブな感情を表現しており、その苦悩する姿が熱狂的な支持を得ました。

二十歳頃から自殺未遂を繰り返して、薬物中毒にも陥りましたが、結婚後の一時期は心身の健康を取り戻し、作風も明るくなります。『走れメロス』はこの頃の作品です。



13 宿泊先で金が払えなくなり、友人を人質にして帰京した太宰は、戻らずに井伏鱒二と将棋を指していたところを友人に見つかった。

『走れメロス』 創作の背景

ディオニジウスについての言い伝えをもとに、ドイツの詩人・シラーが作った詩があり、太宰はその詩をもとに『走れメロス』を執筆したとされています。

人質

譚詩 小栗孝則訳

(抜粋)
「私だ、刑吏!」と彼は叫んだ
「殺されるのは!」
彼を人質とした私はここだ!

がやがやと群衆は動揺した
二人の者はかく抱き合つて
悲喜こもごもの気持ちで泣いた
それを見て、ともに泣かぬ人はなかった
すぐに王の耳にこの美談は伝えられた
王は人間らしい感動を覚えて早速に二人を玉座の前に呼びよせた

16 富士山と月見草 (マツヨイグサ)

「富士には月見草がよく似合う」



読んでみよう! ①

『人間失格』

主人公の幼少期から青年期を描いた、太宰の代表作の一つ。体調が優れなかった最晩年の作品。



人間失格

太宰治

『富嶽百景』

山梨県御坂峠に滞在した経験をもとに執筆された。人間への信頼と愛が感じられる作品である。

知

言葉 3

類義語・対義語・多義語・同音語

教科書
p.269,
p.284~2871 次の語の類義語を、から一つずつ選びなさい。

- (1) 方角 (2) 得意
- (3) 容易 (4) 向上
- (5) 長所 (6) 心配
- (7) 音信 (8) 安全

2 次の語の対義語を、から一つずつ選びなさい。

- (1) 祖母 (2) 賛成
- (3) 生産 (4) 勝利
- (5) 権利 (6) 現実
- (7) 希望 (8) 消火

オ 義務 ア 反対 イ 絶望 ウ 理想 エ 祖父

カ 点火 キ 敗北 ク 消費

3 類義語（ \uparrow ）と対義語（ \downarrow ）の関係を表した次のに入る漢字

一字を考えて、それぞれ書きなさい。

(1) 然 \uparrow 必然 \downarrow 偶然(2) 来 \uparrow 来 \downarrow 未来 \uparrow 過去(3) 成果 \uparrow 果 \downarrow 原因(4) 失策 \uparrow 失 \downarrow 成功4 次のそれぞれの①・②のには同じ語（多義語）が入る。それぞれ適切な語を平仮名で書きなさい。

(1) ① 手のつめを。
② トランプを.



(2) ① 金星が西のに見える。
② 好きな歌をで歌う。

5 次の文のに入る漢字を、前後の内容から考えて書きなさい。

(1) 宿題がす。むと、隣にす。お友達に会いに行った。

(2) 夏のあつ。い日に、すずしい部屋で、ぶあつ。い本を読む。

(3) カクシン。的な新政府のセイサク。をセイサク。する。

● ヒットする カクシン。をもって商品をセイサク。する。

よう、社長が社員にシジ。する。

知

漢字 4

同音の漢字

教科書

p.274~275

1 次の——線部の漢字を、□から選んで書きなさい。ただし、同じ漢字は一回しか使わないこと。

- (1) ① 実験ではイ外な結果が出た。
② 山田さんイ外は全員参加する。

異以位衣意

- (2) ① 先輩にコウ意を寄せる。
② 相手のコウ意に感謝する。

幸好高効厚興

- (3) ① 花見の時キになる。
② 試験の時キは部活動が休みだ。
③ 親には時キをみて話す。

紀機季氣喜期揮記

2 次の——線部は、下の()内のどの漢字で書くのが正しいか。一つ選び、それぞれ○で囲みなさい。

- (1) 提案にイギを唱える。(意義・異議)
(2) 台所をエイセイ的に保つ。(衛生・衛星)
(3) 定期的に部屋のカンキをする。(歓喜・換気)
(4) 年をとって消化キカンが弱る。(基幹・器官)
(5) 彼は激しいキシヨウの持ち主だ。(気性・氣象・起床)

3

次の片仮名を、前後の内容から考えて、それぞれ適切な漢字に直して()に書きなさい。

- (1) コウエン

① ()で行われた楽団の()がすばらし

かったことを、明日の()のテーマにする。

- (2) カンコウ

●東北の① ()地を紹介する雑誌を② ()するが、

創刊時に③ ()としてつける付録は何かいいだろう。

💡 (2)③は、「古くからのならわし」という意味。

知

漢字

漢字の右に読みを書こう

★は新出漢字、☆は新出音訓

21 □	17 □	13 □	9 □	5 □	1 □ 274
深	明	脂	懇	排	既
浅	瞭	肪	意	斥	刊
22 □	18 □	14 □	10 □	6 □	2 □
弓	申	紡	需	冷	机
道	告	績	要	凍	間
19 □	15 □	11 □	7 □	3 □ 275	
厚	寮	儒	拾	補	
生	長	教	得	填	
20 □	16 □	12 □	8 □	4 □	
石	僚	妨	開	徐	
灰	友	害	壑	行	

既

むによう
10画
一
ヨ
艮
既
既
既

漢 字

知

★

①〜⑫は 線の漢字の読みを書き、
⑬〜⑮は漢字に直して書きなさい。

ページ

① やり方が邪道だ。

② 拳を上げる。

③ 気持ちが萎える。

④ 路傍の花。

⑤ 真紅のバラ。

⑥ 空が紅に染まる。

⑦ 任務を遂行する。

⑧ 紙片を拾う。

⑨ 机上の空論。

⑩ 車が徐行する。

⑪ 事態の収拾。

⑫ 需要と供給。

⑬ キビンに動く。

⑭ エンカイで芸をする。

⑮ 要求をこぼむ。

⑯ ミケンをおさえる。

⑰ 命ごいをする。

⑱ ケイが確定する。

⑲ 目標にトウタツする。

⑳ 味をととのえる。

㉑ チームのシユジツ。

㉒ キツボウを待つ。

㉓ ご飯をむらす。

㉔ エイヨある勝利。

㉕ ダクリユウを防ぐ。

㉖ 呉越ドウシユウ

㉗ ヒアイを味わう。

㉘ ダチンをもらう。

㉙ よこなぐりの雨。

㉚ 逃げ道をたつ。

㉛ 人の目をあざむく。

㉜ ギワツの真相。

㉝ 自分をヒゲするな。

㉞ 夜空に星がかがやく。

㉟ テイサイが整う。

㊱ ゼンラになる。

㊲ キヨセイを張る。

㊳ キセイ事実を作る。

㊴ 他者をハイセキする。

㊵ 路面がトウケツする。

㊶ ジュキヨウの教え。

㊷ 営業のボウガイ。

㊸ シボウを燃やす。

㊹ 昔のボウセキ工場。

㊺ 学生リヨウに入る。

㊻ 財務省のカンリヨウ。

㊼ メイリヨウに話す。

㊽ 収入のシンコク。

㊾ オンコウな性格。

㊿ セツカイの粉。

語 句

知

1 まちがえやすい漢字 42〜43 次の

□に入る漢字を()から一つずつ
選び、熟語を完成させなさい。

①痛 □ ②拭 (根・恨)

① ②

2 漢字の成り立ち 92〜93 □から

□形声文字を一つ選びなさい。

末 汗 片 解

3 漢字の多義性 192〜193 線部の

漢字が下の()の意味で使われて
いる熟語を、一つ選びなさい。

直線 正直 宿直 (すなお)

4 同音の漢字 274〜275 次の 線部

□の漢字を、□から一つ選びなさい。

コウカイ先に立たず。

航海 公開 後悔

5 歴史的仮名遣い 133 次の歴史的

□仮名遣いを現代仮名遣いに書き直
しなさい。

いへいへ(家々)